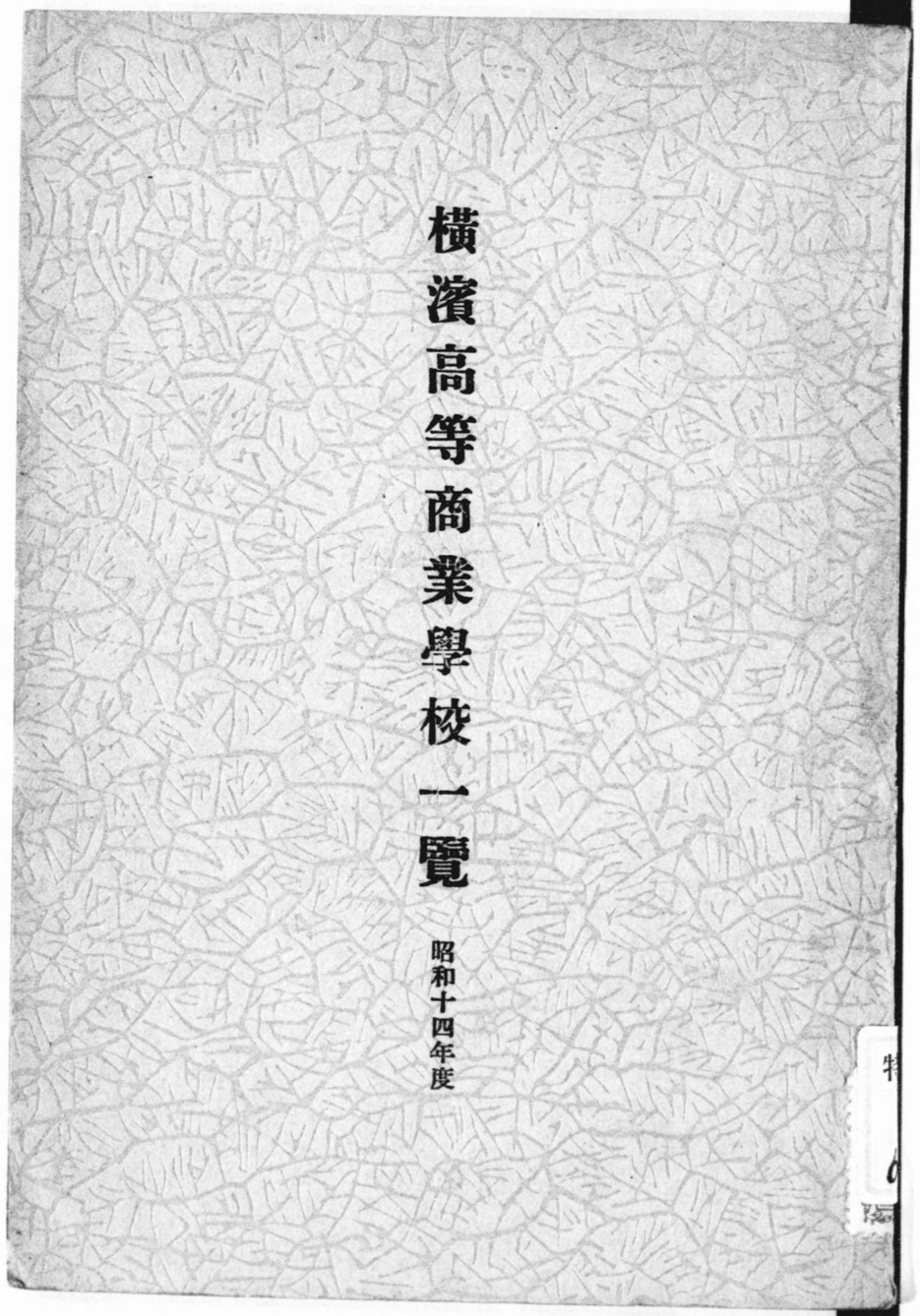


0052341000

0052341-000

特２０２－６２３

横浜高等商業学校一覧

横浜高等商業学校

昭和１４年度

昭和１４

AHN

特 202
623

橫濱高等商業學校一覽

昭和十四年度

目次

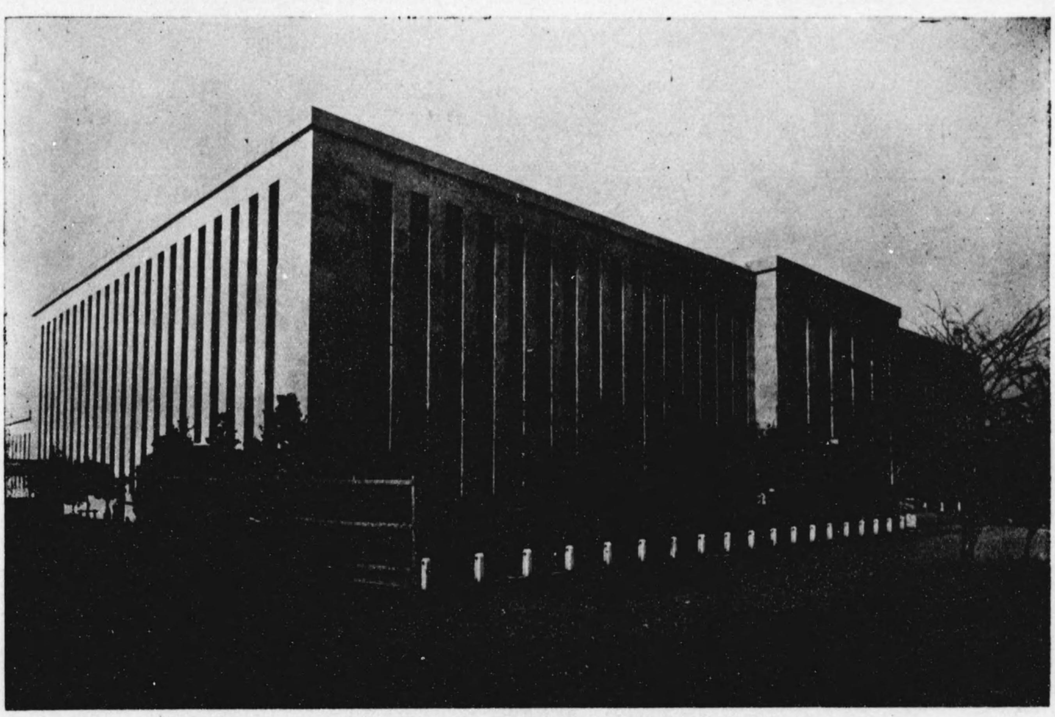
○沿革概要……一
○學年曆……九
○規程……一〇
○規則……一六
第一章　總則……一六
第二章　學科課程……二二
第三章　學年、學期及休業……二五
第四章　入學、在學、退學及懲戒……二五
第五章　修業、卒業及試驗……二六
第六章　特待生……二九
第七章　授業料……三五
第八章　寄宿料……三五
第九章　研究生……三六
第十章　貿易別科……三七

附則……三〇
○細則……三四
一　生徒心得……三四
二　成績考查……三五
三　生徒服裝規程……三七
○校務分掌規程……四一
○研究所規程……四七
○夜學部規程……四九
○物品會計規則施行細則……五二
○處務規則……五六
○宿直規程……五八
○非常警備規程……六〇
○防空警備規程……六三
○圖書館規程……七四
○職員服務規程……七六
○校醫服務規程……七七
○職員……七九

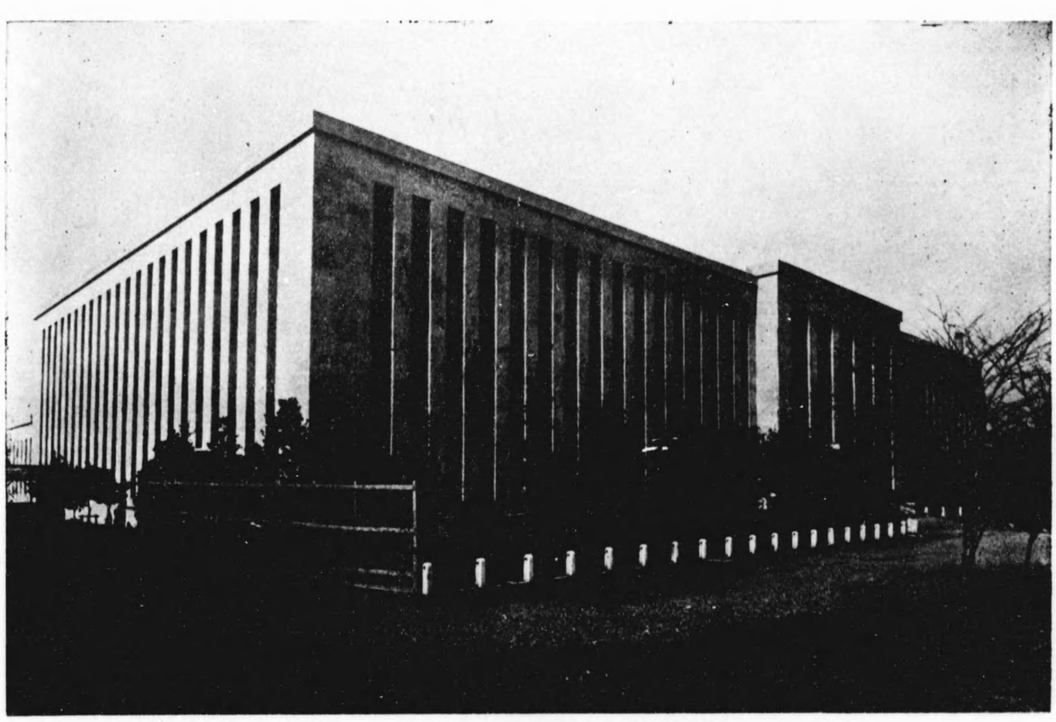
○舊職員……八八
○生徒……九二
○卒業生……一〇三
○統計表……一三五
一　生徒出身學校別……一三五
二　生徒年齡統計表……一四四
三　生徒身體檢查統計表……一四四
四　本科生徒數……一五〇
五　本科入學志願者並入學者累年比較表……一五〇
六　本科生徒原籍調……一五三
七　貿易別科生徒數……一五三
八　貿易別科入學志願者並入學者累年比較表……一五三
九　貿易別科生徒原籍調……一五四
一〇　土地及建物表……一五四
一一　職員及傭人表……一五八
一二　圖書及雜誌冊數……一五八
一三　商品標本及機械類表……一五八
○關係法令……一六一

目次

一　文部省直轄諸學校官制（抄）……一六一
二　文部省直轄諸學校職員定員令（抄）……一六三
三　專門學校令（抄）……一六四
四　實業學校令（抄）……一六四
五　文部省直轄諸學校長職務規程……一六五
六　官吏服務紀律……一六六
七　官廳執務時間（抄）……一六八
○附　錄
學友會會則……一六九
消費組合規則……一七二
校舍平面圖



横濱高等商業學校々舍



横濱高等商業學校々舍

○沿革概要

大正十二年

十二月十日　勅令第五百一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正、本校ヲ加ヘラル

同月　同日　勅令第五百二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正、本校職員ノ定員ヲ校長一人教授五人助教授一人書記四人トセラル

同月十四日　文部省告示第四百五十五號ヲ以テ本校ノ事務ヲ當分ノ內文部省假事務所內ニ於テ取扱フ旨告示セラル

同月十八日　長崎高等商業學校長田尻常雄本校長ニ任セラル

大正十三年

一月　九日　文部省告示第一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ神奈川縣橫濱市南太田町ニ定メ同年四月ヨリ授業開始ノ旨告示セラル

二月　四日　文部省令第五號ヲ以テ本校規程ヲ定メラル

同月　同日　本校規則ヲ制定ス

三月廿四日　文部省告示第百五十五號ヲ以テ本校ノ事務ヲ橫濱市大岡町橫濱高等工業學校內ニ於テ取扱フ旨告示セラル

四月廿一日　入學志願中百三十五名ヲ選拔入學ヲ許可シ第一回入學式ヲ擧行ス

四月廿二日　橫濱市大岡町橫濱高等工業學校ノ一部ヲ使用シテ授業ヲ開始ス

五月十六日　勅令第百二十三號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ十人ニ助教授一人ヲ四人ニ改メラル
九月十三日　校務分掌規程、處務規程、宿直規程、職員服務規程、學校醫服務規程ヲ制定ス
十二月十日　本校規則中第七條外七箇條ヲ改正ス

大正十四年

二月廿五日　物品會計規則施行細則ヲ制定ス
三月十五日　生徒控所並柔劍道場竣工ス
同月廿八日　文部省告示第百七十六號ヲ以テ本校ノ事務ヲ四月一日ヨリ横濱市南太田町横濱高等商業學校内ニ於テ取扱フ旨告示セラル
同月卅一日　本校規則中授業料ニ關スル條項ヲ改正ス
四月一日　勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授四人ヲ三人ニ改メラル
同月十三日　入學志願者中百五十四名ヲ選拔入學ヲ許可シ第二回入學式ヲ擧行ス
五月廿八日　文部省令第二十九號ヲ以テ本校規程第二條學科目及其ノ程度表中改正セラル
同月同日　本校規則第三條學科目其ノ程度及毎週教授時數表中改正ス。
六月三日　勅令第二百十六號ヲ以テ本校職員定員中教授十人ヲ十六人ニ、助教授三人ヲ五人ニ書記四人ヲ五人ニ改メラル
同月十日　岡田文部大臣本校ヲ巡視セラル
十月十日　研究所規程ヲ制定ス

大正十五年

三月卅一日　本館竣工ス
四月八日　入學志願者中百五十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第三回入學式ヲ擧行ス
同月廿八日　夜學部ヲ附設ス
七月五日　勅令第二百四十九號ヲ以テ本校職員定員中教授十六人ヲ二十人ニ、助教授五人ヲ七人ニ書記五人ヲ六人ニ改メラル
十月廿一日　開校式ヲ擧行ス
十二月九日　教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス

昭和二年

三月十五日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行ス
同月三十日　雨天體操場竣工ス
四月八日　入學志願者中百六十四名ヲ選拔入學ヲ許可シ第四回入學式ヲ擧行ス
十二月廿三日　寄宿舍竣工ス
十二月廿七日　勅令第三百六十五號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正、同日勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員中改正、本校職員ノ定員中ニ助手一人ヲ加ヘラル

昭和三年

三月一日　圖書館規定ヲ制定ス
同月十四日　文部省令第二號ヲ以テ本校規程第二條學科目及其ノ程度表中第二外國語ノ欄改正セラル
同月二十日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行ス

同月卅一日　生徒集會所竣工ス
同月　同日　本校規則中改正、寄宿料ニ關スル章條ヲ追加ス
四月　八日　寄宿寮ヲ開キ第一學年生徒八十名ヲ收容ス
同月　九日　入學志願者中百四十五名ヲ選拔入學ヲ許可シ第五回入學式ヲ擧行ス
十月　九日　天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス
同月廿九日　勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正、「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「書記」ノ次ニ「生徒主事補」ヲ加ヘラル
同月　同日　勅令第二百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正、本校職員定員中ニ生徒主事一人、生徒主事補一人ヲ加ヘラル
十一月十日　御即位禮奉祝式ヲ擧行ス
十二月十五日　大禮奉祝諸團體御親閱在ラセラルルニ付第三學年生徒百三十名宮城前廣場ニ於テ御親閱ヲ賜フ

昭和四年

二月　四日　昭和三年十二月十日下シ賜ハリタル教育ニ關スル御沙汰書ノ謄本ヲ拜戴ス
三月十一日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行ス
同月廿五日　本校規則中授業料ニ關スル條項ヲ改正ス
四月　八日　入學志願者中百四十五名ヲ選拔入學ヲ許可シ第六回入學式ヲ擧行ス
同月廿三日　天皇陛下橫濱市復興狀況御覽ハシノ爲行幸被爲在、本校職員生徒橫濱驛構內ニ奉迎送ス
五月　四日　文部省令第二十四號ヲ以テ本校規程中改正、貿易別科ヲ設置セラル
同月　同日　本校規則中改正、貿易別科ニ關スル章條ヲ追加ス
同月　六日　貿易別科入學志願者中三十九名ヲ選拔入學ヲ許可シ第一回入學式ヲ擧行ス
十月　二日　神宮式年遷宮遙拜式ヲ擧行ス

昭和五年

一月十三日　本校規則中改正、授業料減免ニ關スル條項ヲ追加ス
三月十二日　本科第四回並貿易別科第一回卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　八日　本科入學志願者中百六十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第七回入學式ヲ擧行ス
同月　十日　貿易別科入學志願者中四十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第二回入學式ヲ擧行ス
七月　七日　田中文部大臣本校ヲ巡視セラル
十月三十日　教育勅語渙發四十周年記念式ヲ擧行ス
十一月廿四日　非常警備規程ヲ制定ス

昭和六年

二月　五日　天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ奉還シ新ニ　天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴、奉戴式ヲ擧行ス
三月十二日　本科第五回並貿易別科第二回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　七日　本科入學志願者中百五十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第八回入學式ヲ擧行ス
同月十一日　貿易別科入學志願者中二十七名ヲ選拔入學ヲ許可シ第三回入學式ヲ擧行ス

昭和七年

三月十二日　本科第六回並貿易別科第三回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　四日　文部省令第十號ヲ以テ本校規程中第二條學科目及其ノ程度改正セラル
同月　同日　本校規則第三條學科目及毎週教授時數改正ス
同月　七日　本科入學志願者中百五十八名ヲ選拔入學ヲ許可シ第九回入學式ヲ擧行ス
同月十六日　貿易別科入學志願者中二十八名ヲ選拔入學ヲ許可シ第四回入學式ヲ擧行ス
十一月十七日　歩兵第一旅團長朝香宮鳩彦王殿下本校教練授業狀況視察ノ御來校遊ハサル
十二月廿七日　勅令第三百九十五號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正、本校職員ノ定員中助教授ノ欄『七人』ヲ『六人』ニ改メ助手ノ欄削除セラル

昭和八年

三月十一日　本科第七回並貿易別科第四回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　七日　本科入學志願者中百五十二名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十回入學式ヲ擧行ス
同月廿二日　貿易別科入學志願者中三十三名ヲ選拔入學ヲ許可シ第五回入學式ヲ擧行ス
九月廿八日　本校規則第十章第四十三條學科目其ノ程度及毎週教授時數ヲ改正ス

昭和九年

三月　五日　本校規則第十章第四十三條備考ヲ改正ス
同月十二日　本科第八回並貿易別科第五回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　五日　陸軍省文部省告示第二號ヲ以テ兵役法施行令第百條第三號ニ依リ本校貿易別科ヲ認定セラル

同月　七日　本科入學志願者中百六十五名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十一回入學式ヲ擧行ス
同月廿一日　貿易別科入學志願者中三十六名ヲ選拔入學ヲ許可シ第六回入學式ヲ擧行ス
十月廿一日　開校十周年記念式ヲ擧行ス、於田文部大臣臨場セラル

昭和十年

三月十一日　本科第九回並貿易別科第六回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　八日　本科入學志願者中百七十六名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十二回入學式ヲ擧行ス
同月十五日　貿易別科入學志願者中三十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第七回入學式ヲ擧行ス
七月　一日　本校所在地町名『中區清水ケ丘』ト改稱セラル

昭和十一年

三月十一日　本科第十回並貿易別科第七回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　八日　本科入學志願者中百五十三名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十三回入學式ヲ擧行ス
同月　十日　細則中『成績考査』ノ條項ヲ改正ス
同月十七日　貿易別科入學者志願者中四十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第八回入學式ヲ擧行ス

昭和十二年

三月十一日　本科第十一回並貿易別科第八回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　八日　本科入學志願者中百七十名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十四回入學式ヲ擧行ス
同月十七日　貿易別科入學志願者中五十一名ヲ選拔入學ヲ許可シ第九回入學式ヲ擧行ス

五月三十日　プール竣工ス
七月　十日　プール使用規程ヲ制定ス
七月卅一日　防空規程ヲ制定ス

昭和十三年

三月十一日　本科第十二回並貿易別科第九回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　八日　本科入學志願者中一七九名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十五回入學式ヲ擧行ス
四月十九日　貿易別科入學志願者中四九名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十回入學式ヲ擧行ス
四月二十四日　教職員生徒ヲ以テ横濱高等商業學校報國團ヲ組織シ結團式ヲ擧行ス

昭和十四年

三月十一日　本科第十三回並貿易別科第十回ノ卒業證書授與式ヲ擧行ス
四月　八日　本科入學志願者中一六七名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十六回入學式ヲ擧行ス
四月十七日　貿易別科入學志願者中五一名ヲ選拔入學ヲ許可シ第十一回入學式ヲ擧行ス
五月廿二日　陸軍現役將校學校配屬令公布十五周年ニ當リ全國青少年學徒代表御親閱在ラセラルヽニ付本校生徒代表十名宮城前廣場ニ於テ御親閱ヲ賜フ
八月十六日　五月廿二日青少年學徒ニ下シ賜ハリタル勅語ノ謄本ヲ奉戴ス

○學年暦

昭和十四年

學年始、第一學期始、春季休業始

四月一日　天皇祭
四月三日　神武天皇祭
四月五日　春季休業終
四月八日　本科第十六回入學式
四月十七日　貿易別科第十一回入學式
四月廿九日　天長節
七月十一日　夏季休業始
九月五日　夏季休業終
九月廿四日　秋季皇靈祭
十月十七日　神嘗祭
十月廿一日　本校記念日
十月三十日　勅語奉讀式
十一月一日　第一學期終
十一月一日　第二學期始

十一月三日　明治節
十一月廿三日　新嘗祭
十二月廿五日　大正天皇祭、冬季休業始
昭和十四年
一月一日　四方拜
一月三日　元始祭
一月五日　新年宴會
一月七日　冬季休業終
二月十一日　紀元節
三月中旬　卒業式
三月中旬　本科入學試驗
春分日　春季皇靈祭
三月卅一日　第二學期終、學年終

○規程

橫濱高等商業學校規程（大正十三年文部省令第五號、改正同十四年第二九號、昭和三年第二號、同四年第二四號、同七年第一〇號）

第一條　橫濱高等商業學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條　橫濱高等商業學校ノ學科目及其ノ種度左ノ如シ

必修學科目	選擇學科目	第一學年每週教授時數 第一學期	第一學年每週教授時數 第二學期	第二學年每週教授時數 第一學期	第二學年每週教授時數 第二學期	第三學年每週教授時數 第一學期	第三學年每週教授時數 第二學期
修身		一	一	一	一	一	一
體育		三	三	三	三	三	三
國語作文書法		(中)(商)三	二				
英語		(中)(商)八 一〇	(中)(商)八 一〇	七	七	五	五
	英會話					(二)	(二)
其ノ他ノ外國語			四	三	三	三	二
數學		(商)三	(商)二				
高等數學				一	一		
商業數學		(中)二	(中)一	一	一		
珠算		(中)一	(中)一				

	珠算						(一)
理化學		(商)二	(商)二				
工學		三					
近世史		(商)一	(商)二				
法學通論		四					
民法			二	二	二		
商法					二	二	二
	商事關係法					(二)	
	國際法						(二)
	憲法						(二)
經濟學原論		二	二	二			
	景氣論						(二)
	經濟學史					(二)	
商業政策						二	二

商業史				二	二		
商業地理				二	二		
外國經濟事情						一	一
財政學						二	二
統計學						一	一
商業通論		(中)二	(中)二				
商業簿記		(中)四	(中)二				
銀行簿記			(中)二				
工業簿記及原價計算					二		
英文簿記及タイプライティング				一	一		
會計學						二	二
	會計監查					(二)	
經營經濟學				二	二		
交通論				一	一		

	海運					(二)	
	陸運及空運						(二)
保險論				一	一		
	海上及火災保險					(二)	(一)
	生命保險						(一)
金融論				二	二		
	國際金融論					(二)	
	銀行經營論						(二)
賣買市場論					二		
	取引所					(二)	
商品學及商品實驗		一	三	二			
內外商業實踐						二	二
	經濟心理						(二)
	社會學					(二)	
	社會政策						(二)
研究指導				一	一	二	二
特別講義							一
合計		三四	三四	三四	三四	二六(八)	二五(九)

備考

一、第一學年ニ於テ(商)印ヲ付シタルハ商業學校出身者及之ニ準スル者ニ、(中)印ヲ付シタルハ其ノ他ノ者ニ之ヲ課ス

二、選擇科目ハ第三學年ニ於テ第一學期十八時間ノ中八時間ヲ、第二學期十九時間ノ中九時間ヲ選修セシム

三、其ノ他ノ外國語ハ支那語、獨逸語、佛蘭西語、西班牙語、和蘭語ニツキ其ノ一ヲ選修セシム　但シ一旦選修シタルモノハ半途改廢スルコトヲ許サス又志望者ナキトキ又ハ學校ノ都合ニ依リ之ヲ缺クコトアルヘシ

第三條　本校卒業者ニシテ更ニ既修ノ學科目ニ就キ研究セムトスル者ハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

第四條　橫濱高等商業學校ニ貿易別科ヲ置ク其修業年限ハ一箇年トス

第五條　貿易別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ學校長之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和七年四月文部省令第十號）

本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年以上ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ハ新舊學科課程ヲ斟酌シテ學校長之ヲ定ム

○規則

第一章 總則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ據リ商業上須要ナル高等教育ヲ施スヲ以テ目的トス

第二條 本校ノ修業年限ハ三年トス

第二章 學科課程

第三條 本校ノ學科目其ノ程度及毎週教授時數ハ左ノ如シ

必修學科目	選擇學科目	第一學年毎週教授時數 第一學期	第一學年毎週教授時數 第二學期	第二學年毎週教授時數 第一學期	第二學年毎週教授時數 第二學期	第三學年毎週教授時數 第一學期	第三學年毎週教授時數 第二學期
修身		一	一	一	一	一	一
體育		三	三	三	三	三	二
國語作文書法		(中)三 (商)四	二				
英語		(中)八 (商)一〇	(中)八 (商)一〇	七	七	五	五
	英會話					(二)	(二)
其ノ他ノ外國語			四	三	三	三	二
數學		(商)三	(商)二				
高等數學			一	一			
商業數學		(中)二	(中)一	一			
珠算		(中)一	(中)一				
	珠算						(一)
理化學		(商)二	(商)二				
工學		三					
近世史		(商)一	(商)二				
法學通論		四					
民法			二	二	二		

商法					二	二	二
	商事關係法					(二)	
	國際法						(二)
	憲法						(二)
經濟學原論		二	二	二			
	景氣論						(二)
	經濟學史					(二)	
商業政策						二	二
商業史				二	二		
商業地理				二	二		
外國經濟事情						一	一
財政學						二	二
統計學						一	一
商學通論		(中)二	(中)二				

商業簿記		(中)四	(中)二				
銀行簿記			(中)二				
工業簿記及原價計算					二		
英文簿記及タイプライティング				一	一		
會計學						二	二
	會計監査					(二)	
經營經濟學				二	二		
交通論				一	一		
	海運					(二)	
	陸運及空運						(二)
保險論				一	一		
	海上及火災保險					(二)	(一)
	生命保險						(一)
金融論				二	二		

國際金融論					(二)	
銀行經營論						(二)
賣買市場論				二		
取引所					(二)	
商品學及商品實驗	一	三	二			
內外商業實踐					二	二
經濟心理						(二)
社會學					(二)	
社會政策						(二)
研究指導			一	一	二	二
特別講義						一
合計	三四	三四	三四	三四	二六(八)	二五(九)

備考

一、第一學年ニ於テ(商)印ヲ付シタルハ商業學校出身者及之ニ準スル者ニ、(中)印ヲ付シタルハ其ノ他ノ者ニ之ヲ課ス

二、選擇學科目ハ第三學年ニ於テ第一學期十八時間ノ中八時間ヲ、第二學期十九時間ノ中九時間ヲ選修セシム

三、其ノ他ノ外國語ハ支那語、獨逸語、佛蘭西語、西班牙語、和蘭語ニツキ其ノ一ヲ選修セシム 但シ一旦選修シタルモノハ中途改廢スルコトヲ許サス又志望者ナキトキ又ハ學校ノ都合ニ依リ之ヲ缺クコトアルヘシ

第三章　學年、學期及休業

第四條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
學年ヲ分チテ二學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ十月三十一日マテトシ第二學期ハ十一月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス

第五條　休業日左ノ如シ
一　祝日、大祭日
二　日曜日
三　本校記念日（十月二十一日）
四　春季休業日（四月一日ヨリ四月五日ニ至ル）
五　夏季休業日（七月十一日ヨリ九月五日ニ至ル）
六　冬季休業日（十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル）

第四章　入學、在學退學及懲戒

第六條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始一箇月以內トス

第七條　第一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正、志操鞏固、身體健全ナル男子ニシテ左ノ各號ノ

一ニ該リ第八條ノ試驗檢定若ハ第九條ノ無試驗檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一　中學校卒業者

二　專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者

三　專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

第八條　試驗檢定ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ但シ商業學校卒業者ニ對シテハ商業學校卒業ノ程度ニヨリ之ヲ行フ

試驗檢小科目ハ生徒募集ノ都度之ヲ告示ス

第九條　第七條第一號、第三號ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ在學中各學年ノ成績全數ノ十分ノ一以上ニアル者ハ履歷書體格ヲ參照シ試驗ヲ須キス入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　第七條第一號、第三號ノ學校ヲ其ノ年三月マテニ卒業スヘキ見込ノ者ハ當該學校ノ卒業者ニ準ス但シ本校入學者決定ノ時期ニ於テ仍卒業セサル者ハ出願ノ効力ヲ失フ

第十一條　入學志願者ハ左ノ書類ニ檢定料ヲ添ヘ之ヲ校長ニ差出スヘシ

一　入學願書

二　履歷書

三　身體檢査表

四　成績證明書

五　第七條第二號ノ合格證明書

六　寫眞

檢定料ハ金五圓トシ納付後ハ何等ノ事由アルモ還付セス

第十二條　本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願フトキハ缺員アル場合ニ限リ詮議ノ上原學年以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十三條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人一名ヲ以テ指定期日マテニ誓書及戶籍抄本ヲ校長ニ差出スヘシ

前項ノ手續ニ違フ者ニハ入學許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十四條　保證人ハ父兄又ハ後見人タル丁年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ生徒ノ身分ニ關シ一切ノ責ニ任スヘキ者タルヘシ

校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

保證人改姓、改名、轉籍、轉居若ハ改印シタルトキハ直ニ之ヲ屆出ツヘシ

第十五條　保證人死亡シ若ハ前條第一項ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ九十日以上ノ旅行ヲ爲サムトスルトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ誓書ヲ差出スヘシ

第十六條　生徒改姓、改名、轉籍、轉居若ハ改印シタルトキハ改姓、改名、轉籍ニハ戶籍抄本ヲ添ヘ保證人連署ノ屆書ヲ差出スヘシ

第十七條　生徒ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第十八條　生徒疾病ニ罹リ九十日以上修學シ能ハスト思慮スル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保證人連署ノ願書ヲ校長ニ差出シ許可ヲ得テ該學年間休學スルコトヲ得但シ休學中其ノ事由消滅スルト

キハ許可ヲ得テ一學科目若ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ノ初メヨリ原學年ノ課程ヲ履修スヘシ

第十九條　生徒在學中兵役ニ服スルトキハ校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ノ許可ヲ得タル者服役ヲ終リタルトキハ直ニ原學年ニ復歸スヘシ

第二十條　生徒ハ校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入リ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第二十一條　生徒左ノ諸號ノ一ニ該ル者ハ校長之ヲ除名ス

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等若ハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

但シ第十九條第一項ニ依ル一年以上休學スル者ヲ除ク

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　正當ノ事由ナクシテ屢々遲刻缺席シ出席常ナラサル者

六　正當ノ事由ナクシテ授業料怠納二週日ニ渉ル者

第二十二條　生徒不得止事由ニ依リ退學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ニ因リ退學セムトスル場合ニハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス

第二十三條　生徒ニシテ校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ背キ其ノ本分ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アルトキハ校長之ニ懲戒ヲ加フ

懲戒ハ分チテ譴責、停學、放校トス

第五章　修業、卒業及試驗

第二十四條　各學年ノ課程修了ハ其ノ學年ニ於ケル各學科目ノ學業成績及勤惰ヲ考査シテ之ヲ定ム

前項ノ考査ニ合格セサル者ニハ次學年ノ始ヨリ原學年ノ課程ヲ再修セシム

第二十五條　本校所定ノ全課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第六章　特待生

第二十六條　生徒品行方正學業熱心ニシテ一學年中ノ成績優秀ナル者ハ校長之ヲ選ヒテ次學年間特待生トナスコトアルヘシ

第二十七條　特待生ノ資格ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ其ノ特待生タルコトヲ罷ム

第七章　授業料

第二十八條　授業料ハ一學年金八拾圓トシ左ノ三期ニ分チ各指定ノ日ニ納付セシム

第一期納額　金參拾圓　四月始業日ヨリ七日以內

第二期納額　金貳拾五圓　九月始業日ヨリ七日以內

第三期納額　金貳拾五圓　一月始業日ヨリ七日以內

實業學校教員養成規程ニ依リ授業料免除又ハ學資補給ヲ出願シタル生徒ニ對シテハ免除又ハ補給決定ニ至ルマテ授業料ノ徵收ヲ猶豫シ免除又ハ補給ヲ受クルニ至リタル者ニ對シテ

ハ之ヲ徴收セス

第二十九條　特待生ヨリハ授業料ヲ徴收セス

第三十條　成績優良、品行方正、身體強健ナル生徒ニシテ學資支辨ノ極メテ困難ナル爲メ修學ニ堪ヘ難キ者ニ對シテハ其ノ事情ヲ調査シ特ニ授業料ヲ減免スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ノ減免ヲ受ケタル者其事情止ミタリト認メタルトキハ翌月分ヨリ授業料ヲ徴收ス

第三十一條　期間内ニ於テ授業料ヲ納付セサル者ハ未納中之カ出席ヲ停止スルコトアルヘシ

第三十二條　既納ノ授業料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第三十三條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ當日以後ノ授業料納付期日ヨリ休學期間授業料ヲ徴收セス

第三十四條　休學中ノ生徒ニシテ學期ノ半途ヨリ出席スル者又ハ特待生ニシテ第二十七條ノ處分ヲ受ケタル者ハ其ノ月ヨリ一月金八圓ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定期日マテニ一時ニ納付セシム

第八章　寄宿料

第三十五條　在寮生徒ハ寄宿料トシテ年額金貳拾貳圓ヲ左ノ期間内ニ分納セシム

第一期納額　金八圓　四月始業日ヨリ七日以内

第二期納額　金八圓　九月始業日ヨリ七日以内

第三期納額　金六圓　一月始業日ヨリ七日以内

第三十六條　一期間ノ中途ニ入寮シタル者ハ寄宿料一箇月金貳圓ノ割ヲ以テ入寮後七日以内ニ之ヲ納付スヘシ但シ月ノ半途ニ入寮シタル場合ト雖寄宿料ノ徴收ニ就テハ在寮一箇月ト見做ス

第三十七條　既納ノ寄宿料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第三十八條　寄宿料滯納者ニ對シテハ第二十一條第六號及第三十一條ヲ準用ス

第九章　研究生

第三十九條　本校卒業生ニシテ既收ノ學科目ニ就キ更ニ研究セムトスル者ニハ願出ニ依リ二年以内研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條　研究生ニハ特別ノ規程アル場合ヲ除ク外總テ本校諸規程ヲ準用ス

第十章　貿易別科

第四十一條　貿易別科ハ主トシテ南米ニ渡航シ又ハ其ノ貿易ニ從事セムトスル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トス

第四十二條　修業年限ハ一箇年トス

第四十三條　學科目其ノ程度及毎週教授時數左ノ如シ

學科目＼學期	第一學期 毎週教授時數	第二學期 毎週教授時數
修身	一	一
商業通論	二	二
簿記	三	三

南米經濟事情	四	四	毎週一回以上
貿易大意及外國爲替	二	二	
貿易實踐及タイプライティング	二	二	
經濟大意	二	二	
農業大意及農業經營	三	三	
移植民論	一	一	
國際法	一	一	
西班牙語	(九)	(九)	
葡萄牙語	(九)	(九)	
英語	(三)	(三)	
佛蘭西語	(三)	(三)	
伊太利語	(三)	(三)	
體育	二	二	毎週一回以上
農業實習及測量	外ニ實習毎週一回以上	外ニ實習毎週一回以上	
計	二三(一一)	二三(一一)	
合			

備考

一　西班牙語及葡萄牙語ハ之ヲ第一外國語トス英語、佛蘭西語及伊太利語ハ之ヲ第二外國語トス
第一外國語中一箇國語、第二外國語中一箇國語ヲ各必修科トシ生徒ヲシテ入學ノ當初ニ於テ各其ノ一ヲ選擇履修セシム一旦選擇シタル後ハ中途變更スルコトヲ許サス
但シ志望者ナキトキ又ハ學校ノ都合ニ依リ第一外國語ノ一、第二外國語ノ一又ハ二ヲ缺クコトアルヘシ

二　體育中教練ハ大正十四年文部省訓令第六號學校教練教授要目中專門學校程度ノ學校ニ準シ毎週一、五時間以上ヲ課シ且一學年間ヲ通シ野外演習四日以上ヲ課スルモノトス

第四十四條　所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ貿易別科卒業證書ヲ授與ス課程修了ハ各學科目ノ學業成績及勤惰ヲ考査シテ之ヲ定ム

前項ノ考査ニ合格セサル者ニハ次學年ノ始メヨリ全課程ヲ再修セシム

第四十五條　授業料ハ一學年金五拾圓トシ三期ニ分チ各指定ノ日ニ納付セシム

第一期納額　金貳拾圓　四月始業日ヨリ七日以內
第二期納額　金拾五圓　九月始業日ヨリ七日以內
第三期納額　金拾五圓　一月始業日ヨリ七日以內

第四十六條　第四條乃至第八條第十條第十一條第十三條乃至第二十三條第三十條乃至第三十三條ノ規程

ハ之ヲ貿易別科ニ準用ス

附則

本則ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第一號書式

入學願書

私儀貴校ヘ入學志願ニ付試驗檢定ノ上御許可相成度檢定料履歷書並ニ左記書類相添此段相願候也

一、成績證明書　一、身體檢査表
一、寫眞

本籍地	
戸主現住所	
戸主トノ續柄	
氏名印	
生年月日	年　月　日
出願年月日	昭和　年　月　日

横濱高等商業學校長何某殿

第二號書式

履歷書

學歷	
職業	
家業	
兵役	
賞罰	
受信場所氏名	

第三號書式

身體檢査表

何　某

年　月　日生

發育	身長		
	體重		
	胸圍		
	概評		
榮養			
脊柱			
視力及屈折狀態	左		
	右		
備考			

色神	
眼疾	
聽力	
耳疾	
齒牙	
其他ノ疾病及異狀	
監察ノ要否	
本人ニ對スル注意	

規則

右檢査ノ結果相違無之候也

昭和　年　月　日檢査

住所

何々學校醫　何　某㊞

第四號書式

成績證明書

何　某

年　月　日生

右者何年何月本校第何學年ニ入學シ何年何月本校ヲ卒業シタル者ニシテ本校在學中ノ成績左ノ通リ相違スヘキ見込ノ無之候也

昭和　年　月　日

何々學校長　何　某㊞

横濱高等商業學校長何某殿

成績表

學年＼學科目	修身	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	平均	操行	席次
第何學年													何人中何番
第何學年													何人中何番
第何學年													何人中何番

第五號書式

證明書

道府縣族稱

何　某

年　月　日生

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ依リ何年何月何日本校ニ於テ施行シタル試驗檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ證明ス

昭和　年　月　日

何官公私立學校長　何　某㊞

規則

○細則

一、生徒心得

第一條　生徒ハ校規師訓ヲ遵奉シ左記綱領ヲ確守スヘシ

一　德操ヲ磨キ學業ヲ勵ムヘシ

二　心身ヲ鍊リ質實剛健ナルヘシ

三　禮節ヲ尙ヒ信義ヲ敦ウスヘシ

第二條　校內ニ於テハ授業中ハ勿論放課後ト雖靜肅ヲ旨トシ粗野ノ行爲アルヘカラス

第三條　始業時刻ニハ遲滯ナク敎場ニ入リ所定ノ位置ニ着クヘシ

擔任敎官來レハ一齊ニ立禮スヘシ授業終リタル時亦同シ

若シ遲參シタルトキハ擔任敎官ノ指揮ヲ受クヘシ

第四條　校內ニアリテハ所定ノ場所以外ニ於テ喫煙飮食吐唾スヘカラス

第五條　帽子外套其ノ他所持品ニハ各氏名ヲ記入シ所定ノ場所ニ整置スヘシ

第六條　學校ノ建物及器具機械等ノ取扱ハ鄭重ヲ旨トスヘシ

若シ破毀汚損又ハ亡失シタルトキハ速ニ其ノ旨届出テ指揮ヲ俟ツヘシ

第七條　授業時間外ニ敎室ニ出入シ又ハ學校ノ營造物ヲ使用スルニハ敎務課ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　校ノ內外ヲ問ハス金品ヲ募集シ印刷物ヲ配付シ若ハ會合ヲ催シ又ハ他人ノ開催ニ係ル團體

ニ參加セムトスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　揭示ヲ爲サムトスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受ケ所定ノ場所ニ揭示スヘシ

第十條　缺席シタルトキハ其ノ翌日ヨリ三日以內ニ理由ヲ詳記セル缺席届ニ組擔任敎官ノ認印ヲ受ケタル上生徒課ニ提出スヘシ

一週間以上ニ亘リテ缺席セムトスルトキハ豫メ日數ヲ定メ病氣ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ其他ノ理由ニ依ルトキハ保證人連署ノ上生徒課ニ届出ツヘシ

第十一條　宿所ハ入學ノ際並ニ其ノ變更ノ都度遲滯ナク生徒課ニ届出ツヘシ

第十二條　家族同居人又ハ居所附近ニ於テ劇性傳染病ニ罹リタル者アルトキハ速ニ生徒課ニ届出テ指揮ヲ俟ツヘシ

第十三條　告示ハ揭示シタル日ヲ一般ニ了知シタルモノト認ムルニヨリ常ニ注意スヘシ

二、成績考査

第一條　成績ヲ分チテ學期成績、學年成績及卒業成績ノ三トス、學期成績ハ學期試驗評點平常ノ業績及勤惰ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

學年成績ハ學期成績評點ノ和ヲ二除シテ之ヲ定ム、但シ一ノ學期ヲ以テ修了スル學科目ニアリテハ學期成績ヲ以テ學年成績トス

卒業成績ハ各學年成績評點ノ平均ノ總和ヲ以テス

第二條　成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表シ各學科目壹百ヲ以テ滿點トス

第三條　學期試驗ハ每學期ノ終リニ於テ期日ヲ定メ之ヲ行フ、但シ特別ノ事情アルトキハ適宜ノ時

期ニ之ヲ行フコトヲ得

第四條　平常ノ業績ニヨリ評點ヲ定メ得ヘキ學科目ニ就テハ擔任教官ハ校長ノ承認ヲ經テ學期試驗ヲ省略スルコトアルヘシ

第五條　疾病其他已ムヲ得サル理由ニヨリ試驗ヲ受クルコト能ハサルモノニ對シテハ教官會議ノ決議ヲ經タル上追試驗ヲ行フ

其ノ期日ハ學期試驗終了後一箇月以內トス

追試驗ヲ受ケムトスルモノハ學期試驗終了後五日以內ニ缺席事由ヲ具シ追試驗願ヲ提出スヘシ、疾病ニ因ル缺席ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘキモノトス

第六條　追試驗ノ成績ハ其ノ得點ノ八割ヲ以テ之カ評點トス、但シ兵役其他公ノ事由ニ因リテ缺席シタル場合ハ特別ノ取扱ヲナスコトアルヘシ

第七條　一學年ヲ通シ授業時數ノ三分一以上缺席シタルモノハ原學年ニ停ム、但シ兵役ニ因ル缺席ハ之ヲ授業時數ヨリ除ク

第八條　各學科目ノ學年成績評點五十點以上諸學科目平均六十點以上ナルトキハ當該學年ノ課程ヲ修了シタルモノトス

第九條　各學科目ノ學年成績評點四十點以上五十點未滿ノモノ三科目以內ニシテ諸學科目平均六十點以上ナルトキハ前條ニ準ス、但シ其三科目中一科目ニ限リ三十點以上四十點未滿タルヲ妨ケス

第十條　成績評點ハ之ヲ公表セス

三、生徒服裝規程

第一條　生徒登校ノ際ハ制服制帽ヲ着用スヘシ

但シ體操教練ニハ體育服ヲ着用スヘシ

第二條　生徒ノ制服制帽及體育衣袴ハ別表ノ通トス

第三條　登校ノ際不得已事故ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサルトキハ許可ヲ得テ和服ヲ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ制帽及袴ヲ着用スヘシ、校舍ニ於テ下駄ヲ穿チ若ハ教室內ニ於テ帽子外套ヲ着用スルコトヲ得ス

第四條　外出ノ際ハ和服ヲ着用スルコトヲ得ルモ制帽及袴ハ必ス着用スヘシ

第五條　五月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル期間ニ於テハ夏服ヲ着用シ其ノ他ノ期間ニ於テハ冬服ヲ着用スヘシ、但シ此期間ハ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第六條　夏服着用ノ期間ニ於テハ體操教練ノ授業ヲ受クル場合ヲ除キ略帽ヲ代用スルコトヲ得

（別表）

制式	海軍型
制地質	黒羅紗
帽章	如圖眞鍮製金色
帽帶	如圖黒色綾地

略帽	
制地	如圖
帽章	白麥稈
帶布	制帽ニ同シ
黒色	

冬服	
制地	如圖
釦	黒羅紗、ヘル若ハ小倉
服	如圖　眞鍮製金色、徑凡七分、袖釦徑凡五分

夏服	
制地	冬服ニ同シ
釦	黒。紺サージ若ハ小倉
服	冬服ニ同シ

體制	
式	如圖

育服	
地釦	
質	茶褐色雲才制服ニ同シ

靴	
制地	
式	短靴（編上深護謨ヲ含ム）
質	黒革又ハ黒ゴム

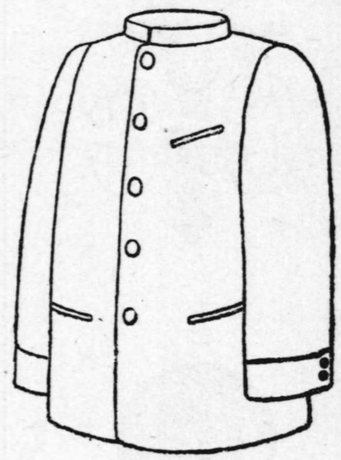
帽章

釦

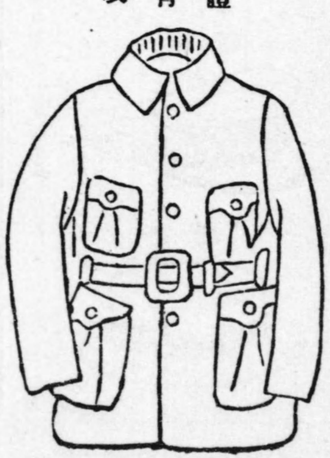
帽制

帽略

上衣



體育衣



袴

體育袴

○校務分掌規程

第一條　校務ヲ分チテ庶務、教務、生徒、寮務、會計、圖書、商品ノ七課トシ各課ニ主任一名、掛員若干名ヲ置ク

第二條　各課主任ハ教官又ハ書記ノ中ニツキ校長之ヲ命ス

主任ハ校長ノ命ヲ承ケ其ノ課分擔ノ事務ヲ掌理ス

第三條　各課掛員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ各其ノ事務ニ從事ス

第四條　各課主管事務ニシテ他課ニ關係ヲ有スルトキハ其ノ課ノ合議ヲ經ヘシ

若シ事務ノ所屬不明ナルトキハ校長ノ指揮ニ從フヘシ

第五條　事務ノ性質ニヨリ臨時若ハ常任ノ委員ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトアルヘシ

第六條　庶務課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　御眞影及勅語ノ保管ニ關スル事項

二　校長官印及校印ノ管守ニ關スル事項

三　公文書ノ受付發送ニ關スル事項

四　諸規則文案ノ制定起草又ハ改正ニ關スル事項

五　庶務ニ關スル文書ノ起草帳簿ノ整理保存ニ關スル事項

六　法令、諸規則其ノ他重要書類ノ整理保存ニ關スル事項

七　職員ノ身分進退及服務ニ關スル事項
八　傭外國人ニ關スル事項
九　卒業生ノ就職推薦並教員免許下附願ニ關スル事項
十　寄贈品ニ關スル事項
十一　學校一覽、年報及官報報告、職員錄原稿ノ調製ニ關スル事項
十二　日誌及諸記錄ニ關スル事項
十三　諸儀式ニ關スル事項
十四　宿直ニ關スル事項
十五　庶務課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
十六　外來者ニ關スル事項
十七　其ノ他他課ニ屬セサル一切ノ事項

第七條　教務課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　學科課程ニ關スル事項
二　教科用書及生徒ノ參考書ニ關スル事項
三　教室ノ配置及所屬教具ノ設備ニ關スル事項
四　教授時間ノ配當ニ關スル事項
五　臨時休業ニ關スル事項
六　教官會議ニ關スル事項

七　生徒募集ニ關スル事項
八　生徒ノ入學退學及休學等ニ關スル事項
九　學級編制ニ關スル事項
十　試驗及成績ニ關スル事項
十一　生徒ノ兵役ニ關スル事項
十二　生徒ノ誓書及學籍簿ノ整理保存ニ關スル事項
十三　生徒ニ關スル統計的調査ニ體スル事項
十四　實業學校教員養成規程ニ關スル事項
十五　教室ノ清潔法ニ關スル事項
十六　教務ニ關スル文書ノ起案帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
十七　教務課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
十八　其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第八條　生徒課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　生徒ノ出缺調査ニ體スル事項
二　訓育上校長ノ命令傳達ニ關スル事項
三　生徒ノ監督ニ關スル事項
四　生徒ノ宿所調査ニ關スル事項
五　生徒ノ賞罰ニ關スル事項

六　生徒ノ服裝ニ關スル事項
七　學校衞生ニ關スル事項
八　生徒ノ體格檢査ニ關スル事項
九　生徒ノ病者月表及年表調整ニ關スル事項
十　銃器彈藥其ノ他體操及運動遊技用具ノ設備配置ニ關スル事項
十一　職員生徒ニ對スル鐵道汽船割引證及身分證明書交付ニ關スル事項
十二　守衞ノ傭罷及取締ニ關スル事項
十三　校內ノ警備ニ關スル事項
十四　生徒課ニ關スル文書ノ起案帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
十五　生徒課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
十六　其ノ他生徒ニ關スル一切ノ事項

第九條　寮務課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　生徒ノ入寮退寮等ニ關スル事項
二　在寮生徒ノ監督ニ關スル事項
三　在寮生徒ノ缺席缺課等ニ關スル事項
四　寮務ニ關スル文書ノ起案帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
五　寄宿寮ニ屬スル備品及消耗品ノ出納貸付整理保存ニ關スル事項
六　賄方ノ傭罷及取締ニ關スル事項

七　寮內ノ清潔法ニ體スル事項
八　在寮生徒ノ病者月表及年表調製ニ關スル事項
九　寮內一般ノ警備取締ニ關スル事項
十　寄宿寮ノ炊事監督ニ關スル事項
十一　寮務課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
十二　其ノ他寮務ニ關スル一切ノ事項

第十條　會計課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　經費及諸收入ノ豫算決算ニ關スル事項
二　金錢ノ收支保管ニ關スル事項
三　物品ノ出納保管ニ關スル事項
四　官有財產及資金ノ保管ニ關スル事項
五　校舍ノ營繕ニ關スル事項
六　小使、給仕等ノ傭罷取締ニ關スル事項
七　人夫ノ傭罷取締ニ關スル事項
八　給水、電燈、瓦斯、暖房、通信機取扱等ニ關スル事項
九　校內庭園、道路、運動場等ノ掃除ニ關スル事項
十　會計ニ關スル文書ノ起案帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
十一　會計課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項

十二　其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第十一條　圖書課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　圖書印章ノ管守ニ關スル事項
二　圖書ノ出納貸付整理保管ニ關スル事項
三　書庫及圖書閱覽室ノ整理及取締ニ關スル事項
四　寄贈圖書ニ關スル事項
五　圖書ニ關スル文書ノ起案帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
六　圖書課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
七　其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十二條　商品課ヘ左ノ事務ヲ掌ル

一　商品見本ノ蒐集ニ關スル事項
二　商品見本及教授用器械標本ノ出納貸付整理保管ニ關スル事項
三　寄贈ノ商品見本及教授用器械標本ニ關スル文書ノ起案帳簿ノ整理保存ニ關スル事項
四　商品見本及教授用器械標本ニ關スル事項
五　商品課ニ屬スル備品及消耗品ノ整理保存ニ關スル事項
六　其ノ他商品見本及教授用器械標本ニ關スル一切ノ事項

第十三條　各課ニ於テ整頓取締ニ任スヘキ校內各室左ノ如シ
但シ特別教室、器械室、實踐室、實驗室等ノ擔任ハ別ニ之ヲ定ム

庶務課　校長室　講堂　事務室　應接室　宿直室
教務課　事務室　教官室　會議室　印刷室
生徒課　事務室　生徒控室　守衛室　生徒集會所　消防器具室　銃器室
寮務課　寄宿寮及附屬建物全部
會計課　事務室　小使室　倉庫　物置　暖房室　給水室　自動車車庫　電話室
食堂
圖書課　事務室　圖書閱覽室　書庫
商品課　事務室　商品館

○研究所規程

第一條　橫濱高等商業學校ニ研究所ヲ置キ橫濱高等商業學校研究所ト稱ス

第二條　本所ハ商業及經濟ニ關スル調査研究ヲ爲シ學術ノ進歩ト實務ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トナス

第三條　本所ハ左ノ事業ヲ行フ
一　商業及經濟ニ關スル調査研究
二　調査研究資料ノ蒐集及其ノ整理

三　講習會講演會研究會等ノ開催
四　公刊物ノ發行
五　調査研究ノ奬勵
六　其ノ他本所ノ目的ヲ達スルニ適當ナリト認ムル事業

第四條　本所ハ公衆ノ依頼ニヨリ商業其ノ他ノ調査ヲ行ヒ又ハ質疑ノ應答ヲ爲スコトアルヘシ

第五條　本所ニ委員會ヲ置キ本校職員中ヨリ校長ノ囑託シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス
校長ハ委員會ヲ召集シ且ツ其ノ議長トナル

第六條　委員會ハ本所ノ事業ニ付キ審議ス

第七條　委員ハ互選ヲ以テ常務委員一名ヲ定ム
常務委員ハ本所ノ庶務ヲ掌理シ且ツ委員會ノ議事ヲ整理ス

第八條　調査研究ニ關スル事務ヲ行フ爲メ調査部ヲ置ク

第九條　調査部ニ部長一名ヲ置キ委員ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム
調査部長ハ調査部ノ常務ヲ掌理ス

第十條　委員ハ本所ノ事務ヲ分掌ス

第十一條　本所ノ事務細則ハ別ニ之ヲ定ム

○夜學部規程

第一章　目的

第一條　本夜學部ハ主トシテ實務ニ從事スル者ノ爲ニ商業上必要ナル學術ノ講習ヲ行フ

第二章　講習期間及學科目

第二條　講習ハ毎年左ノ三期ニ之ヲ行フ

春期講習　四月ヨリ六月迄ノ間ニ於テ五週間
秋期講習　九月ヨリ十二月迄ノ間ニ於テ五週間
冬期講習　一月ヨリ三月迄ノ間ニ於テ五週間

第三條　毎期ノ講習ハ左ノ學科目中三科ニ付之ヲ行フ

商業通論	商業英語	商品學	商業地理
商工心理	貿易論	海外經濟事情	稅關
倉庫	金融	銀行	外國爲替
取引所	海運	陸運	海上保險
火災保險	生命保險		
商業簿記	銀行簿記	工業簿記	英文簿記
會計學	商業數學	貿易實務（英語）	英文商業通信

經濟原論　貨幣論　財政學　商工經營論
統計學　經濟統計　商業政策　工業政策
社會政策　經濟史
法學通論　民法　商法　商事特別法
國際法

右ノ外臨時課外講演ヲ行フコトアルヘシ

第四條　前條ノ學科目ハ時宜ニヨリ之ヲ分合スルコトアルヘシ
但シ六期ヲ通シテ十五學科目ヲ下ラサルモノトス

第五條　各學科目ノ講習ハ十回（二十時間）ノ授業ヲ以テ完了スルモノトス
但シ都合ニ依リ之ヲ增減スルコトアルヘシ

第三章　講習生

第六條　講習生ハ每期之ヲ募集ス

第七條　講習生ハ中等學校卒業者又ハ本校ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第八條　講習志願者ハ講習願書及履歷書ヲ提出スヘシ
講習ヲ繼續セムトスル者ハ講習繼續願書ヲ提出スルコトヲ要ス

第九條　入學ハ願書受付ノ順ニヨリ之ヲ許可ス
但シ講習繼續者ハ右ノ順位ニ依ラスシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　講習生ハ一學科目又ハ數學科目ノ講習ヲ受クルコトヲ得

第十一條　不都合ノ行爲アリタル講習生ハ之ヲ除名ス

第四章　講習證書及學力檢定

第十二條　講習精勤者ニハ講習證書ヲ授與ス

第十三條　講習證書ヲ有スル者ハ其ノ講習學科目ニ付本校指定ノ期日ニ學力檢定試驗ヲ受クルコトヲ得

第十四條　學力試驗檢定ニ合格シタル者ニハ檢定合格證書ヲ授與ス

第十五條　十五學科目以上ノ檢定合格證書ヲ有スル者ニハ夜學部講習卒業證書ヲ授與ス

第五章　講習料

第十六條　入學ヲ許可セラレタル者ハ直チニ講習料ヲ納付スヘシ
一旦收納シタル講習料ハ之ヲ返還セス

一學科目一期ニ付　金參圓
二學科目一期ニ付　金四圓
三學科目一期ニ付　金五圓

第十七條　講習料ヲ納付シタル者ニハ講習券ヲ交付ス
講習券ハ講習時間每ニ之ヲ携帶スヘシ

㊀物品會計規則施行細則

第一節　總　則

第一條　物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本校所有ニ屬スル物品會計ニ關シ本細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ヲ大別シテ備品及消耗品ニ分チ其ノ備品ノ用途ヲ共用及專門ノ二種トス
但シ備品、消耗品ノ種別ハ校長之ヲ定ム

第三條　各部局通常所要ノ物品ハ毎年度始ニ於テ其ノ員數ヲ豫定シ會計課ニ回付スヘシ
但シ學術用機械標本等ニシテ豫定シ難キモノハ此ノ限リニアラス

第二節　出　納

第四條　物品ノ出納ハ校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第五條　通常所要ノ物品ニシテ定數アルモノハ其ノ以內ニ於テ物品會計官吏直ニ之ヲ執行シ臨時所要ノ物品ハ各部局ノ請求ニ依リ會計課ニ於テ之ヲ監査シ適當ト認メタルトキハ校長ノ決裁ヲ受ケ執行スヘシ

第六條　學術上機械ノ製作及修理等ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ常業者ヲ選擇スル場合ハ便宜上各部局ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徵シ（外國注文品ニシテ見積書ヲ徵スルコト能ハサルトキハ

第七條　物品ノ修理費却等ハ第五條ノ例ニ依ル

第八條　物品ハ總テ責任アル職員ニ交付シ受領ノ證トシテ帳簿ニ捺印セシメ若ハ別ニ領收書ヲ徵スヘシ

第九條　監守者若ハ取扱主任者ニ於テ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ備品ニ屬スルモノハ之ヲ備品監守簿ニ登記シ消耗品ニ屬スルモノハ消耗品受拂簿ニ記入スヘシ

第十條　物品ノ不用ニ歸シタルモノアルトキハ直ニ之ヲ會計課ニ返付スヘシ物品會計官吏ハ之ヲ審査シ爾後使用ニ堪フヘキモノハ保存シ使用ノ見込ナキモノハ其ノ處分案ヲ具シ校長ノ裁定ヲ經テ處理スヘシ

第三節　保管及監督

第十一條　各部局受入品ハ一定ノ場所ニ藏置シ鄭重ニ取扱ヒ苟モ之ヲ毀損シ又ハ紛失セサル樣注意スヘシ

使用中ノ備品ハ時々修理ヲ要スルモノノ員數ヲ調査シ修理ノ請求ヲナスヘシ

第十二條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一　各部局ノ消耗品受拂報告表ヲ毎月消耗品支給簿ニ照査スルコト

一　毎年一回以上備品明細簿及消耗品受拂簿ヲ以テ各部局ニ就キ現品ヲ査閱シ及各部局ノ備品監守簿消耗品受拂簿ノ調査ヲナシ校長ニ報告スルコト

一　前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上意見アルトキハ

校長ニ報告シ處理ヲ求ムルコト

第十三條　共用物品ノ監守及取扱ノ責任ヲ明確ナラシムルタメ各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置ク

但シ專用物品ハ各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十四條　物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ物品監守者ニ於テ其ノ實況ヲ詳記シ物品會計官吏ニ差出スヘシ物品檢閱委員ノ合議ヲ經校長ノ裁定ヲ得テ責任者ヲシテ之ヲ修理セシメ又ハ代品若ハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第四節　檢閱

第十五條　校長ハ物品檢閱委員若干名ヲ設ケ本校所有品ノ保管及使用並ニ消費上ノ可否ヲ檢閱セシム

第十六條　檢閱ヲ分チテ定期及臨時ノ二種トス

定期檢閱ハ毎年七月乃至九月中ニ其ノ時日ヲ定メテ之ヲ施行ス

第十七條　物品檢閱ノ期日及物品檢閱委員ノ氏名ハ會計課ヨリ豫メ各部局ニ通知スヘシ

物品檢閱委員ノ檢閱スヘキ事項左ノ如シ

一　物品保管ノ適否

一　物品使用及消費ノ適否

一　物品毀損ノ有無

一　物品支給定數ノ過不足

第十八條　物品檢閱ノ際ハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ席ニ列シ檢閱委員ノ質問ニ答フヘシ

第十九條　物品檢閱委員ニ於テ檢閱ノ上故障ナシト認ムルトキハ帳簿ニ捺印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ顚末書ヲ差出サシメ處分了ルヲ俟チテ前記手續ヲナスヘシ

第二十條　物品檢閱委員檢閱ヲ終リタルトキハ其ノ顚末ヲ具シ意見ヲ付シテ校長ニ申報スヘシ

第五節　帳簿

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ左ノ帳簿ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

一　物品出納簿

證票ニ基キ物品ノ出納ヲ記入シ及在庫並使用物品ノ現在ヲ明ニス

一　備品明細簿

命令文書ニ基キ使用ニ供シタル物品ヲ記入シ其ノ所在及監守者ヲ明ニスヘシ

一　消耗品支給簿

命令文書ニ基キ支給ノ物品ヲ記入シ取扱主任者ヲシテ受領ノ印證ヲ押捺セシム

第二十二條　各部局ニ於テハ備品監守簿及消耗品受拂簿ヲ備ヘテ物品ノ現在及受拂ヲ明確ナラシムヘシ

第二十三條　各部局ニ於テハ毎月五日マテニ前月中ノ消耗品受拂表ヲ會計課ニ回付スヘシ

第二十四條　帳簿並諸表ノ樣式ハ別紙ノ通リ定ム

（書式略）

附　則

本細則ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○處務規程

第一節　文書收受發送

第一條　本校ニ到達シタル文書ハ第四條ニ依ルモノヲ除キ庶務課ニ於テ之ヲ收受シ親展文書ノ外ハ文書件名簿ニ登記シ本書ニ番號及月日ヲ記入シタル上主務課ニ配付シ受領印ヲ徵スヘシ校長宛親展文書ハ庶務主任ヨリ校長ニ進達シ下付セラレタルトキハ前項ニ準シ手續ヲナスヘシ

第二條　二課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ

第三條　配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ主管ニ屬スルモノアルトキハ庶務課ニ還付スヘシ

決裁濟ノ文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ主務課ニ於テ之ヲ淨寫校合シ其ノ原案ヲ添ヘ庶務課ニ回付スヘシ

庶務課ニ於テ前項ノ文書ヲ收受シタルトキハ文書件名簿ニ登記シ本書及原案ニ番號ヲ付シ發送ノ手續ヲナシタル後原案ハ主務課ニ返付スヘシ

第四條　校長印及校印ハ庶務主任之ヲ押捺スルモノトス

左ノ文書ハ主務課ニ於テ直接收受スヘシ

一　教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

一　生徒ヨリ差出ス願届書類

一　入學願書

一　其ノ他校長ノ指定シタル書類

第五條　同一事件ニ關スル往復文書ハ終始同番號ヲ用フヘシ

第六條　庶務課ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ其ノ月日、發送先、料金ヲ登記スヘシ

第七條　執務時間外ニ於テ發送ヲ要スル文書アルトキハ宿直ニ回付スヘシ

第二節　事務處理

第八條　文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク處分案ヲ認メ校長ノ決裁ヲ請フヘシ若シ速ニ處理シ難シト認ムルモノハ其ノ事由ヲ具シ校長ノ承認ヲ受クヘシ

第九條　稟議書ニハ關係書類ヲ悉皆添付シ其ノ顚末ヲ明ニスヘシ

事ノ輕易ナルモノハ本書ノ餘白ニ處分案ヲ朱書シ決裁ヲ受クルコトヲ得

第十條　他課ニ關聯スル文書ハ其ノ課ニ合議スヘシ

第十一條　事ノ例規ニ屬スル文書ハ庶務課ニ合議スヘシ

第三節　文書編纂及保存

第十二條　完結文書ハ主務課ニ於テ整理編纂シテ保存スヘシ

保存期間ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條　文書ハ曆年（會計課ニ屬スルモノハ會計年度）ヲ以テ分界トシ處理完結ノ月日ヲ逐ヒ卷首ニ索引ヲ付シ編纂スヘシ

機密文書ハ別冊トシテ前項ニ準シ之ヲ編纂スヘシ

第十四條　編纂ヲ了リタル文書ハ文書臺帳ニ登記シ一定ノ場所ニ收藏スヘシ
廢棄處分ニ付セムトスルトキハ校長ノ決裁ヲ經テ文書臺帳ニ廢棄年月ヲ朱書シ官印ヲ塗沫シテ會計課ニ交付スヘシ

○宿直規程

第一條　事務職員ハ輪番ヲ以テ一名宛宿直勤務スヘシ其ノ順番ハ庶務課ニ於テ之ヲ定メ二日以前本人ニ通知シ認印ヲ徵スヘシ

第二條　宿直勤務時間ハ平日ニアリテハ退出時限ニリ翌日出勤時限マテ、休日ニアリテハ平日ノ出勤時限ヨリ翌日ノ出勤時限マテトス

第三條　左ノ諸項ノ一ニ該スル者ハ宿直ヲ免除ス
一　出張ノ前日ヨリ歸校ノ翌日迄
二　徵兵檢査、召集、點呼等ニ應召中及其ノ前日
三　忌引中
四　父母ノ看護又ハ祭日等ニ依リ賜暇中
五　病氣引籠中

第四條　新任ノ者ハ着任七日以後宿直勤務ニ服スヘシ

第五條　宿直當日又ハ宿直中發病シ勤務ニ堪ヘ難キトキハ第二次番者ヲ繰上ケ勤務セシムヘシ已ムヲ得サル事由ニ依リ宿直シ難キトキハ代直者ヲ立ツヘシ

第六條　宿直ニハ左ノ帳簿物品ヲ備付クヘシ
一　宿直日誌
二　文書送達簿
三　職員住所簿
四　生徒住所簿
五　郵便切手受拂簿
六　電信用符號表
七　本校一覽
八　各室鎖鑰
九　手提金庫
十　郵便切手及端書
十一　文書容箱
十二　文房具類
十三　提灯（蠟燭及燐寸共）及懷中電燈

第七條　發送ヲ要スル文書ハ郵便切手受拂簿ニ登記ノ上發送ノ手續ヲナシ原案アルトキハ翌日之ヲ庶務課ニ引繼クヘシ

收受シタル公文書中親展書ヲ除キ之ヲ開封シ急ヲ要スルモノアルトキハ直ニ主務課主任ニ回付スヘシ

親展文書中至急ノ表記アルモノハ直ニ宛名ニ送付スヘシ其ノ他ノ文書ハ翌日庶務課ニ引繼クヘシ當日休日ナルトキハ次直者ニ引繼クヘシ

第八條　宿直中ハ守衞小使等ヲ指揮監督シ特ニ火ノ元ニ注意シ其ノ他一般ノ取締ニ任スヘシ

第九條　近火若ハ非常時變アルトキハ非常警備規程ニ基キ戰時又ハ事變ノ際敵機空襲ノ虞アルトキハ防空警備規定ニ基キ速ニ處置ヲナスヘシ

第十條　宿直中ニ生シタル事件ハ總テ其ノ顚末ヲ宿直日誌ニ記載スヘシ

○非常警備規程

第一條　職員生徒及傭人ハ火氣取扱上常ニ注意ヲ拂ヒ其ノ災害ヲ未然ニ防止スヘシ

第二條　火氣ヲ使用スル者ハ其ノ使用後確實ニ之ヲ始末スヘシ

第三條　校内ニ於テハ火鉢又ハ吸殼入ノ備付アル場所及建物ト隔離セル場所ノ外喫煙スヘカラス

第四條　爆發又ハ引火ノ虞アル物品ノ附近ニ於テハ一切ノ火氣ヲ使用スヘカラス

此等諸品ノ置場ニハ其ノ取扱主任者ニ於テ火氣ヲ禁スル旨揭示シ置クヘシ

第五條　各室備付物品中重要ナル物ニハ非常持出ト朱書セル貼札ヲ爲シ置クヘシ

第六條　會計課ハ避雷針電氣瓦斯及水道ノ裝置並ニ機能ニ注意シ每年一回以上技術者ヲシテ之カ檢査ヲ爲サシムヘシ

第七條　使用中ノ煙突ハ每週一回掃除ヲ爲スヘシ

第八條　生徒課ハ消防上必要ナル左記物品ヲ保管シ常ニ其ノ使用ニ支障ナカラシムヘシ

輕便消火器　消防用喞筒　同　水管車

破壞用具　提　灯　梯　子

擔　架　ヅック袋類　其　他

輕便消火器ハ校内必要ノ場所ニ配置シ各器ニハ其ノ用法ヲ明記シ尙每年一回其ノ藥品ヲ詰メ替ヘ且適宜實驗ヲ行フヘシ

第九條　消防器具ノ用法其ノ他消防方法ニ就テハ別冊「消防心得」ニ依ルヘシ

第十條　每年四月職員生徒及傭人ヲ以テ左記係ヲ編成ス

各係長一名、副長若干名、係員若干名ヨリ成リ一年間服務スルモノトス

一　總務係

二　消防係

三　警戒係

四　運搬係

第十一條　各係ノ擔任事項左ノ如シ

總務係

一　各係ノ統制連絡ニ任ス
二　總務係ハ位置ヲ定メ標旗又ハ標燈ヲ樹ツ
三　夜間ハ廊下事務室其ノ他必要ナル場所ニ點燈ス
四　見舞者ニ應接シ其氏名ヲ錄ス

消防係
一　專ラ消防ニ從事ス

警戒係
一　奉安所ノ奉護ニ任ス
二　校內外ヲ巡視シ必要ナル位置ニハ監視者ヲ附シ盜難及混雜ヲ豫防ス
三　消防組、警察官、平常ノ出入人、其ノ他必要ト認ムル者ノ外校內ニ入ルヲ防止ス

運搬係
一　延燒ノ虞アル各室ノ備品、書類等ヲ安全ナル位置ニ撤出ス

第十二條　生徒課ハ宿直ニ任スル諸員ヲシテ臨時消防演習ヲ行ハシム但シ「ガソリン」水其ノ他ノ材料ヲ要スル場合ハ豫メ會計課ト協議スヘシ

第十三條　右演習ニハ生徒ヲシテ參加セシムルコトアルヘシ
校內出火又ハ類燒ノ虞アル近火ヲ發見シタル者ハ執務時間中ハ生徒課ニ、執務時間外ナラハ宿直員ニ之レヲ急報シ振鈴、電鈴又ハ叱呼等ニ依リ一般ニ警報シ且輕便消火器及水道消火栓附屬「ホース」等ニ依リ消防ニ努ムヘシ振鈴ハ急激ニシ電鈴ハ短ク繼續ス

第十四條　生徒課若ハ宿直員第十三條ノ報告ニ接シタル時ハ直ニ左ノ處置ヲナスヘシ
一　奉安所ノ奉護
二　電話ヲ以テ消防署ヘ急報スルコト
三　瓦斯管ヲ閉鎖スルコト
四　各係ノ到着スル迄守衛傭人等ヲ指揮シ消火ニ努ムルコト
五　校長並ニ第十條ノ係員ニ報告シ且ナルヘク速ニ職員ニ通達スルコト

第十五條　總務係本部ハ之レヲ正門附近ニ設ケ其ノ場ニ在ル職員中上席ノ者臨時其ノ長トナリ非常手配ニ任スルモノトス

第十六條　職員生徒及傭人ハ第十條ノ編成內ニアラサル者ト雖本校出火若ハ近火ヲ知ルトキハ速ニ駈ケ付ケ正門附近ニ集合シテ總務係ノ指揮ヲ待ツヘシ

第十七條　地震暴風其ノ他ノ災害ニ關シテハ以上ノ規程ニ從フモノトス

○防空警備規程

第一條　本規程ハ戰時又ハ事變ノ際空襲ニ對シ警戒、防護竝ニ避難ノ措置ヲ講スルタメ所要ノ事項ヲ定ムルルモノトス
平時ノ變災ノ際ハ非常警備規程ニヨルノ外本規程ヲモ準用ス

第二條　防空警備ノ方針ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　空襲ヲ受クル惧アル際ト雖已ムヲ得サル場合ノ外授業ヲ繼續ス

二　防空警備ニ方リテハ全校一致災害ノ輕減ニ努メ御眞影竝ニ勅語ノ警護、重要書類、銃器等ノ保護ニ付萬全ヲ期ス

三　平時適當ナル場所ヲ選定シ空襲ヲ受ケタル際ハ必要ナル防護措置ヲ講シタル後職員生徒ヲ之ニ避難セシム

四　防空及ヒ救護ニ要スル施設竝ニ備品ニ付テハ平時之ヲ整備シ置クモノトス

第三條　防空警備ノ研究及防護施設ノ整備ヲナサシムル爲防空警備委員ヲ置ク

委員ハ別ニ之ヲ定ム

第四條　防空警備ノ組織ハ概ネ左ノ如シ但情況ニヨリ班（係）ヲ適宜省略スルコトヲ得

本部、警報班、警護班、防火班、搬出班、防毒班、避難所管理班、救護班、配給班、豫備班、各班ノ識別ハ腕章ヲ以テ之ヲ示ス

第五條　防空警備ノ必要ヲ豫想スルニ至レハ宿直員（聯員及小使共）ヲ增加シ校內居住者ノ他出ヲ制限ス

第六條　常ニ左ノ機關ニ連絡シ防空實施ノ圓滑ヲ期スルモノトス

壽警防團

壽警防團第一分團本部

壽警察署

中村町消防署

第七條　授業時間中ニ於ケル防空警備實施要領附表第一ノ如シ　但シ寮生ハ寄宿寮ノ防空警備ニ任スルモノトス

第八條　放課後及休日等寮生ノミ在校スル場合ニ於ケル防空警備實施ノ要領ハ附表第二ノ如シ

休暇中ニ於テハ宿直員及ヒ學校附近ニ居住スル職員生徒ヲ以テ警備ニ任スルモノトス

第九條　此ノ場合ニ於ケル要領ハ附表第二ニ準スルモノトス

第十條　警報ハ斷續スル電鈴（振鈴）及傳令ノ叫呼ニ依ル

職員生徒ハ登校セサル場合ニ於テモ防空警報アルヲ知リタル時ハ速ニ登校シ警備ニツクモノトス

第十一條　生徒ノ服裝ハ制服制帽トシ脚絆ヲ用ヒ警護及監視ニ任スルモノハ武裝スルモノトス

但火急ノ場合ハ此限ニアラス

第十二條　狀況ニヨリ救援隊ヲ組織シ最寄官公衙學校其他ニ對シ應援スルコトアルヘシ

第十三條　水道消火栓、輕便消火器等ノ備付ノ位置及警報ノ際ノ生徒集合場附圖第一ノ如シ

第十四條　非常持出箱ノ備付箇所及其員數附表第三ノ如シ

第十五條　本規定ニ基キ每年少クトモ一回防空演習ヲ實施ス

防空警備實施要項（其ノ一）

方針　全校職員生徒一致統制ノモトニ學校ノ機關ヲ活動シ空襲ニヨル災害ノ輕減ニ努ム

一　般　事　項

任務及行動ノ概要

區分	編成	位置（集合場）
長	庶務課	集合場
配	會計課	體育館
屬	生徒課	東側
	其他ノ職員	
	生徒	

一、警報ニ接シタル時ハ庶務員ハ御眞影勅語ノ奉遷ノ準備ヲナス
二、生徒課員ハ直ニ防毒及消毒器材交付ノ準備ヲナスト共ニ瓦斯管ヲ閉鎖ス
三、庶務課員ハ適時防空電球ヲ交付ス
四、會計課員ハ所要ニ應シ警備ニ要スル諸材料ヲ支給ス
五、校内警報アリタルトキハ生徒ハ授業中ニ於テハ擔任教官ノ指示ニヨリ其ノ他ノ場合ハ各自所屬ノ教室ニ集會ノ後組主任教官ノ指示ニヨリ所要ノ服裝ヲ整ヘ教科書類ヲ携行シテ校庭ニ集合シ各組毎ニ携行品ヲ整ヘ一名ノ監視者ヲ殘置シ後各任務ニ就クモノトス急ヲ要スル場合ハ校庭ニ集合スルコトナク直ニ任務ニ就クモノトス各室退場ノ際ハ特ニ窓及扉ノ閉鎖ヲ確實ニシ通風ヲ遮斷スヘシ
六、其他ノ職員ハ執務中ノ書類物件ヲ整理シ直ニ其任務ニツクモノトス
七、各班中任務終了ノ場合又ハ人員ニ餘裕アル際ハ豫備班ニ參加シ待機ノ姿勢ニアラシム
八、警報ニ接シタルトキハ庶務課員ハ直ニ構内官舍居住職員ニ通知シソノ家族ヲ避難セシム

本部	警報班
校長	庶務主任（兼）
先任教授 生徒課主任 庶務課同課一名 會計課主任 會計課同課二名 其他ノ職員 守衛一 女事務員二 小使二 運轉手一 第三學年各一名ヅツ組ヨリ二名	庶務課　一 女事務員　一 小使（兼）一 第三學年A組ノ一部
校長室 庶務課 會計課 （弓道場）	電話室 （玄關南側廊下）

一、實施ニ際シテハ全般ヲ指揮統轄シ狀況ニ應シ各班ノ活動力ヲ增減シ又ハ一部ノ班ヲ省略ス校長事故アルトキハ遞次先任教授代行ス
二、警報ヲ豫知スルカ或ハ警戒警報アリタルトキハ職員一名（自轉車傳令一ヲ附ス）ヲ中區防護團（區役所）ニ派遣シ警報發令解除其他諸情報蒐集ノ連絡及傳達ニ任ゼシム
三、校内ノ發火又ハ失火等ノ際ハ直ニ最寄消防署ニ通報ス
四、來援スル地方防護團消防隊又見舞者等ニ對スル應待ヲナス之ガ爲特ニ表門ニ職員一名生徒若干名ヲ配ス
五、常ニ關係諸團体ニ連絡ス
六、警備日誌ノ記載ヲナス
七、本部屋外ニ移リタルトキハ其位置ヲ明瞭ナラシムルタメ左ノ標識ヲ用フ
晝　旗（本部ト明記ス）
夜　高張提灯

一、警戒警報アリタルトキハ直ニ校長ニ報告シ其指示ニヨリ校内ニ對シ警報ス空襲警報ニ際シテハ校長ニ報告スルト共ニ校内ニ警報スルモノトス
二、二組ノ復唱ヲ屋上ニ配置シ空中ヲ監視セシメ殘餘ハ玄關南側廊下控置ク
三、會計課ヨリ電話機ノ交付ヲ受ケ屋上ニ電話ノ設備ヲナス

警護班	防火班	
生徒主事	生徒主事	
生徒課　一 守衛　二 第三學年B組ノ主力	教務課小使　一一 第三學年C組主力 C組主力 第二學年A組主力 內係ポンプ係ノ半部 3A消火栓係ノ半部 手桶係2A主力 消火器係3C工作係ノ半部	
受付室及控室（玄關北側）	小會議室（消防器具置場南側）	
一、直ニ表門及北門ニ止哨ヲ配置シ他ノ裏門ヲ閉鎖シ絕エズ斥候及巡察ヲ派遣シテ構內外ヲ警戒取締ヲナス 其任務概ネ左ノ如シ 1不逞者ノ潛入防止　2搬出物件ノ保護 3火災盜難豫防　4流言蜚語ノ防遏 5構內外ノ整理　6燈火管制ノ監視	一、班長統制ノ下ニ各係協力防火ニ努ム 二、校內發火ニ際シテハ附近ニ現在スラモノ協力ニヨリ先ヅ消火器ヲ使用シテ大事ニ至ラザル前ニ消火ス 三、手桶係ハ所有器物ヲ利用シ給水ニ努ムヘシ 四、班長ハ必要ニ應ジ各係ノ活動力ヲ增減ス 五、特ニ危險豫防ニ注意スヘシ 六、校附近ノ火災ニシテ學校ニ延燒ノ虞アルトキハ直ニ救援消防ニ努ム 七、地方消防ト協力ス	

避難所管理班	防毒班	搬出班
調査部長	商品課員	教務課主任
商品課一（兼） 會計課一（兼） 第三學年B組ノ一部	圖書課　一 第三學年C組ノ一部	教務課圖書課小使　一一 第二學年B組ノ主力 C組ノ全員 第一學年A組ノ全員 B組ノ全員
商品陳列室（同室） 生徒監官舍南側森林及校庭西方森林	實驗室（實驗室西側）	教務室（體育館東側）
一、設備材料ヲ會計課ヨリ受領シ所要ノ設備ヲナシ瓦斯攻撃ヲ受ケタル際ノ避難ニ遺憾ナカラシム 二、特ニ避難者出入ヲ指導ス 三、必要ニ應ジ宿營及食事ノ準備ヲナス 四、防護業務一通リ終了ノ際ハ校外上記ノ避難所ニ避難ス	一、瓦斯撒毒地域ノ捜索標示通路開設等ニ任ス之レガ爲斥候ヲ派遣シ撒毒地域ヲ標示シ必要ノ場合ニハ道路ヲ消毒開設シ且ツ一般ノ識別ヲ容易ナラシムルタメ監視者ヲ附ス 二、防毒消毒器材ハ生徒課ヨリ受領ス	一、班長ハ狀況ニ應ジ適宜區署シ書類物件ノ搬出ニ任ス 二、搬出順序概ネ左ノ如シ但シ御眞影勅語ノ奉遷ハ本部ニ協力スルモノトス 1御眞影勅語　2非常持出書類　5銃器 4貴重機械類　5一般書類及物件　6雜品 三、搬出ノ際ハ各課ニ於テ適宜指導シ搬出後ハ必要ニ應ジ監視者ヲ附シ散逸及紛失ヲ豫防スルモノトス搬出場所左ノ如シ 非常持出書類銃器　本館東南側テニスコート 其他　體育館西側本館東北側テニスコート

救護班	配給班	豫備班
調査部職員	會計課主任(兼)	組主任
校醫　一 第二學年 A組ノ一部	會計課　一(兼) 小使　一 第二學年 B組ノ一部	一C年組 小使　二 常傭夫　二 第一學年 C組全員 貿易別科全 員
生徒集會所 （同室）	會計課 （小使室東側）	庶務課 （體育館北側）
一、負傷者及瓦斯中毒者ヲ急務治療收容ニ任ス 二、必要ニ應ジ校醫ヲ招致シ要スレバ患者送付ノ處置ヲナス	一、狀況ニヨリ設備ス 二、食料品飲料水衣具燃料等ノ蒐集配給ニ任ズ	一、隨時必要ニ應ジ各班ニ人員ヲ增加シ又ハ一般工作ニ任ズ

寄宿寮	備考
寮職員	
寮職員　一 寮生全部	一、本表中(兼)ハ兼任ヲ示ス 二、各班集合ノ際ハ上空ニ對シ努メテ遮蔽スルモノトス 三、各組主任ハ其組ノ主力ト共ニ行動シ之ヲ指導シ班長ヲ援助スル割當ナキモノハ本部附トス 四、各課ノ職員ニシテ割當ナキモノハ其課ノ關係業務ニ從フモノトス
別ニ定ムル所ニ依ル	
本校ノ規定ニ準シ寮ノ防空警備ニ任ス細部ニツキテハ別ニ定ム	

附表第二

防空警備實施要項（其ノ二）

區分	方針
任務及行動ノ概要	本要領ハ放課後、休日及夜間等一般生徒不在ノ際先ツ寮生ヲ以テ實施スル場合ノ行動ヲ示スモノニシテ細部ハ實施要領第一ニ準シ宿直職員、寮生一致協力萬全ヲ期スルモノトス

本部宿直員

本部宿直員及寮生ヲ指揮シ先ツ防空警備實施要領其一ニ準シ警備ニ任シ校内發火ノ際之カ防止ニツキテハ遺憾ナキヲ期スヘキモ行動ノ概要左ノ如シ　但宿直職員二名ナルトキハ先任者指揮ニ任スヘシ

一、警報ヲ知リタルトキハ速ニ校長ニ報告スルト共ニ寄宿舍ノ宿直員及校内官舍居住者ニ通報シ且ツ學校職員ニ通報ス

二、御眞影勅語ヲ警護シ之ヲ安全地帶ニ奉遷ス

三、關係防護團及壽警察署等ニ連絡シ若シ校内發火ノ際ハ速ニ消防署ニ急報ス

四、本校ノ燈火管制ヲ管理シ豫メ防空用電球ヲ交付ス

五、其他先ツ本部及監視、警戒班ノ任務ニ服シ後諸班ノ行動ヲ指導ス

六、校長（庶務主任等）登校シタル時ハ狀況ヲ詳細ニ報告シ其命ニヨリ防空警備ニ服ス

七、寮ノ救援生徒到着セハ所定ニ從ヒ區署ス　但シ狀況ニヨリ其人員ヲ增減ス

寄宿宿直寮員

一、警報アルヲ知リタル時ハ直ニ寮生ニ通告シ其身邊ヲ整理セシメ所定ノ區分ニ從ヒ寮生ノ主力（概ネ三分ノ二）ニテ本校ヲ救援セシム

二、殘留寮生ヲ指揮シ寮内外ノ防空警備ニ任シ夜間ハ特ニ燈火管制ニ遺憾ナカラシム

三、常ニ本校ニ連絡シ寮擔任職員來着ノ際ハ直ニ本來ノ任務ニ服ス

救護隊

一、本校救援ニ任スル寮生ハ直ニ本校宿直員ニ通告シ所定ノ位置ニツキ行動ス　其動務區分概ネ左ノ如シ但シ狀況ニヨリ人員ヲ增減ス

本部　三　防空監視班　一
防火班　二五　（ポンプ係七、消火栓係六、手桶係七、消火器係五）
搬出班　一五　防毒班　三
警護班　五
救護班　二

二、救援區分右ノ如シト雖モ校内ノ發火其他火急ノ際ニ於テハ協力消防ニ從事スルト共ニ御眞影勅語ノ警護ニ遺憾ナキヲ期スヘシ

三、搬出班ハ先ツ非常持出書類、銃器、要スレハ貴重機械類ノ搬出ニ着手シ其他ノ物件ノ搬出ハ一ニ狀況ニヨル

【附表第三及附圖略】

○圖書館規程

第一條　本校ノ圖書ハ凡テ書庫ニ收藏シ圖書課員之カ保管及出納ノ任ニ當ル
但シ調査部及各事務室ニ備付ノ圖書ニ關シテハ當該主任ニ於テ之カ保管ノ責ニ任スヘキモノトス

第二條　圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ本校職員生徒及特ニ校長ノ許可ヲ受ケタルモノトス

第三條　圖書ハ凡テ閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ
館外借出ノ手續ヲ經タル圖書ニ非サレハ之ヲ閱覽室外ニ携帶スルコトヲ得ス

第四條　閱覽室ハ日曜祭日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク
開閉ノ時刻ハ變更ノ都度ヲ掲示ス

第五條　生徒圖書ヲ閱覽セムトスル場合ニハ借覽票ニ所定ノ事項ヲ記入シ閱覽券ト共ニ之ヲ圖書課員ニ提出スヘシ

第六條　閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ音讀雜談喫煙其ノ他他人ノ妨害トナルカ如キ行爲アルヘカラス

第七條　本校職員ハ書庫ニ出入シ檢索スルコトヲ得
圖書ハ左ノ場合ニ限リ所定ノ手續ニ依リ館外貸出ヲナスコトヲ得

第八條　一　本校職員ニ對シテハ一人ニ付キ三十冊四ケ月以內
二　第三學年在學中ノ生徒ニ對シテハ研究論文作製上必要ナル場合休暇中ヲ限リ一人ニ付二冊以內

第九條　館外借出ノ圖書ハ凡テ期限迄ニ返還スヘキモノトス
チニ返還スヘキハ勿論期間內ト雖圖書課ノ請求アリタル時ハ直

第十條　左記ノ圖書ハ館外貸出ヲナサス
一　貴重圖書
二　辭書及百科辭典類
三　地圖及海圖
四　統計書類
五　自由閱覽ニ附シタル圖書
但シ調査部及各事務室ニ備付クル場合ハ前項ノ限リニ非ス

第十一條　閱覽者ハ返還ノ手續ヲ完了スルマテ其ノ圖書ニ關シ一切ノ責ニ任スヘキモノトス

第十二條　閱覽者ハ借覽中ノ圖書ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得サルハ勿論若シ之ヲ汚染毀損又ハ紛失シタル場合ニハ之ヲ修繕シ又ハ同一圖書ヲ以テ辨償スヘキモノトス

第十三條　圖書館規程又ハ圖書課員ノ命令ヲ遵守セサル者ニ對シテハ圖書課主任ハ圖書ノ閱覽ヲ拒絕スルコトアルヘシ

○職員服務規程

第一條　新任ノ者ハ着任五日以内ニ履歴書及住所届ヲ差出スヘシ爾後改氏名、住所ヲ轉シタル時亦同シ

第二條　事務職員登校シタルトキハ出勤簿ニ捺印ノ上執務スヘシ

第三條　事務繁劇ナルトキ若ハ至急處理ヲ要スルモノアルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖執務スヘシ

第四條　疾病其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤セムトスルトキハ速カニ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ但シ病氣缺勤七日以上ニ渉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ爾後二週日毎ニ同樣ノ手續ヲナスヘシ

第五條　執務時間中疾病其ノ他不得止事故ニ依リ退出セムトスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　他ノ職務ニ從事セムトスル時ハ豫メ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　出張ヲ命ゼラレタル者ハ出發届及歸校届ヲ差出スヘシ

復命書ハ歸校後七日以内ニ提出スヘシ但シ簡單ナル事項ニ就テハ口頭ヲ以テスルコトヲ得

第八條　徵兵檢査又ハ召集若ハ點呼ニ應スル者ハ其ノ日限及應召地名、部隊、艦艇名等ヲ明記シ出發前ニ届出ツヘシ

第九條　轉地療養又ハ父母ノ看護若ハ父母ノ展墓ノ爲メ請暇セムトスル者ハ願書ニ其ノ日限及行先

ヲ詳記シ許可ヲ受クヘシ

轉地療養願ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十條　父母ノ祭日ニ休暇ヲ得ムトスル者ハ其ノ前日届出ツヘシ

第十一條　喪ニ丁リタル者ハ死者ノ氏名及死者トノ續柄ヲ記シ忌引届ヲ差出スヘシ

第十二條　休業中旅行セムトスル者ハ其ノ日限及行先地名ヲ具シ出發前ニ届出ツヘシ

第十三條　本校ヲ經由セスシテ辭令ヲ受ケ若ハ履歷上ニ關係アル事項ハ其都度届出ツヘシ

第十四條　轉免若ハ休職ヲ命セラレタル者ハ擔任事務及取扱書類其ノ他所管物品等ヲ後任者又ハ校長ノ指命セラレタル職員ニ引繼ヲナスヘシ

第十五條　公文書類ハ校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ猥リニ之ヲ他人ニ示シ又ハ謄寫セシムルコトヲ得ス

第十六條　近火若ハ非常事變アルトキ、又ハ戰時、事變ノ際敵機空襲ノ虞アルトキハ、速ニ登校シテ非常警備規程並防空警備規定ニ基キ其ノ任務ニ服スヘシ

○校醫服務規程

第一條　校醫ハ大正九年二月文部省令第七號ニ準據シ本校及寄宿寮ノ衞生ニ關スル職務ニ從事スヘシ

第二條　校醫ハ毎月二回以上授業時間内ニ登校シ一般ノ衛生狀況ヲ視察シ其ノ要項ヲ校醫執務日誌ニ記シ意見ヲ具シ校長ニ提出スヘシ

第三條　校醫ハ毎年四月生徒ノ身體檢査ヲ行ヒ所定ノ身體檢査票ヲ調製スヘシ

第四條　校醫ハ生徒ノ入學、休學、缺課等ニ際シ校長ノ請求ニ應シ體格檢査ヲ行フヘシ

第五條　校長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ前各條ノ外校醫ハ臨時登校シテ職員及生徒ノ疾病診斷檢査ヲ行ヒ其ノ他衛生事項ノ調査ニ從事スヘシ

第六條　校醫ハ學校衛生ニ關シ校長ノ諮問ニ應シ又衛生上必要ト認メタル事項ニ就テハ之ヲ校長ニ申告スヘシ

○職員

（昭和十四年十月現在）

校長	商學士	田尻常雄	
教授	商學士	岩本啓治	
商學通論、保險論、海上及火災保險、海運、內國商業實踐、研究指導	兼生徒主事 文學士	下田禮佐	
商業地理、外國經濟事情、南米經濟事情、研究指導	工學士	西村稠	
英語	工學士	南種康博	
商品學、商品實驗、工學、研究指導	兼生徒主事 法學士	不二門龍觀	
法學通論、民法、憲法、商事關係法、研究指導		光井武八郎	
商業英語、商業通信、英語		河村重治郎	
英語	商學士	德增榮太郎	
經濟學原論、商業史、近世史、貿易大意、研究指導		田渭	
佛蘭西語		伊東彌	
英語		大竹緣	
民法、商法、國際法、研究指導	法學士		

職員　パチエラー、オブ、アツ

商業政策、交通論、陸運及空運、經濟心理、研究指導　商學士　渡邊輝一
數學、高等數學、商業數學　商學士　小幡琢二
經營經濟學、賣買市場論、取引所論、商業通論、研究指導　商學士　井上龜三
國際金融論、金融論、統計學、生命保險、外國爲替、研究指導　商學士　森田優三
體操　生徒主事　下津屋俊夫
商業簿記、工業簿記及原價計算、會計學、研究指導　經濟學士　黒澤清
修身、社會學、研究指導　文學士　富成喜馬平
經濟學原論、經濟大意、景氣論、研究指導　商學士　陸軍主計中尉　越村信三郎

生徒主事（兼）　教授　下田禮佐
（兼）　教授　不二門龍觀
教練　配屬將校　陸軍歩兵大佐　佐分利重雄

助教授

農業大意、農業實習　農學士　福田要
西班牙語　岡田峻
工學實驗　（兼）文部屬　山本榮吉
理化學　生徒主事補　武市一孝

生徒主事補　武市一孝

講師（囑託順）

（應召中）　陸軍歩兵大尉　小白寛
珠算　山崎與右衛門
財政學、社會政策　經濟學士　猪間驥一
簿記、銀行簿記、會計監査、銀行經營論、研究指導　商學士　沼田嘉穗
獨逸語　文學士　大畠清
支那語　福代惟男

傭外國人教師

英會話、外國商業實踐、英文簿記、タイプライテイング　ロナールド、イー、エム、カメロン
英會話、貿易實踐　モーリス、バーナード、スレシヤー

外國人講師

英會話　ジエームス、エイチ、コース
西班牙語　メルクリヨ、アルベルト、ベリカーノ

教務囑託（囑託順）

書法　藤田義雄
國語漢文、商業作文　文學士　石島快隆

（應召中）

柔道教師　陸軍歩兵少尉　阿部信文
長畑功

劍道教師　田口己之吉

弓道教師　平松精二

書記　齋藤照之助
湯川眞藏
陸軍主計少尉　増田彌之助

事務囑託（囑託順）

（應召中）

雇員　陸軍歩兵准尉　吉濱泰
川野亮一

（應召中）

校醫　陸軍歩兵少尉　窪田保春
植岡金次郎
増田榮喜
淺井正久
榊慶次郎
櫻井己之吉
佐藤久子
島田愛子
松崎トイ子
醫學博士　松岡長一郎
醫學士

職員　八三

○學年組主任

第三學年A組　教授　岩本啓治
第三學年B組　教授　光井武八郎
第三學年C組　教授　渡邊鄭一
第二學年A組　教授　不二門龍觀
第二學年B組　教授　井上亀三
第二學年C組　教授　富成喜馬平
第一學年A組　教授　伊東彌
第一學年B組　教授　河村重治郎
第一學年C組　教授　西村稠
貿易別科　教授　下田禮佐

○事務分掌

教務課　主任　教授兼生徒主事　下田禮佐
　　副主任　教授　渡邊鄭一
　　書記　湯川眞藏
　　雇　増田榮喜
生徒課　主任　教授兼生徒主事　不二門龍觀
　　教授兼生徒主事　下田禮佐
　　生徒主事　黒澤清
　　生徒主事補　武市孝一
　　講師　小白寛
　　書記　野口勝利
　　囑託　吉泰
　　雇　窪田保春
　　雇　櫻井已之吉
庶務課　主任　教授　河村重治郎
　　書記　高林義雄
　　書記　淺井正久
　　臨時雇　松崎トイ子
會計課　主任　書記　齋藤照之助
　　囑託　川野亮一
　　雇　植岡金次郎
　　臨時雇　神慶次郎
　　臨時雇　佐藤久子
　　臨時雇　島田愛子

（應召中）
（應召中）
（應召中）

圖書課
主任　教授　井上龜三
書記　增田彌之助

商品課
主任　教授　南種康博
助教授　武市孝一

寮務課
主任　教授　富成喜馬平
教授　西村稱
助教授　福田要
生徒主事補　武市一孝
囑託　藤田義雄

研究所
常務委員　教授　德增榮太郎
委員　教授　岩本啓治
委員　教授　下田禮佐
委員　教授　南種康博

調査部
副部長　教授　不二門觀龍
委員　教授　大竹緣
委員　教授　渡邊輝一
委員　教授　井上龜三
委員　教授　森田優三
委員　教授　黑澤清
委員　教授　越村信三郎

○舊職員

（兼任者及雇員以下略）

前官職	轉退年月	摘要	氏名
講師	大正十三年五月	解嘱	商學士 大塚金之助
同	同十三年八月	同	同 增田俊雄
傭外國人教師	同十四年三月	解傭	商學士 清水元助
講師	同十四年四月	解嘱	法學士 芝田研三（舊姓川添）
同	同十五年三月	同	同
同	同十五年三月	同（死亡）	同
教授	同十五年六月	退官	工學士 横山秀
傭外國人教師	同十五年十二月	解傭	ベーナード、グレゴリ、バーチ
劍道教師	昭和二年二月	解嘱	吉川仲衛門
書記	同二年三月	轉任	堤善吉
講師	同二年三月	解嘱	文學士 友枝高彦
柔道教師	同二年三月	同	伊藤子之吉
講師	同二年八月	同	文學士 内田寛一
配屬將校	同三年四月	轉勤	陸軍步兵大佐 宮城善助

嘱託	同三年八月	死亡	陸軍步兵少尉 湯川和平
傭外國人教師	同四年三月	解傭	シドニー、バスコー、ヘーワード
書記	同四年十月	轉任（航空研究所）	三田村鎭夫
傭外國人教師	同五年七月	解傭	アノルド、ビー、ラウンズ
配屬將校	同五年十二月	轉勤	陸軍步兵大佐 今田浩
傭外國人教師	同六年三月	解傭	（クメー、ダグラス、グラント
外國人講師	同六年八月	解嘱	エス、シー、フレチヤー
校醫	同七年三月	解傭	醫學博士 久賀六郎
教授	同七年三月	轉任	文學士 栗林信朗
書記	同七年九月	轉任（東京帝國大學）	武石彌平
生徒主事補兼助教授	同七年十二月	死亡	小谷惠一郎
助教授	同八年一月	轉任（公立實業學校長）	川原與作
講師	同八年三月	解嘱	農學士 清水勝雄
講師	同八年四月	同	陸軍步兵中佐 中島周平
生徒主事兼教授	同八年十一月	轉任（死亡）	文學士 内山進
外國人講師	同九年三月	解嘱	ヨセ、エム、サン、マーテイン
柔道教師	同九年三月	同	長畑功

配屬將校	同	九年四月	轉任（憲兵隊長）	陸軍憲兵中佐　田中牧
外國人講師	同	九年七月	解嘱	カルロス、ロドリーゲス、ヒメネス
講師	同	九年十月	同	永積安明
傭外國人教師	同	十年三月	解傭	ジョン、トマス、イングラム、ブライアン
助教授	同	十年三月	轉任（東京商大事務官）	大庭一郎
外國人講師	同	十年十月	解嘱	ファン、ブラナス
教授	同	十一年一月	死亡	小宮山敬保
教授	同	十一年四月	退官（大倉高商校長）	古館市太郎
配屬將校	同	十一年十二月	轉勤（千葉聯隊區司令部）	遠藤舒
助教授	同	十二年二月	死亡	田尻彦幸
外國人講師	同	十二年四月	解嘱	リカルド、アランブル
書記	同	十二年七月	退官（陸軍通譯官）	吉居徳治
助教授	同	十二年八月	退官	武田博
助教授	同	十二年九月	轉任（横濱高等工業學校教授）	中野豊
講師	同	十三年三月	解嘱	宮越健太郎
講師	同	十三年三月	解嘱	內之宮金城
外國人講師	同	十三年三月	解嘱	ホセエレーロス
書記	同	十三年五月	轉任（長崎高等商業學校事務官）	矢島熙

外國人講師	同	十三年八月	解嘱	ホアキン、ロドリーゲス、コウシーオ
生徒主事兼教授	同	十四年一月	退官（滿洲國建國大學教授）	岡野鑑記
助教授	同	十四年三月	退官	山中三静
講師	同	十四年四月	解嘱	香坂順一
教授	同	十四年四月	死亡	井上鎚三

○生徒

（昭和十四年七月一日現在）

第三學年

靜岡	足立喜作	清水商	群馬	治田忠雄	富岡中	佐賀	古川直文
栃木	相場勝一	宇都宮中	北海道	長谷川清	函館中	群馬	冬木貞吉
新潟	相澤康平	新潟中	千葉	長谷川榮	横濱三中	京都	藤井榮二郎
新潟	明間辰治	新潟中	熊本	橋本孝一	熊本中	東京	藤田光四郎
秋田	青木達三	東京府六中	山形	林信雄	鶴岡中	宮城	伊庭野健治
廣島	荒井修一	釜山中	群馬	林好男	前橋中	愛媛	今井潤造
神奈川	新井義信	横濱一中	東京	肥田功	住吉中	高知	井上晃一
岩手	荒木田治郎	盛岡中	熊本	東和夫	熊本中	神奈川	石井和夫
神奈川	淺羽治義	横須賀商	千葉	日色正明	長生中	神奈川	石井信善
靜岡	渥美浩	吳一中	三重	廣田秀造	豐橋二中	栃木	石村善一
德島	粟田義	明治學院中	高知	久武鴻	天王寺商	東京	磯靜雄
福島	坂內陸郎	會津中	青森	細田裕	盛岡商	佐賀	市原克明
神奈川	伊達一義	横濱商	東京	福井增雄	安田商	長野	市川利通
神奈川	海老塚嘉雄	横濱一中	長野	福島俊雄	京北中	愛媛	伊藤五郎
秋田	葉室義照	秋田中	神奈川	振原正義	横濱一中	神奈川	伊藤駿

糸島中	館林中	立命館商	高輪商	石卷中	東京府三中	高知城東中	横濱二中
横須賀商	栃木商	東京府二中	湘南中	須坂商	大倉高商中	横濱二中	

千葉	伊藤尙	木更津中	長野	北村忠彥	攻玉社中	大阪	三宅善和
千葉	岩井一	千葉中	長野	北澤隆喜	長野中	茨城	水野榮
群馬	岩瀨國二	富岡中	長野	小林祐輔	上田中	長野	兩角敏雄
神奈川	和泉澤彌太郎	横濱商	新潟	兒玉榮之	新發田中	神奈川	望月雄二
栃木	神山義信	宇都宮商	埼玉	小池孝吉	松山中	神奈川	村井榮一郎
靜岡	金井愛介	濱松一中	神奈川	駒井義郎	横濱專修商	神奈川	村田敬
長野	金澤貞介	小諸商	宮城	今野金吾	石卷中	兵庫	紫安捷夫
神奈川	金田圭二	横濱一中	岡山	小阪隆彥	岡山一中	靜岡	長野敏郎
東京	金田丈夫	横濱二中	福島	古關正七	安達中	靜岡	中野彥夫
東京	兼光八郎	東京府三商	靜岡	小山欽平	志太中	福島	中野目知明
靜岡	加藤銳彥	川崎中	北海道	經澤富次郎	岩見澤中	東京	中山隆郎
靜岡	勝又馨	沼津中	栃木	增淵忠治	宇都宮市商	北海道	中島三男
靜岡	川邊繁	靜岡商	宮崎	松永久男	横須賀中	群馬	中島泰三
東京	河上敏雄	東京開成中	靜岡	松野伸弘	靜岡商	廣島	夏目田昇
靜岡	一一彥	靜岡中	神奈川	松岡巳末雄	横濱一中	石川	西野彌壽彥
栃木	岸正一	宇都宮中	神奈川	三谷健	横濱三中	愛知	小田左中
群馬	北川哲二	高崎中	熊本	御手洗康	熊本商	東京	小川士郎
神奈川	北洞吉雄	横濱一中	東京	道家博	横濱一中	北海道	岡崎博明
宮城	北村邦信	東京中	神奈川	三浦昇	横須賀中	北海道	岡崎博

成器商	水戸中	諏訪中	關東學院中	横濱一中	横濱二中	伊都中	榛原中
靜岡中	磐城中	東京府六中	函館商	前橋中	東京開成中	横濱一中	豐橋中
東京府一商	小樽商	室蘭商					

神奈川	大前候爵	横濱一中	山形	柴田裕	酒田商	東京	高山二郎	正則中
山形	大宮林三	山形商	靜岡	志田勝彦	靜岡中	鳥取	武宮信	龍ヶ崎中
熊本	大村誠一	中學濟々黌	東京	志賀久雄	仙臺一中	靜岡	竹中源太郎	沼津商
東京	大野鑄三郎	東京府一商	東京	島鍊	東京府二商	茨城	田鍋篤	水戸商
福岡	大崎平八郎	安田商	熊本	島田孝友	熊本商	福岡	立石清志	福岡商
神奈川	太田榮一	横濱二中	埼玉	清水和雄	東京府一商	宮城	千葉秀一	石卷商
神奈川	越智平吉	横濱商	宮城	清水泰明	仙臺一中	茨城	豐島武治郎	土浦中
京都	大津濟	京都市一商	東京	下林丈雄	東京府一商	兵庫	東浦照一	尼崎中
京都	大槻照雄	京都市一商	靜岡	下山和春	靜岡中	靜岡	蔦澤雪雄	靜岡中
長崎	小山昇	沼津商	靜岡	篠田文男	清水商	東京	都筑東助	東京府一中
埼玉	小澤正吉	東京府三商	栃木	白石滿壽雄	宇都宮商	京都	上野晃正	京都市一商
茨城	坂本重雄	湊商	新潟	相馬宇佐衞	横濱商	靜岡	浦田金吾	靜岡商
大分	佐野平一	平壤中	神奈川	菅沼恒雄	横濱商	北海通	和田吉平	函館中
岡山	佐々木哲郎	東京府一商	靜岡	杉浦二郎	濱松二商	神奈川	渡邊治雄	湘南中
靜岡	佐藤良一郎	沼津商	和歌山	栖原俊藏	東京府一商	神奈川	山田精一	湘南中
岩手	佐藤安治	日立中	大分	生野安雄	麻布中	宮城	山形義悅	石卷商
栃木	佐藤芳雄	栃木中	秋田	庄司昌夫	大館中	長野	山本續	東京府七中
三重	澤村正男	宇治山田商	東京	只腰達也	東京府一中	京都	山本万治郎	京都市二商
神奈川	芝崎文	横濱三中	宮城	高橋政一郎	仙臺商	栃木	山崎進	宇都宮中

千葉	山路健三	木更津中	熊本	横溝軏一	熊本商	岩手	吉田由太郎	水澤商
千葉	安田幸次郎	安房中	岐阜	横山正	岐阜商			

第二學年

東京	安部修次	東京市二中	愛知	淺井正雄	東京府三中	神奈川	福岡章	湘南中
靜岡	阿部豐司	磐城中	千葉	麻生久	千葉中	兵庫	井原章太郎	吳二中
神奈川	相原孝	横濱二中	秋田	大門時治	秋田中	栃木	飯野一郎	宇都宮中
東京	合崎堅二	東京府一商	和歌山	土井登美夫	神通中	神奈川	生島正夫	川越中
宮城	相澤芳郎	石卷商	福岡	家入久記	小樽市中	山形	今井清孝	酒田中
茨城	赤羽根肇	土浦中	東京	春原悌之輔	東京市二中	東京	井上正	早稻田中
東京	網谷一雄	東京府一商	群馬	長谷川純一	高崎中	山形	井上富次郎	新莊中
千葉	青木正也	麻布中	茨城	蓮沼忠男	水戸中	東京	井上常吉	東京府九中
靜岡	青木茂	佐倉中	岡山	日岡良平	倉敷商	東京	石ヶ森正三	東京府三商
新潟	青柳忠一	長岡商	和歌山	平野文雄	逗子開成中	德島	石川公夫	高松中
山形	青山茂重	山形中	神奈川	廣川武男	横濱三中	福島	石川克平	保原中
群馬	荒井正二	富岡中	鹿兒島	日高厚	東京府八中	神奈川	市川久直	横濱專修商
佐賀	荒牧英夫	佐世保中	新潟	本間泰輔	新潟中	靜岡	岩野勝夫	横濱三中
靜岡	荒浪正彥	東京府六中	高知	深尾武彥	八尾中	神奈川	甲斐莊正之	横濱一中
京都	淺井一雄	京都市二商	大阪	福田正夫	市岡商	廣島	神原江三	東京府六中

富山	紙谷修治	神戸一中
東京	鴨川進	京華商
長野	鹿野久義	長野中
栃木	笠間璋悟	宇都宮中
熊本	加藤八郎	熊本商
東京	川口鎭雄	東京府一商
東京	川瀬能正	湘南中
埼玉	川島仁	横濱一中
靜岡	川島喜八郎	靜岡中
埼玉	河田啓之助	本庄中
靜岡	菊池包明	興誠商
香川	木下雄次	高松商
長野	木内恭介	野澤中
神奈川	小林一郎	横濱商
群馬	小林稔	前橋中
鳥取	小林武次郎	倉吉中
三重	駒田順一	津中
茨城	小室孝夫	水戸商
福島	紺野豊治	相馬中

秋田	小助川三郎	秋田中
神奈川	小山重貞	神戸二中
大阪	小財俊一	天王寺商
靜岡	小島政宗	沼津商
岩手	工藤雄治	盛岡商
東京	久米正喜	逗子開成中
茨城	黒澤光	東京府五中
長野	增澤健次郎	同三中
京都	松本宗信	京都市一商
富山	松島精	平商
佐賀	御厨正	東京開成中
石川	宮永吉平	金澤商
群馬	宮下英夫	高崎商
大阪	宮崎義一	大阪大倉商
三重	百田拓治	横濱一中
岡山	森元一彦	津山商
石川	守友都夫	七尾中
神奈川	守屋富藏	湘南中
靜岡	村上勝太郎	靜岡商

熊本	村上正則	鹿本中
茨城	村上三郎	水戸商
熊本	永木麻治	熊本中
東京	永峯靖	横濱商
兵庫	長尾俊郎	姫路中
福井	中川淳	京橋商
滋賀	中村伊一	八幡商
三重	中尾一郎	津中
東京	中島明夫	東京府四中
神奈川	並木芳賢	善隣商
靜岡	成岡敬一	靜岡商
東京	西川晃平	東京市一中
神奈川	西村羊一	湘南中
大阪	西岡嘉久治	天王寺商
群馬	西島慶次	商工實習
靜岡	仁藤勝彦	沼津商
東京	野村長	海城中
神奈川	野崎孝藏	正則中
新潟	野崎禎二郎	高田中

生徒

岩手	小原佐	花巻中
北海道	小笠原謙	札幌一中
神奈川	小川平八郎	明治中
東京	大畑錦也	川崎中
神奈川	岡田融一	上田中
神奈川	大川俊三	横須賀中
福岡	岡崎吉兵衞	若松中
山口	大森俊彦	豊浦中
熊本	小野明	熊本商
神奈川	大野裕史	横須賀中
栃木	小野勝己	巣鴨商
北海道	大澤榮次郎	岩見澤中
岐阜	太田彰	岐阜中
神奈川	大谷豊治	川崎中
東京	大槻公雄	東京府一商
熊本	小山政己	熊本商
東京	尾島善次郎	東京府三中
北海道	西條友次郎	眞岡中
千葉	坂巻信太郎	京橋商

東京	坂田鎭雄	東京府三中
靜岡	櫻井尚二	靜岡商
秋田	佐藤均	秋田中
宮城	佐藤政男	早稲田中
宮城	佐藤繁壽	横濱一中
山形	佐藤武敏	山形商
北海道	關啓吉	室蘭中
岩手	關敬太郎	盛岡商
神奈川	關口孝一	川崎中
神奈川	瀬戸幸之助	横濱專修商
長崎	柴田太郎	島原中
東京	清水啓治	日本中
栃木	篠原喬	宇都宮中
香川	塩崎定雄	高松商
靜岡	白井敏太郎	濱松商
東京	須賀祥介	東京府一商
神奈川	須藤禎三	横濱三中
秋田	諏訪健彦	東京市二中
群馬	鈴木秀雄	高崎中

神奈川	鈴木弘	横濱一中
神奈川	鈴木正通	横濱三中
東京	鈴木基成	東京府八中
岩手	鈴木正九	一ノ關中
新潟	鈴木進	新發田商
靜岡	鈴木忠男	靜岡中
山形	鈴木貞三	山形中
神奈川	高橋賢治	横濱二中
秋田	高橋康三	秋田中
東京	高橋忠	高輪中
東京	高橋太郎	東京開成中
北海道	瀧本佐吉	滑川商
山梨	田邊康夫	津中
東京	棚澤章	東京高師附屬中
山形	谷口文夫	山形中
佐賀	立石五郎	大連一中
千葉	立野良之	千葉中
靜岡	戸塚隆	靜岡中
千葉	東條壯治	釜山中

鳥取	坪倉茂樹	福岡中	神奈川	若林忠太郎	横濱一中	栃木	簗瀬勇
福島	東原秀夫	安積中	神奈川	渡邊一雄	淺野綜合中	岩手	八重樫英三郎
栃木	塚原和夫	栃木中	福井	渡邊政七	福井商	熊本	横溝邦典
靜岡	築地強	靜岡商	神奈川	渡邊隆	横濱商	京都	米原良雄
群馬	綱島照	高崎商	靜岡	渡會健三	靜岡商	東京	米山豊
高知	梅原正章	高知商	山口	山田蕃	東京市一中	福井	吉田義一
群馬	梅山仁三郎	前橋商	東京	山口、健太郎	同府一商	神奈川	吉川錄郎
長野	臼井洸	横須賀中	福岡	山下徹郎	同三中	長野	吉澤清水
茨城	和田利男	水戸商	靜岡	山下徹	清水商	栃木	湯澤義夫
東京	若林昌也	東京府二商	長野	柳澤義人	小諸商		

宇都宮商
盛岡商
熊本商
京都市一商
京橋商
武生中
小田原中
東京府一中
長生中

第一學年

（×印 聽講生）

宮城	阿部勝衛	石卷中	新潟	青柳健二	長岡商	廣島	濱田操
東京	阿部謹治	芝中	栃木	新井敬	古河商	兵庫	花井浩平
東京	會田壽一	東京府一商	東京	淺野和夫	東京府三中	長野	花岡善一郎
茨城	雨谷精一	匝瑳中	宮城	葦澤昇	横濱專修商	東京	長谷川洋吉
山梨	網野義郎	早稻田實	茨城	海老原幹雄	川崎中	兵庫	畑中穗
埼玉	安藤浩一	埼玉商	長野	江原七郎	野澤中	神奈川	早川茂
神奈川	青木吉雄	横須賀中	神奈川	秋原克己	横濱一中	東京	引場富雄

東京市二中
姫路中
諏訪中
横濱一中
神戸二中
横濱一中
東京府八中

山梨	平井堅志	韮崎中	東京	稻村耕造	東京市二中	神奈川	上川内洋六
鳥取	平井義弘	鳥取商	東京	井上雅夫	安田商	福岡	金久義夫
千葉	平野茂	横濱一中	東京	井上政彌	京都府三中	埼玉	神谷榮一
東京	平田一政	東京府三商	鳥取	石田正	鳥取二中	三重	加藤邁
群馬	本間謙太郎	高崎商	神奈川	石橋幸雄	靜岡商	大阪	加登恒彥
山梨	堀内茂義	川崎中	靜岡	石川勝三	沼津商	靜岡	河合信二
東京	星野富美夫	中央商	東京	石川正男	京橋商	廣島	賀屋敬一
神奈川	福本正	横濱專修商	神奈川	石川楳男	關東學院中	茨城	菊地敏夫
山梨	古屋太郎	早稻田中	富山	石崎家康	東市府六中	タイ國	×シユテイクルキムヘン
東京	伏見正	小倉商	神奈川	石崎一郎	商工實習	東京	木村三郎
新潟	藤林雄二	淺野綜合中	栃木	石塚太郎	宇都宮中	千葉	木谷忠
栃木	藤沼謙一	栃木中	神奈川	伊藤正	横濱一中	高知	北岡利道
神奈川	藤田修	東京府一中	熊本	井山宗一	熊本商	長野	小林弘和
鳥取	伊田敏雄	倉吉中	東京	井澤一郎	青山學院中	神奈川	小泉林藏
神奈川	池田榮一	横濱二中	新潟	居城隆次	新發田商	埼玉	駒田辰三
長野	池田一朔	上田中	東京	神原武夫	東京府一商	神奈川	小山道雄
鹿兒島	池畑久三	淺野綜合中	山口	亀田一美	下關商	岩手	狐崎敬
福岡	今村節之輔	京都府一中	神奈川	亀坂晴史	横須賀中	神奈川	熊井茂三郎
東京	井波眞三	目白商	愛知	上濱清介	東京開成中	茨城	栗原武之輔

商工實習
横濱二中
高輪商
横濱商
大阪大倉商
豐橋中
廣島高師附屬中
水戸中
テプシリン學校
横濱商
商工實習
高知商
横濱一中
横濱一中
松山中
横須賀商
東京府八中
淺野綜合中
土浦中

福島	朽木久夫	福島中
秋田	京野瑞穂	秋田中
長崎	前田實	上海日本商
新潟	丸山二郎	新潟商
佐賀	增本新太郎	神戸一中
東京	松井創	東京開成中
靜岡	松尾智夫	濱松一中
東京	松岡榮五郎	東京開成中
鳥取	松下勉	米子商蠶
東京	三木金治	芝中
高知	南敬郎	東京府一中
東京	三崎一朗	京橋商
福井	三井貞介	關東學院中
東京	三浦理弘	東京府一商
岡山	宮原守	東京市一中
長野	宮本一雄	上田中
茨城	水野敏男	宇都宮商
兵庫	水野美信	姫路中
秋田	守富惣一郎	熱田中
神奈川	永納敏正	淺野綜合中
東京	長洲一二	安田商
神奈川	長塚力藏	横須賀商
岡山	永山勢三	岡山一中
福井	內藤正己	福井商
栃木	仲田立男	宇都宮中
神奈川	中村新一	横濱一中
岐阜	中島晋平	大垣商
東京	根岸三男	米澤興讓館中
東京	西山恒男	東京開成中
山口	野坂弘造	山口中
神奈川	野地昌信	横濱一中
兵庫	布谷清志	東京府八中
新潟	小田市郎	柏崎商
山形	大石智哉	千葉中
東京	岡謙三	湘南中
東京	岡太一	東京府一商
山口	大上八郎	下關商
廣島	岡西巖	廣島商
千葉	大野潤一	佐倉中
東京	大野清一	東京府三商
東京	小野胖	東京府八中
東京	太田博	早稻田中
栃木	太田一郎	栃木商
岡山	大月定美	岡山一商
千葉	尾崎輝夫	匝瑳中
山口	齋藤昌	東洋商
千葉	榊田貞二	成城中
京都	阪根保二	鎌倉中
東京	佐古田博司	京橋商
愛知	櫻井甫	豐橋中
鳥取	佐竹力	鳥取一中
栃木	佐藤明	宇都宮中
長野	澤山元春	横濱三中
千葉	關正德	上野中
東京	瀨野勇	巣鴨商
東京	妹尾照男	青山學院中
東京	志出建城	攻玉社中

神奈川	志賀賢二	商工實習
佐賀	進藤敏彦	熊本中
靜岡	曾根澄三	靜岡商
神奈川	菅沼芳勝	横須賀中
鳥取	水谷敏夫	倉吉中
岡山	杉森澄夫	岡山二商
長野	鈴木清	飯山中
東京	鈴木國光	東京府一商
三重	田上信一	明星中
神奈川	高久五郎	若松商
東京	高野幸一	京橋商
靜岡	高塚宏	靜岡中
群馬	武田平三郎	東京市二中
山梨	武內昌次	東京府七中
埼玉	田村敬之	古河商
神奈川	田邊博一	正則中
神奈川	田邊福松	商工實習
神奈川	田中英明	横濱一中
山梨	立川武雄	東京府一商
茨城	鐵彌太郎	水戸商
山口	德三俊夫	大連一中
愛媛	豊田泰治	松山中
熊本	津田孝太郎	延岡商
神奈川	恒川坦平	横濱三中
熊本	鶴田修一	鹿本中
東京	土山武裕	早稻田中
熊本	牛島寛樹	熊本商
千葉	和田守正	千葉中
愛媛	脇長武夫	松山商
福島	渡部洋	横濱一中
京都	渡利巖	岩國中
靜岡	八木良治	宇和島商
茨城	山田從善	横濱商
神奈川	山口和男	關東學院中
東京	山尾泰造	東京府一商
大分	山內伸一郎	佐伯中
神奈川	米澤幸男	關東學院中
埼玉	吉田博	浦和中
山口	吉田信夫	小樽中
福岡	吉澤健介	福岡商
栃木	弓手貫一	宇都宮中
朝鮮	全秉權	新義州商

貿易別科

栃木	天野正十	栃木中
宮城	天野哲夫	仙臺商
神奈川	安藤昇	横濱一中
兵庫	青田基	明治學院中
長野	有賀美夫	松本商
神奈川	淺居重雄	横濱一中
宮城	長谷川貞雄	日立中
東京	平川清	京華商
宮崎	平山芳嗣	栃木中

神奈川	堀井義郎	鎌倉中	廣島
群馬	五十嵐一郎	高崎商	東京 中
神奈川	石崎富夫	商工實習	長野 中
東京	岩崎邦夫	京橋商	滋賀 中
兵庫	上河豐洲	本中	茨城 中
神奈川	橘川吉郎	川崎中	愛知
愛知	菊池金也	東海中	岐阜
神奈川	小林博彦	商工實習	茨城
東京	小原重太郎	巢鴨商	神奈川 西山
青森	鯨岡輝雄	八戸中	静岡
兵庫	間嶋圭三	日本大學 大阪中	沖野
静岡	村松安政	清水中	神奈川
東京	村田公男	明治學院 中	福島
栃木	永森要	大田原中	佐久間
神奈川	長澤重三	横濱一中	神奈川

特待生

第三學年　駒井義郎　越智平吉　足立喜作
第二學年　井上富次郎　小川三郎　小島政宗

中川洸	廣島一中	山形	佐藤義夫
中溝善博	東京府六中	東京	四王天正章
中村敬司	伊北農商	熊本	塩山德藏
中谷愼三	東京府三中	長野	春原道久
中山武雄	京北中	福島	武田久市
成田絢男	岡崎市商	岡山	竹原松造
成戸芳文	岐阜中	東京	田卷信二
仁平悟郎	水戸中	京都	田中稔
西山哲	商工實習	栃木	戸恒孝
沖野昇	静岡中	富山	坪坂大三
秋山敏夫	都留中	静岡	土屋光春
齊藤喬	横濱一中	静岡	横山隆治
酒井信輔	横濱商		
佐久間孝	商工實習		
佐々木			

中川洸	廣島一中	山形	佐藤義夫
中溝善博	東京府六中	東京	四王天正章
中村敬司	伊北農商	熊本	塩山德藏
中谷愼三	東京府三中	長野	春原道久
中山武雄	京北中	福島	武田久市
成田絢男	岡崎市商	岡山	竹原松造
成戸芳文	岐阜中	東京	田卷信二
仁平悟郎	水戸中	京都	田中稔
西山哲	商工實習	栃木	戸恒孝
沖野昇	静岡中	富山	坪坂大三
秋山敏夫	都留中	静岡	土屋光春
齊藤喬	横濱一中	静岡	横山隆治
酒井信輔	横濱商		
佐久間孝	商工實習		
佐々木			

横濱二中	佐藤義夫		
關東學院中	四王天正章		
	塩山德藏	熊本商	
	春原道久	上田中	
	武田久市	安積中	
岡山一中	竹原松造		
東京市一中	田卷信二		
	田中稔	愛知商	
	戸恒孝	宇都宮中	
	坪坂大三	横須賀中	
	土屋光春	沼津中	
	横山隆治	享榮商	

○卒業生

本科第一回

（昭和二年三月　百十七名）

秋元美保	神奈川	平野淳次郎	神奈川
天野大造	福岡	平澤清美	京都
安藤鋼三郎	東京	福見重榮（武石改）	富山
青山辰三	京都	福山奇平	長崎
青木俊一	東京	二神美和	愛媛
青木秀夫（岩間改）	神奈川	藤田勝義	神奈川
芦澤一吉	山梨	市川洪	神奈川
出川肇	神奈川	市川東平	神奈川
遠藤史紀	福岡	市川泰次郎	神奈川
原寛	千葉	井田仁	静岡
原田眞佐雄	山梨	今泉孝一	三重
橋本萬世	三重	井口東輔	熊本
早川千顯（福生改）	三重	石田光治	神奈川
平井欣二	山口	板倉光雄	神奈川
平館利雄	福島	伊藤正一	静岡

伊藤和吉	岐阜	栗原義潤	静岡
岩原義人	長野	黒田榮一	兵庫
岩城榮一（中妻改）	京都	草生信成	大阪
川野政雄	熊本	限部吉雄	長崎
梶谷義平	岡山	桑山甫	愛知
川越龍郎	宮城	丸山敬三	大阪
河西要	山梨	松本利男	兵庫
笠原佑次郎	静岡	松尾準藏	兵庫
片桐義人（相澤改）	神奈川	松井郁一	石川
亀井治郎（竹治郎改）	神奈川	桝豐助	宮城
河本英二	大阪	儀治也	群馬
古知治郎兵衛（板倉改）	静岡	三木宜之	兵庫
小林幸助	栃木	光井琢磨	廣島
小石壽夫	山梨	三輪巳之助	東京
久芳龍男	福岡	三宅麟太郎	東京

宮島信一（清一改）　富山
三宅康智　京都
村田進　德島
森田榮作（伊藤改）　山口
名倉基司（仙藏改）　奈良
中村啓　島根
楢崎紀男　廣島
贄田重策　群馬
根本清　東京
西川明　福井
西村民之助　京都
西野己男司　宮城
野中三郎　岡山
荻原七郎　山口
小串靖夫　神奈川

大濱敬次　熊本
大橋政興　神奈川
大平和雄　東京
大關幸一郎　神奈川
大石建城（山下改）　兵庫
太田重恭　東京
瀬能憲一　兵庫
柴村和利　兵庫
澁木直夫　東京
島田喜與志　新潟
清水泉　東京
曾依仁　臺灣
菅谷芳郎　栃木
杉浦秀作　石川
鈴木喜久松　山形

鈴木功　栃木
杉山正男　三重
立花寛（津村改）　東京
立花義一　兵庫
高橋英次郎　千葉
竹内谷雄　三重
玉木幸次郎　石川
田中文三　神奈川
田中政二　京都
田村龍三郎　茨城
多村秀清　富山
千ケ崎博（川畠田改）　茨城
富田勳　德島
辻籟二（臨原改）　京都
土屋敏雄　廣島

内田義一　靜岡
浦野雄二　千葉
若原竹次　岐阜
鷲崎鶴市　佐賀
渡邊兼治　東京
渡邊一弘（中島渉改）　東京
矢田四郎　石川
山田弘　群馬
山崎好衛　神奈川
安井泰次郎　滋賀
芳野一男　神奈川
吉岡正壽　埼玉

本科第二回

（昭和三年三月　百三十名）

雨宮憲作（伊東改）　山形
安東信常　東京

安藤宗　大分
淺野義知　石川

淺野雄二　三重
淺井秀次　石川

麻生重雄　神奈川
相澤有　神奈川

秋定鶴造　兵庫
畔上勝二　新潟
臺信精二　熊本
江口脩二　廣島
服部甚四郎　岐阜
端山正三　神奈川
早瀬正彌　神奈川
林武雄　東京
林三木三（鈴木改）　岐阜
濱谷源藏　富山
濱田清　神奈川
平井信夫　埼玉
布施勝男　新潟
藤田平八郎　靜岡
藤井康次（善五郎改）　福岡
藤井銈次　東京
深澤多喜男　岩手
福本忠男　廣島
飯島美代治　山形

石橋透　千葉
石井清　秋田
池田楳　神奈川
伊藤三千三　千葉
井島保治　神奈川
市川俊次　三重
金井庫二　長崎
賀川利春　神奈川
加藤和之　島根
河邊勝雄　神奈川
河合邦雄（上野改）　栃木
川上貞雄（宮永改）　福井
木村英一　靜岡
木本正一　廣島
桐野眞壽男　岡山
喜多川省三　東京
岸田俊介　滋賀
小泉武夫　千葉
小松久義　鳥取

小島良平　栃木
小林猛　靜岡
越野太作　石川
神前斯人　和歌山
久木田信雄　鹿兒島
栗林忠雄　大分
松村彌太郎　東京
松田實　廣島
松浦勝一　茨城
前田榮雄　福井
前島壽治　靜岡
宮内林藏　大阪
宮崎武夫　福島
森田光吉　栃木
森田由次郎　神奈川
森上康夫　岡山
森山琴信　長野
本村茂　長野
諸橋詳五　新潟

村岡政明　神奈川
村瀬勝好　愛知
宗村岩松　新潟
中島斟三（雄師寺改）　富山
中野泰民　佐賀
西善三　鹿兒島
野田武三　富山
野口晟一　神奈川
岡田守朗（芳夫改）　栃木
岡澤治彥　神奈川
岡島武雄　神奈川
岡村通雄　高知
大須賀與喜三　神奈川
大西泰一　東京
大島薫平　神奈川
大平主馬之助　福井
乙咩達雄　長崎
緒方保孝　熊本
生沼正義　東京

太田儀三郎（大木改）	神奈川	志村豊
太田伊高	廣島	塩崎鐐夫
奥田進	新潟	白崎豊
奥澤庄太郎	茨城	朱膳寺進午
榊原元次郎	静岡	副島清次
齋藤静雄	福岡	菅原通（秋田改）
薩埵莊一	静岡	鈴木力
坂本四郎	山口	鈴木晶
櫻井國雄	熊本	高津愛三
柴田宇平治	山形	高橋竹三郎
柴田文治	愛知	高木勝雄
清水梧郎	東京	高木巳夫
赤松喬藏（宮城改）	遠藤武夫	神奈川
網田利雄	東京	蛯谷辰久
荒井正	神奈川	伍藤茂雄
荒川礒一	愛知	平野穆（上浦改）
淺野長吉	群馬	平野舟城
		茨城

本科第三回

（昭和四年三月　百三十一名）

田畑泰藏	東京	塚原嘉
田邊一夫	神奈川	宇田川喜治
田中定道	東京	牛尾敬一郎
田中重成	神奈川	渡邊昇
田中平吉（小阪改）	鹿兒島	若林健
田中東彦	岡山	若山茂
竹谷勇	兵庫	吉川吉光
谷口寛（佐々木改）	福岡	吉田太郎
千葉正三	福島	吉田義雄
千葉信治郎	宮城	結城榮治
中條義勝（千秋改）	東京	
塚田耕一郎	長野	
久松福一郎	神奈川	布施重剛
檜山三三郎	茨城	藤川光司（渡邊改）
堀勇一	東京	藤木晃
荻野清	三重	藤川光司
日高勝忠	東京	石井英二
		栃木
		兵庫
		東京
		福岡
		熊本
		茨城
		埼玉
		岩手
		北海道
		山形
		新潟

石井知義	山口	加藤善七
石井義雄（佐野改）	埼玉	菊池凌
石川康	神奈川	北口善巳
板橋秀次郎	神奈川	菊池英夫
市川清	愛知	木村治郎（倉澁改）
猪狩喜一	福島	木村正夫
飯島政一	神奈川	小林博司
池澗章	富山	小山一也
池田稔	神奈川	小島小太郎
乾利	長野	近藤一男
今村久	熊本	工藤英一（木村改）
稻葉捷巳	静岡	工藤政次
岩田得三	京都	高坂京二郎
上瀧一郎	佐賀	松永君太郎
加田豐實	島根	牧野英夫
加藤卓三	東京	間宮道之介（重秋改）
加藤芳男	神奈川	増田啓安
金子喜代司	長野	松本正雄
		増田喜三郎
三宅二郎	京都	大石八治
水谷剛男	東京	小野慶藏
望月保	山梨	小橋午郎
室田哲夫	福井	大石敏夫
武藤正平	東京	大塚富之助
村田嘉幸	神奈川	齋藤瑛一郎
中尾清人	愛知	齋藤一雄
中島泰祐	埼玉	齋藤保
中島隼人	鹿兒島	坂本直一
中山武雄	群馬	佐藤武二
長野芳郎（八木改）	静岡	佐藤周一郎（佐田改）
橋岡力	福岡	佐々木宣良
達郎	兵庫	澤野誠一
西村健二郎	神奈川	鈴木正一
仁科守	長野	杉崎茂
及川茂雄	岩手	芝田春榮
大貫三郎	山形	澁木直實
大内基	北海道	下村彦三
小熊清吾	新潟	白谷信一
		福岡
		静岡
		神奈川
		長野
		愛媛
		神奈川
		東京
		埼玉
		京都

高田寛　兵庫
高野修二　福島
俵七郎　神奈川
高橋進三郎　千葉
瀧本新　栃木
竹中芳一　岐阜
爲積廣司　東京
田中鶴吉　埼玉
瀧澤元始　長野

田野井藤司　神奈川
寺田安雄（會津改）　神奈川
手塚好公　静岡
德永幸雄　愛媛
寺澤正雄（桑山改）　愛知
富樫東一　山形
辻七五三雄　大阪
塚田義雄　東京
土川太郎　東京

内田正太郎　岩手
植村東平　大阪
内山定一　神奈川
上田喜久男（瀬戸改）　福岡
渡邊磐雄　栃木
和田道　徳島
山田坦　三重
山口正五（福島改）　東京
安池重威　岐阜

矢島和郎　長野
安田忠作　山形
矢崎謙六　東京
吉川富雄　石川
吉田君三　廣島
吉田利夫　長崎
吉川正治　神奈川
油谷和夫　福井

本科第四回（昭和四年三月　百五十六名）

相田剛　福島
天達保（加藤改）　神奈川
淺山正之　青森
淺川隆央（武夫改）　東京
荒川義一　宮城
赤松大之　宮城
天野隆一　秋田
後藤寛一　島根

林淳一　北海道
橋本信次　栃木
原田俊雄　佐賀
廣瀬淳二　岡山
比嘉賀文　沖繩
寶鏡公昌　福井
堀要雄　神奈川
堀井時之助　京都

北條壽夫　兵庫
本条堯　香川
保坂美登　東京
本間喜雄（吉川改）　山形
福澤浩　長野
藤代弘史（住吉改）　栃木
市岡乙彦　岐阜
今井良平　神奈川

井上進　京都
井澤友次郎　大阪
石川三郎　茨城
石川武之助　神奈川
石村昴　群馬
磯信二（君島改）　栃木
伊藤亮一　静岡
伊東喜久郎　岐阜

伊東久雄　福井
飯島博三郎　神奈川
岩崎保道（牟次改）　神奈川
唐澤三喜男　群馬
加藤武雄　岐阜
加藤道三（森改）　静岡
川邊克巳　茨城
川上良一　東京
川島達士　埼玉
金子恒男　群馬
蟹江三吉　愛知
片倉芳雄　神奈川
片川晴雄　栃木
勝木德治郎　福井
河内清　佐賀
木川敏一　神奈川
北川朝生　熊本
木村義明　東京
菊地和夫（大久保改）　茨城

小林林一　神奈川
小島英三　栃木
小島廣一　栃木
小紫孝　兵庫
古賀喜八郎　福岡
古口清一郎　栃木
甲賀正春（石川改）　群馬
近藤春雄　岐阜
越地勇　神奈川
越村信三郎　石川
日下照夫　東京
日下威織（立石改）　静岡
熊倉卓三　栃木
松本五城　埼玉
松本大次郎（服部改）　三重
松島滋　長野
丸橋仁　群馬
町田敏郎（黒田改）　佐賀
丸田順康（実政改）　佐賀

益田清三　熊本
森和雄　京都
森戸良雄　群馬
森川信　静岡
毛呂正三　神奈川
望月幸吉　静岡
村瀬銹一（三浦改）　愛知
村田憲二　埼玉
室谷莞爾　石川
中島庄藏　愛知
中島博次　群馬
中村幸久　東京
中山二郎（中谷改）　石川
中谷郁三郎　北海道
仲田博　東京
永瀬保次　神奈川
南後馨　福井
新保宗夫　鹿兒島
西宮昇一　栃木

西脇正平（畠山改）　新潟
野尻嘉枝　静岡
野村一雄　東京
沼田三郎　富山
沼上薫　神奈川
大原勇三郎　福岡
大橋滿次郎　東京
大澤一雄　静岡
大越兵司　茨城
小澤治郎　静岡
小澤猛雄　静岡
小原喜十郎　福井
緒環武　大分
落合濤　茨城
佐伯健一　神奈川
佐野滋樹　宮城
佐野英一　群馬
佐藤繁藏　山形
佐々木惠一（敬三改）　岩手

坂田隆雄（富田改）　長野　鈴木庸夫　神奈川　田村彌一　岡山　和田順爾（加藤改）　福井
清水悅夫　埼玉　菅輝藏　廣島　田波久五郎　栃木　渡邊金三郎　靜岡
篠塚敏彥　廣島　高島友治　神奈川　立石顯正　福井　渡邊逸雄（杉野改）　山梨
柴田清　岐阜　高部登　神奈川　龍山清義　岐阜　渡邊義哉　靜岡
澁谷敏夫　神奈川　高倉波三　島根　東福寺信　神奈川　八木一郎　靜岡
白井司郎　神奈川　高谷道　岡山　角田眞一　東京　矢部明　埼玉
庄野實　德島　高橋周平　東京　德增榮治郎　神奈川　矢作直次郎　神奈川
鈴木松太郎　靜岡　高木一　神奈川　塚田富也　愛知　山口茂　長野
鈴木駿　東京　高山莊四郎　長野　辻寬三　大阪　吉田政市　東京
鈴木貞雄　群馬　武田武雄　岩手　卜部正太郎　埼玉　吉野福三郎　神奈川
鈴木勇一郎　靜岡　玉城進　沖繩　瓜田亮一　青森　吉川彰　鹿兒島
鈴木秀　山形　田中康男　東京　植田繁夫　大分　由木昇　鳥取

本科第五回

（昭和六年三月　百三十三名）

阿部吉之助（安齋改）　福島　淺井良策　山梨　萩原豐治郎　靜岡　林田春男　熊本
小林安雄　東京　淺野總一　新潟　箱守清　茨城　平山幸介　兵庫
青柳房雄　千葉　泥堂弘生　東京　濱野酉男　靜岡　蛭田睦平　福島
有吉成彥　東京　土橋一郎　東京　原口倭一　埼玉　星德衛　福島
朝夷倫夫　山梨　羽金光之　栃木　林太郎　三重　藤並三千夫　大阪

探見三郎　石川　神原實　廣島　久保甫　香川　長鎌兼太郎　神奈川
古澤昌雄　群馬　叶田敏夫　茨城　久保修　京都　中村義勇　新潟
福井秀夫（香取改）　富山　唐崎保平　埼玉　久保田弘明　群馬　仲山一郎　靜岡
伊藤清　千葉　笠原善一　靜岡　久富有次　岐阜　西田克巳　三重
一宮三郎　東京　笠原孝三（大瀧改）　神奈川　栗原繁太郎　東京　西本幸次郎　北海道
出田孝一　熊本　片山令二　靜岡　楠本正之　高知　西村吉男　鳥取
池澤稔　千葉　加藤正男　愛知　前田孝土　福井　野川和夫　神奈川
石橋利幸　千葉　勝又重雄　宮城　牧野武治（長井改）　神奈川　小川芳夫　山形
石川一正　愛知　川添順三　長野　增山正一　山口　大平一雄　新潟
磯ヶ谷禎三　神奈川　菊池雅男　岩手　三宅誠　福井　大野英三　三重
岩楯莊一郎　神奈川　木村博治　東京　三間二郎　岐阜　大類武雄　山形
岩間雪夫　大阪　岸瀧雄　東京　宮本秀夫　茨城　太田健三　東京
岩田一郎　神奈川　北垣幸雄　島根　宮內俊之　千葉　大谷嘉平　福島
岩淵二郎　北海道　北澤恒雄　長野　水谷與四郎（大野改）　東京　岡田英一　靜岡
泉三義　新潟　喜多山九馬（岩谷改）　福井　森芳郎　岐阜　岡本貞良　靜岡
糀島政吉　福島　小出新次郎　東京　森有三（柴一改）　神奈川　岡本恒次　神奈川
亀野俊量　神奈川　小池興市　東京　森田修弘　三重　岡洋　福岡
亀山重男　宮城　小宮武雄　佐賀　森下勝美　大分　小澤秀吉　福島
神谷秀雄　石川　小柳清海　福井　村山武雄　熊本　陸田之男　埼玉

坂口一郎　神奈川
齋藤武雄　神奈川
笹沼武夫　栃木
清家春雄　愛媛
新海巳之吉（玉木改）　神奈川
七野政吉　石川
末廣悟　大分
杉谷彦三郎　熊本
菅原喜代治　山形
鈴木五郎　山形
秋田金一　静岡
天野勉　東京
天野恒雄　静岡
青山好雄　長野
青木周夫　栃木
海老原正雄　神奈川
春木力　神奈川

本科第六回

（昭和七年三月　百四十四名）

鈴木清　茨城
鈴木孝一　宮城
鈴木洋男　神奈川
高橋俊彦（佐藤改）　熊本
高橋眞作　新潟
田澤廣　新潟
寺井竹雄　和歌山
土谷立三　千葉
津村重治　神奈川
辻田長生　長崎
橋本壯輔　神奈川
平野武夫　東京
本田隆雄　神奈川
星野泰助　千葉
堀場正男　愛知
藤川謙三　新潟
飯塚眞次　栃木
内山秀雄　福井
若生要　茨城
若林義雄　東京
渡邊驥　山形
渡邊佐久間　東京
渡邊芳夫　神奈川
渡邊雄一　静岡
渡邊信雄　群馬
山本啓三　新潟
山本貞長　茨城
山本秀雄（佐藤改）　廣島
山上伸一　神奈川
山崎次策　石川
山内輝夫　大分
山崎勇吉　長野
横田勇輔　茨城
吉井政吉　静岡
飯島良　埼玉
飯島三郎兵衛　長野
池田勇　神奈川
池田政美　岩手
石井敬三　栃木
石田誠治　栃木
石渡眞佐雄　神奈川
石山寛　神奈川
磯匠　栃木
印田義克　三重
砂金成　宮崎
伊東鉎一　静岡
伊藤貞雄　京都

糸井泰治（特田改）　千葉
謙田常治　神奈川
勝又博　静岡
加藤幸男　宮城
加藤伊輔　神奈川
亀田卯作　埼玉
川村俊　静岡
風見重雄　東京
金井一雄　千葉
金澤憲夫郎　熊本
唐澤忠利（伊藤改）　長野
川人三郎　北海道
木村保重　東京
木下治久　静岡
清友文夫　福岡
岸川儀一　佐賀
小林安雄　長野
小林一　長野
小山克巳　静岡
小山製次雄　長野
古井丸誠司　新潟
越田義太郎　神奈川
桑原恒一郎　新潟
眞野幸次郎　山口
松村政彦　東京
松永誠　福岡
松原幸雄　福岡
町田幸平　福岡
間瀬俊平　愛知
町田桑太　群馬
増田道之助　兵庫
益子胖　栃木
宮川保　長野
宮崎末男　静岡
宮崎周治　兵庫
宮本亥八郎　東京
三浦義隆　滋賀
森（鈴木改）　神奈川
森本重雄　京都
村上拾三　山形
小關周一　和歌山
小山健三郎　神奈川
長尾貫一　東京
中村憲次郎　神奈川
中島幸三（和一改）　東京
中井泰雄　京都
中森連三　福井
根岸利武　東京
西川昇　廣島
西野重克　山形
丹邊恭平　熊本
大原重吉　福島
大橋政一　兵庫
大川義章　山形
大谷道男　東京
大橋（小島改）　東京
小野善平（丹羽改）　岐阜
岡野稔　廣島
岡本友吉　静岡
及川幸太郎　神奈川
細郷彌市　熊本
齋藤豊　山形
佐藤信吉　神奈川
佐藤敏雄　宮城
佐藤正司　長野
佐藤祐幸　島根
佐川芳郎　福島
榮後雄　東京
坂井高　廣島
坂本一　埼玉
澤梅太郎　東京
關逸平　神奈川
關根章司　埼玉

關指忠雄	東京	鈴木浩	東京	武谷信太郎	群馬
關口清	埼玉	鈴木清太郎	神奈川	寺尾欽二	三重
仙藤伸一	岐阜	鈴木隆一郎	山形	寺門喜久治（藤田改）	秋田
瀬尾貞夫（藍田改）	福島	須藤軍二	山形	寺澤憲治	靜岡
澁市英義	神奈川	杉本恒夫	廣島	登内盈	長野
白鳥重威	靜岡	隅田恒二郎	神奈川	土志田進	神奈川
島田規矩雄	長野	田口利介	岐阜	外山貞夫	神奈川
島谷喜太郎	青森	田中秀雄	愛知	冨重貞夫	熊本
鹽見力	東京	高田淺夫	廣島	次廣一郎	靜岡
城石正義	神奈川	高橋喜一	福井	塚本太三郎	靜岡

臼井滿隆	鹿兒島	安部一二三	大分	荒木八郎	佐賀
梅津幸平	富山	相澤正司	神奈川	永露太一（修一改）	福岡
渡井英二	神奈川	赤星浩一	熊本	江夏喜兵衛	宮崎
和田保一郎	大阪	赤羽庸一	長野	後藤肇	東京
山本要次郎	三重	明浦正雄	石川	後藤正	靜岡
山村武雄	神奈川	甘利尙良	長野	濱孝正	長野
山下和俊	德島	青柳正一	神奈川	花木美眞	廣島

山口孝吉	東京	原正男	石川	林原竹夫	廣島
山崎留	靜岡	原幸男	神奈川	日野正	北海道
吉田眞一	埼玉	原田喬	靜岡	平井又三郎	熊本
		長谷川（山口改）	島取	本間善次郎	秋田
		秦修	東京	堀定夫（藤田改）	北海道
		羽鳥文滋（正一改）	東京	堀野健治	靜岡
		林宥海	神奈川	福田清	栃木

本科第七回

（昭和八年三月　百四十四名）

深澤茂	長野	小林正夫	茨城	水庫友吉	長野
市川澄	岡山	小林健一郎	山梨	望月忠造	靜岡
市川喜作	神奈川	小島弘一	群馬	毛利千里	廣島
五十嵐智治	東京	小峰登	東京	森井行道	和歌山
生田正二	神奈川	兒玉恒一	新潟	武藤榮一	靜岡
今村久壽輝（雀部改）	高知	熊谷一治	東京	村上忠一	新潟
今村彥治	石川	倉田茂	廣島	村松一雄	神奈川
伊勢丑松	岡山	黑田梧郎	佐賀	永田豐作	德島
石江宗明	栃木	前川原一	香川	中隈正治	神奈川
石田源二	靜岡	眞庭健次郎	群馬	中村勁一郎	東京
石田兵三郎	群馬	丸屋鉄	神奈川	中村卯一	鹿兒島
石井吉雄	神奈川	松田正久	群馬	中尾治	鳥取
石川得助	東京	松浦加吉	東京	名和善次郎（中尾改）	群馬
岩橋正三	熊本	松澤榮	東京	西川金司	大分
菅野菊雄	東京	箕輪忠夫	栃木	西村博吉	東京
加藤茂（田村改）	茨城	三宅力	福井	西尾邦明	靜岡
金居伊勢雄（藏貝改）	群馬	三谷恂	山口	西澤政通	長野
川口正次	神奈川	宮本敏司	兵庫	野木二郎	東京
數永亮司	廣島	宮内幸次	千葉	布村一郎	東京

小川勇	北海道	小川薰明	兵庫	荻野三代治（岸改）	長野
尾池常雄	山形	岡本銑一郎	東京	大久保隆司	神奈川
奥澤幸次郎	東京	小野鎭夫	福岡	大島武	埼玉
太田源藏	東京	大津信一	茨城	佐橋省三	埼玉
佐野茂雄	山梨	澤田五郎	神奈川	關戸義雄	東京
關口正章	東京	柴田眞一	山形	清水睦夫	靜岡
椎橋峰雄	東京				

菅原一郎	宮城	鈴木善爾	神奈川	上野三郎	栃木	山本弘	靜岡
杉崎猛	東京	高橋安次郎	宮城	梅林喜久一（樋山改）	愛媛	山下雄太郎	愛知
杉浦昇	愛知	高井榮次	三重	梅澤彌七	神奈川	柳澤保正	長野
杉山嘉一郎	神奈川	田中良雄	長野	海野三次郎	茨城	矢野直巳	長野
勝呂傳之助	靜岡	丹野彌兵衛	岩手	鰐部正直	東京	奥川繁男	埼玉
鈴木吉太郎	愛知	立岡太郎	滋賀	八木正二郎	福井	横山敬孝	宮城
鈴木四郎	茨城	長浩	東京	八木徹（正人改）	神奈川	米谷邦衛	秋田
鈴木正吉	靜岡	戸井元八	神奈川	山田將人	東京	吉田義一	福井
鈴木茂	靜岡	東條光雄	宮城	山口信夫	新潟	吉川久雄	神奈川
鈴木義男	千葉	塚田悅三	神奈川	山本弘	山梨	吉川善市	福島

本科第八回

（昭和九年三月　百四十五名）

相川善二	山梨	合谷種久	福岡	林勝	北海道	福田正二	栃木
赤井正二郎	東京	蜂須賀正光	栃木	林隆明	東京	福井吉博	新潟
赤羽義一	長野	播村政光	兵庫	林保太郎	靜岡	古澤度	群馬
土肥清	兵庫	長谷川三郎	千葉	日野精久	島根	布澤貞雄	宮城
源久茂	靜岡	長谷川瞻	鹿兒島	保實	岐阜	猪狩吉直	福島
鄉幸之助	千葉	林一郎	廣島	保坂嘉雄	東京	飯沼新二	熊本
五味三男	山梨	林孝一	東京	兵頭敏郎	愛媛	池之上龍一	鹿兒島

今泉盛雄	福井	小松重喜	長野	內藤定市	神奈川	狹川（眞三改）昌義	京都
稻葉唯雄	神奈川	近藤康平	東京	成見孝太郎	秋田	佐伯歸一	三重
石井謹一	岡山	今野正春	宮城	新津浩一	長野	佐伯（眞林改）武	廣島
伊藤格爾	神奈川	古世子清造	神奈川	廼島十一郎	新潟	酒井榮三	東京
岩淵善太郎	福島	窪野忍	靜岡	野口濱次郎	埼玉	齋藤喜久司	新潟
岩崎弘法	福岡	桑原良雄	東京	乘松大五郎	靜岡	齋藤弘三	神奈川
海保芳夫	群馬	丸山時次	熊本	能代清次	北海道	齋藤縫八郎	靜岡
金井保	北海道	丸山德次	東京	大場兼治	東京	三條正吉	山形
金子寬	山形	松井剛一	秋田	大枝欽一	山口	佐藤克巳	宮城
唐澤一雄	長野	松本貞雄	群馬	荻原昌巳	山梨	佐藤正治	神奈川
笠原廣作	新潟	松坂清助	福島	小栗幸太郎	高知	佐取正二	栃木
加藤新一	靜岡	松下芳男	長野	小栗康男	靜岡	志摩八三郎	德島
川合謙次	靜岡	三木田武夫	栃木	大原榮一	福島	志摩正	宮城
川本正二	神奈川	三浦五郎	千葉	奥野茂	神奈川	島田義保	熊本
片倉正啓	長野	三浦勝之助	山梨	折笠元紀	福島	清水敬二	石川
間中芳雄	大阪	宮邊修吉	廣島	大里正夫	茨城	清水喜代道	長野
木原幸雄	廣島	溝口新次	長崎	大塚龍司	群馬	汐崎勇	愛媛
北島丑松	東京	諸戸浩	三重	大屋正夫	富山	新村專太郎	靜岡
北澤庄市	神奈川	永瀨敬二郎	東京	小柳傳作	新潟	正村菊人	長野

早福由五郎　新潟
菅田直實　廣島
杉本勤二　新潟
杉村忠利　德島
鈴木同　神奈川
春原清春　長野
鈴木喜久太郎　靜岡
唯野眞一　福島
田口國男　秋田
高木育一　長崎
竹中滋　神奈川

田島鉦之助　神奈川
田邊穰　新潟
田原國太郎　東京
大社正治　鹿兒島
高橋正司　新潟
高木日出男　福岡
高木彌太郎　靜岡
高山茂　靜岡
武富賢吾　佐賀
丹原正一　熊本
富岡辰男　福岡

富田茂夫　神奈川
坪井巳義　岐阜
塚田角平　栃木
上原武夫　長野
上杉（茂雄改）雅男　福島
宇佐美一夫　靜岡
宇佐美重孝　靜岡
薄木宇三郎　宮城
渡邊定夫　神奈川
矢作一郎　東京
山田正　神奈川

山口益雄　茨城
山木太郎　愛知
山村實　佐賀
山崎武　東京
安田鍊太郎　青森
矢崎勇治　埼玉
矢崎重雄　長野
湯本一男　神奈川

本科第九回（昭和十年三月　百二十九名）

阿部正美　山形
安西忠男　神奈川
我妻太郎　神奈川
馬場内住一郎　栃木
後藤正男　埼玉
早川亨　神奈川

平原力　神奈川
平野毅　靜岡
平田清一　群馬
久富辰雄　佐賀
本多啓水郎　愛知
堀口五郎兵衛　岩手

福田貫　東京
福田三郎　栃木
古市芳男　福島
市毛庄一郎　福島
井口市朗　長野
今井正彥　靜岡

今井保二　神奈川
今川豎夫　神奈川
井上益太郎　神奈川
井上照雄　靜岡
石原春雄　神奈川
石井榮次　東京

石井五郎　神奈川
石井祿次郎　東京
石野清次　靜岡
磯部義郎　福島
磯谷信義　島根
伊藤一二　岩手
伊藤茂一　東京
伊豆博之　大阪
和泉眞弘　茨城
籠橋久重　岐阜
亀井義信　京都
狩野君太郎　宮城
狩野金作　靜岡
柏谷豐三郎　秋田
加藤嘉則（上原改）　神奈川
川田了　福岡
菊池正　茨城
小林正治　神奈川
小林敏道　神奈川

小池正　福島
小谷良貞　東京
熊谷幸夫　長野
栗原英二　靜岡
栗生陽太郎　東京
日下正武　神奈川
桑田榮次　神奈川
前田巳木雄　愛媛
牧野正一　秋田
松本常利　熊本
松島保　靜岡
皆川三郎（濱口改）　宮城
三浦正三　青森
宮本卯三郎　山形
宮澤正夫　長野
水口秀大　靜岡
望月智　靜岡
盛野三郎　岩手
村井高麗雄　東京

村上嘉壽　神奈川
室橋武司　新潟
永岡昌吉　栃木
永田安夫　靜岡
中村俊朗　神奈川
西川正尙　東京
小駒龜雄　千葉
小田切四郎　長野
岡田秀夫　富山
大橋常俊　群馬
大河原達彥　神奈川
大桃定雄　福島
大西武雄　山口
忍澤清　東京
尾崎茂　和歌山
坂田吉秋　福岡
櫻庭一郎　青森
櫻井正三　東京
佐藤秀吉　新潟

佐藤一　東京
佐藤大　福島
澤和男　東京
澤木正　靜岡
清水壽夫　群馬
下山正　靜岡
品田悌二　新潟
篠原寬　東京
據見六郎　兵庫
相場正三　長野
須藤正三郎　福島
須原久男　神奈川
杉未慶三　千葉
杉山泰三　山形
鈴木斐雄　長野
鈴木克己　廣島
鈴木政雄　靜岡
田口末麿　群馬
田内胤男　高知

高木正男	東京	辻　豊治	秋田
高橋元敦	廣島	鵜見俊雄	東京
高橋六郎（五十嵐改）	神奈川	上島文男	長野
高見倉藏	新潟	宇野八郎	滋賀
高村順二	栃木	若林一郎	新潟
谷岡良水	高知	若森忠	静岡
戸泉甫	神奈川	鷲澤平六	長野
戸塚茂實	群馬	渡部作太郎	静岡
渡邊一男	千葉	柳田喜七郎	神奈川
渡邊喜八郎	東京	柳原康良	東京
渡邊光好	東京	八代逸藏	山梨
八木橋親臣	静岡	吉川利雄	東京
矢島繢	島根	吉川俊夫	神奈川
山上正二	神奈川		
山木茂	神奈川		
山本春一	福岡		

本科第十回

（昭和十一年三月　百三十名）

秋山政樹	茨城	濱田十二郎	熊本
荒瀬日出光	熊本	早川義典	山梨
淺見長夫	神奈川	東　寛治	熊本
浅沼正	静岡	廣瀬文一	神奈川
東　滿雄	三重	本間亮二郎	秋田
出口秀太郎	静岡	堀口幸世	埼玉
濁　寛	石川	堀越茂	栃木
後藤虎雄	熊本	細井康年	神奈川
濁田清三郎	神奈川	堀田英	神奈川
福島榮朗	神奈川	伊藤隆一	東京
舘千田俊助	大分	伊東豊	東京
藤原博彌	北海道	岩瀬節	長野
本村二郎	東京	岩瀬祐一	岩手
飯島實	東京	岩本泰雄	東京
池田泰三	神奈川	岩崎正次	神奈川
今福正夫	廣島	鎗木正	千葉
石川貫	愛知	梶山正親	茨城
伊藤	正	亀谷博行	高知

神山智一	栃木	黒田潤	東京
金久保喜八郎	埼玉	櫛山弘	熊本
神戸彌	栃木	増田彰重	神奈川
金子正典	東京	松田浩一	大阪
金子利雄	東京	松本清	埼玉
片山正二	静岡	三田乃武夫	新潟
加藤昇	静岡	村川正四郎	北海道
河上寛	長野	永井謙吉	青森
河島平助	熊本	内藤博典	愛知
木村吉郎	東京	中原森太郎	神奈川
北井護治	神奈川	中島亨	茨城
清川章	静岡	中島敏夫	大阪
小林久八	三重	中村健一	山形
小松登	山口	中村孝平	福島
今場友義	静岡	中村正保	東京
近藤泰一	東京	中村六郎	秋田
小山喜規	静岡	中山博	神奈川
久野寅男	神奈川	西川貫	奈良
倉澤虎男	長野	西岡武	新潟
西脇敏雄	滋賀	澤田勝郎	岩手
佐賀正典	長野	澤田清	東京
佐川正次	静岡	澤田守	茨城
小野尚太郎	山形	櫻井和男	神奈川
大橋政和	群馬	笹沼清作	栃木
關根孝治	神奈川	佐藤浩	岩手
關谷角藏	滋賀	佐藤光男	山形
柴田淺右衛門	静岡	佐藤良四郎	秋田
下田幸三郎	東京	田中亮	東京
須田良三	栃木	玉木靜治	石川
住井信二	三重	玉田八朗	岐阜
鈴木圭市	静岡	高木俊雄	神奈川
鈴木敏夫	宮城	高原武雄	神奈川
杉山忠夫	静岡	田中泰司	神奈川

手塚豊	山梨	和田信興	京都	矢島正禮	島根	米田誠一	東京
都丸尊司	群馬	藁谷實	神奈川	山田彰三	東京	吉岡小三郎	神奈川
辻守	東京	渡邊正典	福岡	山田時美	埼玉	湯本卓	神奈川
内田正作	岩手	八木田三穂	熊本	山形祥治	福井		
上田琢郎	北海道	矢作松雄	神奈川	山本春代	三重		

本科第十一回（昭和十二年三月　百六十三名）

阿部孝雄	山口	遠藤正文	茨城	藤田商人	愛媛	今井新一郎	栃木
赤石亮二	群馬	遠藤俊彦	岩手	藤田班爾	神奈川	稲野佐一郎	新潟
阿南準祐	大分	郷敏榮	北海道	藤原實	山梨	井上醇之助	神奈川
青野正男	愛媛	萩原勝	茨城	福井義博	鳥取	井上隆三	静岡
荒一郎	福島	長谷川清兵衛	北海道	古本秀男	東京	伊澤正平	宮城
荒牧孝次郎	群馬	林利雄	福井	二見重夫	神奈川	石上實	東京
有泉嘉藏	神奈川	林陽一	山口	出田彦吉	熊本	石川榮一	栃木
麻生武	茨城	肥田茂藏	静岡	五十嵐理晴	福島	石瀧正人	長崎
粟野原基之	長野	平井弘三	神奈川	飯田康弘	熊本	板垣次秋	静岡
坂内多喜夫	福島	藤平作	静岡	飯尾幸太郎	神奈川	伊藤良平	静岡
土肥辰巳	廣島	藤咲俊一	茨城	生駒博信	神奈川	糸林寛行	徳島
枝芽	石川	藤澤勉	静岡	今井千藏	山梨	岩崎鶴雄	神奈川

岩田俊郎	神奈川	久米高保	三重	中林壽夫	東京	榊原英司	神奈川
和泉勝也	東京	藏納一郎	静岡	中原元次郎	神奈川	佐久間晃	福島
梶原守弘	神奈川	栗原鐘一	神奈川	中里行夫	茨城	佐藤博	神奈川
亀井正幸	神奈川	楠本豊四郎	神奈川	西方辰夫	神奈川	佐藤一雄	神奈川
金指壽	静岡	蒔田宗雄	三重	西野周一	東京	佐藤邦人	栃木
金子賢一	東京	松木重一郎	長野	野木三郎	東京	佐藤正平	山梨
鹿子澤一雄	東京	松本丘	群馬	沼上昇	神奈川	佐藤種男	千葉
加藤正治	神奈川	松本敷康	栃木	大古寛二	神奈川	關谷孝	栃木
加藤忠雄	神奈川	松村昌壽	熊本	大石萬壽男	静岡	執行宏	佐賀
河部建夫	熊本	松岡一夫	新潟	岡讓二	東京	椎原正男	神奈川
河井三郎	大分	松山忠平	新潟	奥山三郎	神奈川	島田一一	香川
河田英二	山口	三國三郎	秋田	大西康治	東京	島本良平	和歌山
木谷洋左右	福井	宮澤重義	千葉	大貫保雄	東京	清水源造	東京
木村正次	東京	溝口正巳	長崎	大沼正嵩	福島	篠原孝	東京
清田博	神奈川	森英旭	神奈川	大田黒龍郎	熊本	白木龍治	福井
小林眞治	群馬	守屋茂夫	北海道	齋藤宇吉	新潟	須藤悌次郎	新潟
古賀博	福岡	牟田口雄次	佐賀	榮三郎	山口	杉本幸比古	静岡
近藤正雄	静岡	武藤一郎	香川	阪口一郎	滋賀	杉浦慶一	静岡
河野文男	廣島	内藤威	新潟	酒井福太郎	愛媛	杉山輝	静岡

澄田惣造	島根	玉置誠	千葉
鈴木啓一	東京	田村美雄	廣島
鈴木健太郎	静岡	田中榮	福岡
鈴木末好	東京	田中友治	石川
立原正典	新潟	田崎正男	茨城
高橋昌藏	静岡	富森靖五	兵庫
高橋宗太郎	宮城	戸村金三郎	東京
高志嘉一	德島	土山二郎	石川
高田喜德	熊本	津谷彰一	東京
武澤富士太郎	新潟	植木進	東京
天野正男	千葉	熊田嘉作	千葉
安西良治	東京	坂内憲助	福島
青葉肇	静岡	深澤重造	山梨
青木貞夫	神奈川	深海光山	東京
荒井房之助	茨城	合田正巳	高知
荒波榮一	神奈川	鄉古一祥	宮城
芦澤節正	山梨	萩原正	山梨

本科第十二回

（昭和十三年三月　百五十七名）

上野達生	大分	山本三郎	愛知
上野豐	神奈川	山本達三	東京
宇理須竜三	岐阜	山中茂一	高知
宇都木貞雄	茨城	山下茂男	福岡
渡邊宏	千葉	山下太郎	千葉
渡邊祿郎	北海道	保田文次	東京
山田冨美雄	千葉	吉田百合雄	三重
山口信治	神奈川	吉岡勝暉	熊本
山川茂孝	石川	湯淺芳郎	群馬
山元啓次	鹿兒島		
濱良一	長野	平岡敬一郎	埼玉
濱村明	埼玉	穗苅熾次	神奈川
濱崎忠治	廣島	本庄勇司	秋田
原田（忠一改）勤治	熊本	畑江善巳	神奈川
長谷川（吉田改）晟藏	千葉	星野正	山形
橋本華	福岡	星野美章	群馬
東正朗	廣島	細西良平	熊本

保谷秀雄	神奈川	桐谷誠	千葉
福富秀雄	栃木	北代幸彦	東京
飯島茂	新潟	橋川遠郎	東京
飯沼淳	神奈川	小林久春	神奈川
池田博山	形	小林尉次	佐賀
池田進	静岡	小林德次郎	埼玉
井上幸雄	東京	兒玉博	新潟
石橋康作	新潟	小池正明	神奈川
石井知	和歌山	小島正巳	東京
磯崎稔	神奈川	小澤正雄	茨城
岩崎禮太郎	静岡	久我正	栃木
岩田辰治	東京	國末武	岡山
神保隆二	東京	前田（鵬京都）	
加古信次郎	福島	前田（暢熊本）	
加藤益三	静岡	丸杉篤三	静岡
川原忠司	新潟	益子昌祐	茨城
河路平治	神奈川	増田孝吉	栃木
川野英一	茨城	松本壽雄	埼玉
河野吉秀	高知	松永龜吉	静岡
松岡重信	神奈川	南條昌二	東京
松澤一郎	大阪	慢市誠三	青森
美濃谷謙二	新潟	賣川節夫	静岡
三谷武	神奈川	二宮章	神奈川
宮本忠夫	神奈川	西尾好武	神奈川
最上次郎	秋田	新田耕治	岩手
一郎	東京	岡本圭二郎	東京
森田象三郎	群馬	沖文次	廣島
師岡一雄	神奈川	奥山忠助	山形
永原（古閑改）正澄	静岡	大松仁德	鳥
長野（古閑改）榮二郎	山梨	大野喜平	栃木
永納正義	神奈川	大屋正南	東京
中島進	東京	大矢正久	神奈川
中村七郎	埼玉	及部豐	愛知
中田辰良	大阪	小澤和馬	群馬
中山朝次郎	東京	齋藤政夫	神奈川
中山健次	東京	佐藤剛一	岩手
中崎庫三	東京	佐藤實	秋田
豊木三十郎	東京	澁木啓一	福島

重松三郎　佐賀　鈴木重義　東京　土屋淳次　東京　山岸文一　靜岡
島田八郎　富山　鈴木常夫　長野　辻政次郎　靜岡　山岸良平　新潟
島田資雄　神奈川　高堂修二　秋田　津倉重藏　靜岡　山本弘　愛知
新城重男　靜岡　高梨政司　神奈川　內田幸平　神奈川　山本貞夫　香川
篠田幸夫　神奈川　高山熊雄　東京　植田正雄　兵庫　山本進　靜岡
白石朝雄　福岡　武山三郎　宮城　牛山吉秋　長野　山崎政吉　東京
白川逸　福井　田中五郎　千葉　宇多田二郎　山口　山崎三吉　大分
菅原章　東京　多勢善次　山形　若菜文夫　栃木　柳瀨孝夫　東京
杉本榮一　栃木　寺本仁一郎　滋賀　鷲澤貞吾　東京　吉田吉三郎　山形
鈴木芳作　群馬　寺尾繁　靜岡　渡邊晴保　東京　吉田義信　神奈川
鈴木勳　東京　手塚泰輔　神奈川　渡邊弘雄　福島　吉光市郎　神奈川
鈴木謙　千葉　外山登美男　東京　渡邊正男　東京
鈴木實　樺太　坪崎博　神奈川　渡會清　靜岡
鈴木三郎　東京　坪田信　滋賀　矢島敏郎　神奈川

本科第十三回（昭和十四年三月　百五十八名）

安部一　廣島　相場元次　栃木　青木修三　神奈川　荒木賢治郎　福井
阿部輝一　東京　天野廣　宮城　青木威二　栃木　荒木次郎　群馬
阿部義高　宮城　青木貞夫　東京　荒井滋　東京　朝井喜夫　山形

出合資文　神奈川　星一郎　福島　加藤欣司　神奈川　三瓶芳郎　東京
海老根源一　千葉　細小路龍男　栃木　加藤三男　長野　深山一郎　新潟
穎川一隆　東京　細野福治　東京　川村清　靜岡　宮本海　靜岡
惠良赳夫　大分　舟津鐵也　兵庫　川崎太平　千葉　宮坂義一（合改）　神奈川
權田恒造　東京　藤田萬佐次　千葉　川田谷五郎　東京　三由利男　神奈川
花井孝雄　神奈川　池田亀雄　神奈川　木村正俊　栃木　百瀨孝治　山梨
羽仁謙三　山口　池田豐　神奈川　木村增三　東京　森源三　岡山
埴原健一　北海道　井上敬三　大阪　木南昌之　埼玉　森川保久　神奈川
原辰次　佐賀　石橋喜一　新潟　岸一之　埼玉　森本美也　三重
原田幸四郎　山形　石井英一　神奈川　北川英二　和歌山　森山金吾　福岡
原田種美　福岡　石山榮藏　秋田　北原晴正　長野　永井秀也　神奈川
長谷六郎　兵庫　伊藤一郎　岐阜　小林頼男　群馬　長島一郎　神奈川
長谷井輝夫　東京　伊藤孝一　愛知　古賀勝正　長崎　中川國夫　廣島
樋口廣一　東京　岩本治郎　神奈川　鯉淵馨　茨城　中森茂樹　福井
樋口次郎　東京　岩崎淳吉　高知　黑住奠一　岡山　中村隆男　岐阜
廣野民平　宮城　泉正男　長野　桑原福次　東京　南里敏郎　佐賀
堀愛生　千葉　神永長治　神奈川　松田光生　熊本　西堀正弘　滋賀
堀口義三　岩手　片山宜二　愛知　松川勇　熊本　西野一浦　神奈川
堀內齡三　熊本　片柳梁太郎　東京　松永代五郎　新潟　西野重雄　東京

西尾雄治	静岡	關原一夫	富山	瀧野弘次	茨城	矢田次郎	三重
西岡憲治	三重	清水政三	福島	田中一穗	岡山	八木康雄	福井
西島常祐	福井	白井通男	東京	田中國夫	東京	柳下一男	神奈川
丹羽哲夫	神奈川	菅澤幸年	茨城	田中吉紀	東京	山田進	東京
大庭公一	神奈川	菅原厚	宮城	丹下政夫	埼玉	山田常藏	神奈川
大垣國司	栃木	菅原廣秋	秋田	谷井二郎	東京	山本辰男	神奈川
大垣康生	栃木	杉原直門	廣島	寺道市郎	神奈川	山崎榮藏	高知
大栗正作	栃木	住原智郎	栃木	千葉青保	東京	山崎秀男	東京
大平義正	新潟	諏訪良介	北海道	鳥飼一郎	東京	吉田長治	福井
大村信夫	静岡	須山亘	東京	塚村敏政	岡山	吉川寛	東京
小野武	新潟	鈴木英男	東京	土屋宣義	長野	吉川正夫	山形
太田一雄	愛知	高橋輝夫	神奈川	辻直介	栃木	吉岡信也	大阪
齋藤喜美蔵	山形	高橋俊雄	高知	丁野治義	高知	吉澤惟夫	東京
佐野勘一	静岡	高倉寛	長野	上野軍三	神奈川		
佐藤丈夫	神奈川	竹田忠好	東京	牛尾武	神奈川		
佐藤民治	秋田	竹村市郎	高知	脇千太郎	京都		
佐藤嘉邦	廣島	竹内直	長野	渡邊繁吉	山梨		
佐治正三	東京	瀧日二郎	東京	渡邊卓三	静岡		
關口倫正	長野			渡邊康次	埼玉		

貿易別科第一回（昭和五年三月　三十四名）

平沼金一郎	東京	兒玉賢雄	新潟	尾崎一雄	新潟	清水嘉市	山梨
福本吉衆	福岡	古賀喜與一	佐賀	佐田恒太	山口	庄野巖美	大阪
池田卓司（正昌改）	静岡	牧野秀雄（谷野改）	福井	齊藤豊幸	東京	鈴木義治	千葉
伊藤嘉伸	千葉	松本一	廣島	坂口三郎	和歌山	多田好雄	德島
糸賀美喜男	茨城	水野孝次	岐阜	佐藤二三	山梨	山本光雄	山梨
片山昌惠	大阪	森晋平	福岡	關本一雄	新潟	山内映	愛知
加藤友明	愛媛	中村嘉郎	福岡	瀨尾壽	茨城	湯川節義	鳥取
木村美知三郎	福岡	西岡勳	和歌山	世戸原茂	廣島		
小林裕太	栃木	恩田忠行	廣島	柴谷一雄	兵庫		

貿易別科第二回（和昭六年三月　十九人）

相澤照	神奈川	橋本旭	神奈川	稻川良男	北海道	末藤一百	岡山
淺田光	長崎	橋本武夫	大阪	石井滋孝	千葉	田村惟緒	山口
海老名正治	青森	本由福一	静岡	岩崎巖	兵庫	塚平榮	長野
江橋清	茨城	井手倪雄	長崎	小泉誠助	神奈川	山崎道男	茨城
牛田敦	靜岡	今關多計男	千葉	楠田修創	奈良		

貿易別科第三回（昭和七年三月　二十二名）

朝近正人	山口	三宅亀夫	北海道	岡崎祇郎（悦三改）	東京
淺香英次郎	東京	瀧口禮造	廣島	小澤壽潤	山梨
遠藤朝雄	靜岡	中川榮	福井	佐藤幾久雄	山梨
塩谷龍藏	岐阜	並木昌義	神奈川	關野博	神奈川
平澤四郎	新潟	苗加嘉一郎	神奈川	白井勇	愛知
川俣正示	栃木	大蘆文治	島根	鈴木俊一	愛知
瀧口頼賢	靜岡				
天明嘉一	東京				
上島文男	長野				
上原了	福岡				

貿易別科第四回（昭和八年三月　二十七名）

相澤治平	栃木	木村吉郎	東京	齋木嘉次郎	京京
原崎喜二郎	靜岡	河端丈夫	新潟	齋藤悅朗	靜岡
平石匡	三重	金孝吉	北海道	櫻井增太郎	神奈川
石田豊	愛知	中目馨	千葉	情野武平	山形
岩崎和吉	靜岡	中尾忠	兵庫	篠田文吉	愛知
笠井健吉	山梨	西田保	東京	須田良三	栃木
川島秀三	靜岡	小川正三	栃木	杉谷俊	熊本
須藤悌次郎	新潟				
高田弘	東京				
武地敬二	福島				
田中正三	北海道				
田中芳雄	東京				
八木田三穂	熊本				

貿易別科第五回（昭和九年三月　三十一名）

蓮見光裕	東京	小濱正助	岩手	佐伯外美雄（坂野改）	石川
畠貞藏	岩手	駒井滿	東京	櫻井虎之進	島根
伊藤一人	福島	近藤泰	新潟	關谷孝	栃木
加藤衛	神奈川	黑須久次	埼玉	志波正彦	長崎
河添清	山口	町井好夫	三重	壚崎進平	神奈川
川田早苗	埼玉	松岡龍雄	山口	菅川仁	岩手
北川成一	東京	宮崎武	兵庫	杉山長三	神奈川
小畑喜伸	福島	齋藤定利	鹿兒島	富田好藏	滋賀
藤内壽夫	山梨				
常松卓	福島				
堤正二郎	大分				
渡邊作良	東京				
矢島敏郎	神奈川				
柳川琢治	神奈川				
横田清	神奈川				

貿易別科第六回（昭和十年三月　三十名）

阿部三郎	群馬	木下守藏	福井	岡本典三	埼玉
荒井正彦	東京	小林高二	長野	大野喜平	栃本
萩谷良郎	茨城	蜂岸三郎	埼玉	佐藤貞辰	靜岡
花井正儀	神奈川	茂木眞	山形	佐藤隆信	岩手
細野正夫	神奈川	永富惠	福岡	佐塚義雄	靜岡
福原武德	熊本	中川文義	新潟	澤邊五郎	大阪
井上銅太郎	靜岡	新倉鋺男	神奈川	島田治夫	東京
河合裕助	東京	野村秀夫	東京	清水善止	大分
豊島光夫	三重				
千葉次雄	岩手				
堤賢助	北海道				
山田正	兵庫				
山下伍郎	兵庫				
柳瀨孝夫	東京				

貿易別科第七回（昭和十一年三月　二十八名）

花井孝雄	高知	何原博	長野	内藤功	山梨	佐藤眞太郎	群馬
林田喜代人	福岡	金森清司	岐阜	二瓶猛	神奈川	瀬田正七郎	岩手
福田彦三郎	栃木	笠原晴夫	新潟	野澤拓郎	神奈川	鈴木正男	栃木
古館秀元	岩手	菊地修一	宮城	小川幾一郎	静岡	谷岡活水	高知
今關正美	千葉	北田巳四	千葉	太田盛明	京都	内田九二八	神奈川
稲葉誠一	東京	久保寺賢治	神奈川	尾澤豊英	東京	和氣英男	栃木
石井健	山梨	三澤武雄	福井	三枝慎	東京	額高哲夫	栃木
安孫子三郎	北海道	滝田耕三	埼玉	増田朝太郎	静岡	大谷久義	東京
萩野益司	静岡	井上義一	神奈川	三橋章	神奈川	小澤隆	東京
橋本新平	東京	皆瀬啓介	長野	長濱善彌	群馬	齋藤龍民	神奈川
林恭忠	東京	鎌田達夫	神奈川	内藤良一	神奈川	阪梨滋	熊本
檜前大伍	熊本	川口鎭雄	東京	中司弘二	山口	澤村正男	三重
藤田義穉	東京	小泉博	神奈川	沼本重雄	東京	島元義枝	宮崎
市川利通	長野	栗林義麿	長野	岡本三郎	神奈川	下川幹夫	神奈川
五十嵐七郎	神奈川	前島登	愛知	奥山善次郎	山形	山和春	静岡

貿易別科第八回（昭和十二年三月　四十名）

鈴木正治	神奈川	田邊節夫	東京	内海清	東京	渡邊行雄	山梨
武井俊次	東京	上田征夫	兵庫	渡邊安二郎	神奈川	山形義悦	宮城
赤木好郎	廣島	亀井恒彦	長野	並木直之	東京	田中新吾	茨城
天利廣	神奈川	加藤正八	東京	西島慶次	群馬	藤堂宏	東京
荒牧英夫	佐賀	柯原一男	宮崎	小幡彰	長野	鳥飼正太郎	東京
馬場締三	静岡	北村茂	神奈川	小美野金重	東京	土屋利次	神奈川
林良助	神奈川	小池學	愛知	清水定雄	愛知	綱島照	群馬
樋上正雄	滋賀	増山正市	静岡	須賀祥介	東京	梅山仁三郎	群馬
堀江四郎	神奈川	松永壽郎	北海道	杉山秋司	静岡	若林忠太郎	神奈川
五十嵐榮治	山形	皆川正	神奈川	鈴木正通	神奈川	横溝邦典	熊本
稲垣恭司	東京	宮下英夫	群馬	高橋光男	宮城	横山隆實	長崎
直原澄衛	静岡	守富惣一郎	秋田	高倉洋一	茨城	吉田武彦	岐阜
槻川金一郎	神奈川	永田哲夫	廣島	佐吉	北海道		
柿沼義次	神奈川	中田一郎	東京	瀧田光矩	栃木		

貿易別科第九回（昭和十三年三月　四十六名）

貿易別科第十回（昭和十四年三月　四十六名）

阿部輝夫	愛媛	加藤朋納	德島
赤羽廣治	長野	勝見光雄	福井
天笠良雄	栃木	川田英	神奈川
林義一	千葉	風間一郎次	東京
福井重利	兵庫	梶井信彦	群馬
井口俊朗	東京	木村晃三	大阪
石橋善一郎	北海道	小出治郎	愛知
石井勉	新潟	喬雄	静岡
石崎一郎	神奈川	狐塚行雄	栃木
神原武夫	東京	栗原精一	茨城
上川内洋六	神奈川	黒塚安彦	神奈川
神谷秀雄	愛知	車忠裕	石川
松平昌夫	愛知	關谷通夫	神奈川
松本義德	東京	篠澤茂雄	長野
眞山眞	宮城	鈴木一郎	神奈川
中川齊	廣島	鈴木三郎	神奈川
二瓶和夫	群馬	棚橋武男	群馬
小田芳德	新潟	豊田隆二	三重
小倉行基	千葉	津田孝太郎	熊本
池達夫	東京	山田啓	栃木
大宮直治	長野	矢島新太郎	長野
酒井久隆	静岡	湯田孫平	福島
坂本邦家	宮城		
坂田良助	神奈川		

○統計表

一、生徒出身學校別　×印聽講生　昭和十四年七月一日現在

府縣別	學校名	貿易別科 三學年	貿易別科 二學年	貿易別科 一學年	貿易別科
樺太	眞岡中		一		
	小樽中			一	
北海道	小樽市中		一		
	岩見澤中	一	一		
	札幌一中		一		
	室蘭中		一		
	函館中	二			
	函館商	一			
	小樽商	一			
	室蘭商	一			
青森	八戸中				一
岩手	一關中			一	
	花卷中		一		
	盛岡中	一			
	盛岡商	一	三		
	水澤商	一			
宮城	仙臺一中	二			
	石卷中	二		一	
	石卷商	二	一		
	仙臺商	一			一

秋田		山形							福島				
秋田中	大館中	新庄中	鶴岡中	米澤興讓館中	山形中	酒田中	酒田商	山形商	福島中	會津中	保原中	祭城中	相馬中
一	一		一				一	一		一		一	
四		一			三	一		一			一	一	一
一				一					一				

福島	茨城								栃木	
安達中	安積中	若松商	平商	龍ヶ崎中	土浦中	日立中	水戸中	水戸商	古河商	潟商	栃木中	大田原中	宇都宮中
一											一		三
	一		一		一		一	三			一		三
		一			一		一	一	二		一		四
	一					一	一				二	一	一

栃木	群馬						埼玉				
宇都宮商	富岡中	館林中	前橋中	高崎中	高崎商	前橋商	浦和中	川越中	本庄中	松山中	埼玉商
二	二	一	二	一	一					一	
一	一		一	二	二	一		一	一		
一					一		一			一	一
					一						

千葉						東京								
木更津中	千葉中	安房中	長生中	匝瑳中	佐倉中	東京府一中	東京府二中	東京府三中	東京府四中	東京府五中	東京府六中	東京府七中	東京府八中	
二	一	一	一			二	一	一			二	一		三
	二		一		一	一		五		一	二		二	三
	二			二	一	二		一			一	一	四	四
								一			一			一

東京

東京府九中	東京市一中	東京市二中	上野中	攻玉社中	日本中	青山學院中	明治學院中	東京開成中	海城中	成城中	京北中	高輪中	芝中
				一			一	二			一		
一	二	三			一			二	一			一	
	一	三	一	一		二		四		一			二
	一						二				一		

東京

東京高師附屬中	東京中	正則中	早稻田中	麻布中	明星中	明治中	東京府一商	東京府二商	京京府三商	京橋商	京華商	巢鴨商	高輪商
	一	一		一			六	一	二				一
一		一	二	一		一	六	一	一	三	一	一	
一		一	二		一		七		二	四		一	一
										一	一	一	

東京

目白商	東洋商	中央商	安田商	早稻田實	大倉高商中	横濱一中	横濱二中	横濱三中	小田原中	川崎中	湘南中	横須賀中	鎌倉中
			二		一	一〇	五	三		一	三	二	
						六	二	四	一	三	四	三	
一	一	一	二	二		一一	二	二		二	一	三	
						四	一			一		一	一

神奈川

逗子開成中	淺野綜合中	關東學院中	商工實習	橫濱商	橫須賀商	橫濱專修商	高田中	新潟中	新發田中	新發田商	新潟商	長岡商	柏崎商
		一		五	二	一		二	一				
二	一		一	三		二	一	一	一			一	
	四	四	五	三	二	二						一	一
		一	四	二									

滋賀	三重		愛知							静岡				
八幡商	宇治山田商	津中	岡崎市商	愛知商	享榮商	東海中	豊橋二中	豊橋中	熱田中	濱松二商	濱松商	清水商	興誠商	
	一						一	一		一		二		
一		三									一	一	一	
								二	一					
			一	一	一	一								

兵庫	大阪							京都						
神戸一中	天王寺商	成器商	市岡商	大倉商	日本大學大阪中	住吉中	八尾中	立命館商	京都市二商	京都市一商	京都府三中	京都府一中	舞鶴中	
	一	一				一		一	一	三				
一	二		一	一			一		一	二				
一				一							一	一	一	
					一									

長野						山梨		福井		石川	富山	
須坂商	諏訪中	長野中	飯山中	野澤中	上田中	都留中	韮崎中	福井商	武生中	金澤商	七尾中	滑川商	神通中
一	一	一			一								
		一		一	一			一	一	一	一	一	一
	一		一	一	二		一	一					
					一	一							

静岡								岐阜		長野		
沼津商	靜岡商	靜岡中	清水中	榛原中	沼津中	志太中	濱松一中	大垣商	岐阜商	岐阜中	伊北農商	松本商	小諸商
三	三	五		一	一	一	一		一				一
二	五	三								一			一
一	二	一					一	一					
		一	一		一					一	一	一	

岡山				鳥取				和歌山	兵庫			
岡山一商	倉敷商	津山商	岡山一中	米子商靈	鳥取商	鳥取二中	鳥取一中	倉吉中	伊部中	洲本中	尼崎中	姫路中	神戸二中
			一						一		一		
	一	一						一				一	一
一			一	一	一	一	一	二				二	一
			一							一			

愛媛			香川		山口				廣島				岡山
宇和島商	松山商	松山中	高松商	高松中	下關商	岩國中	豐浦中	山口中	廣島商	廣島一中	吳二中	吳一中	岡山二商
												一	
			二	一			一				一		
一	一	一			二	一		一	一				一
										一			

大分	熊本				長崎		福岡					高知	
佐伯中	熊本商	熊本中	鹿本中	中學濟々黌	島原中	佐世保中	小倉商	福岡商	福岡中	糸島中	若松中	高知商	高知城東中
	三	二		一				一		一			一
	四	一	一		一	一			一		一	一	
一	二	一	一				一	一				一	
	一												

計							タイ國	上海	關東州	朝鮮				宮崎
							テプシリン學校	日本商	大連一中	新義州商	鎭南浦商	釜山中	平壤中	延岡商
一六四												一	一	
一八八									一		一	一		
一七六							×一	一	一	一				一
五一														

二 生徒年齢統計表

昭和十四年四月現在調

學年	第一學年	第二學年	第三學年	貿易別科
最高年齢	二〇年十ヶ月	二二年一ヶ月	二二年二ヶ月	二〇年四ヶ月
最低年齢	一六年五ヶ月	一八年一ヶ月	一九年一ヶ月	一七年一ヶ月
平均年齢	一七年九ヶ月	一九年五ヶ月	二〇年強	一八年一ヶ月

三 生徒身體檢査統計表

（本科）

昭和十四年度五月現在調

年齢	十八歳	十九歳	二十歳	二十一歳	二十二歳	二十三歳	二十四歳	二十五歳	計
身長 總長	四五〇九、〇	一八一九、五	二九八二六、八	二三二九、一	八一八三、一	五一〇八、四	一六八、二	一六四、二	八五四六九、三
身長 平均	一六一、〇	一六三、九	一六四、八	一六六、六	一六五、七	一六三、六	一六八、三	一六四、三	一六四、七
體量 總量	一四六二、九	六〇五六、五	一〇〇五六、二	七二五六、六	二七二七五、八	一〇八六、三	五四、四	二八七四四、三	
體量 平均	五二、三	五四、四	五五、五	五六、五	五五、五	五七、二	五四、四	五五、六	五五、四
胸圍 總長	三九〇 四	九二三〇、五	一五二五、七	一〇九六、三	四二七七、一	一六三二、〇	八八、六	八六、〇	四三六八六、六

圍	平均	八一、八	八三、二	八三、五	八五、七	八五、五	八五、九	八八、六	八六、〇	八四、二
坐高	總長	二四七〇、六	九九八一、一	一六三四六、七	一一六一、三	四四九三、九	一七〇七、一	八八、六	九〇、四	四六七九三、七
坐高	平均	八八、二	八九、九	九〇、三	九〇、七	八九、九	八九、八	八八、六	九〇、四	九〇、二
營養	要注意者		三	一一	六	二				三三
背	正	二七	一一一	一七九	一三六	四六	一九	一	一	五〇九
背	異常アル者	一	二	二	二	三	一	一	一	九
柱	カリエス				一	一			一	二
脊柱彎曲	異常アル者	一	三	三	三	一				八
弱視（兩眼）										
屈折異常	近視	一四	六七	一〇五	七二	三七	八			二
屈折異常	遠視									
屈折異常	亂視	六	六	五	三					
眼疾	トラホーム	一	八	六	二					一七
眼疾	其ノ他									二

聽力障碍アル者	耳中耳炎	耳其ノ他疾患	鼻及咽頭 鼻疾患	鼻蓄膿症	咽喉扁桃腺肥大	咽喉腺様増殖症	皮膚 傳染性皮膚病	皮膚其ノ他ノ皮膚病	齒牙 齲齒アル者	齒牙其ノ他ノ齒疾患	其ノ他ノ 結核性疾患	其ノ他ノ 腺病	其ノ他ノ 肋膜炎
									四八(一四)			一	
					七			一	二〇三(七三)		一		
四		二	一	一	一三		一		四五五(一八二)				
二	一			三	一九	一			一九九(九六)				
			二		六				五八(三六)	三(一)			
			一	二									
八	三	三	四	四	七四	一	一	一	一三五(六七)		一	一	一

他ノ疾病及異常 心臟疾患	貧血	脚氣	脫腸	神經衰弱	言語障碍	精神障碍	骨	關節ノ異常	四肢運動障碍	概評 要養護者	檢査人員	備考
										二	二六	外國人聽講生一名ヲ除ク
	一							一		三	一二一	
											一八一	
								一		一	一二八	
											五〇	
										一	一九	
										、	一	
一								二		五	一二九	

（貿易別科）

年齢	身長 總長	身長 平均	體重 總量	體重 平均	胸圍 總長	胸圍 平均	坐高 總長	坐高 平均	營養要注意者	背柱 正	背柱 異常アル者	背柱 カリエス
十八歳	八一三、四	一六二、七	二七五、〇	五五、〇	四一五、五	八三、一	四四一、七	八八、三		四	一	
十九歳	四二五三、六	一六三、六	一三六〇、〇	五二、三	二一四二、五	八二、四	二三一六、九	八九、一		二六		
二十歳	二八二一、六	一六五、九	八九六、一	五二、七	一三九一、〇	八二、〇	一五四二、一	九〇、七	一	一七		
二十一歳	四八七、四	一六二、五	一七〇、〇	五六、七	二六一、五	八七、一	二六八、二	八九、四		三		
計	八三七六、〇	一六四、二	二七〇一、一	五三、〇	四二一〇、五	八二、六	四五六八、九	八九、六	一	五〇	一	

年齢	胸廓異常アル者	弱視（兩眼）	屈折異常 近視	屈折異常 遠視	屈折異常 亂視	眼疾 トラホーム	眼疾 其ノ他	聽力障碍アル者	耳疾	鼻及咽頭	皮膚 傳染性皮膚病	皮膚 其ノ他ノ皮膚病	齒牙 齲齒アル者	齒牙 其ノ他ノ齒疾
十八歳														
十九歳			一六											
二十歳			八											
二十一歳			一											
計			二五											

其ノ備ノ疾病及異常							
概評	要養護者						
檢査人員		五	二八	一七	三	五一	
備考							

四 本科生徒數

昭和十四年七月一日現在

第一學年	第二學年	第三學年	計
一七六 ×一	一八八	一六四	五二八 ×一

備考 ×印聽講生

五 本科入學志願者並入學者累年比較表

募集年次 ＼ 種別	入學志願者 中學	入學志願者 商業	入學志願者 計	入學者 中學	入學者 商業	入學者 計
大正十三年度	七三八	二九〇	一、〇二八	八四	五〇	一三四
大正十四年度	七四九	三九四	一、一四三	一〇二	五二	一五四
大正十五年度	六一一	三三六	九四七	九四	五七	一五一
昭和二年度	七二三	二九七	一、〇二〇	一〇七	七〇	一七七
昭和三年度	七〇三	三四五	一、〇四八	八六	五九	一四五
昭和四年度	九二五	三四八	一、二七三	八三	六二	一四五
昭和五年度	七七五	二七三	一、〇四八	一〇九	五〇	一五九
昭和六年度	七〇八	二二三	九三一	九六	五四	一五〇
昭和七年度	七九三	二二七	一、〇二〇	一〇四	五四	一五八
昭和八年度	九〇一	二七八	一、一七九	一〇一	五一	一五二
昭和九年度	八八一	二五五	一、一三六	一一六	四九	一六五
昭和十年度	九五九	二九三	一、二五二	一二六	五〇	一七六
昭和十一年度	一、〇八三	三六一	一、四四四	九八	五五	一五三
昭和十二年度	八七四	三八二	一、二五六	一一〇	六〇	一七〇
昭和十三年度	九二一	四五九	一、三八〇	一一三	六六	一七九
昭和十四年度	八二三	四八六	一、三〇九	一〇〇	六七	一六七

六、本科生徒原籍調

（×印聽講生）　昭和十四年七月一日現在

原籍	生徒數	原籍	生徒數	原籍	生徒數	原籍	生徒數
北海道	一一	東京	八二	滋賀	一	高知	五
青森	一	神奈川	八一	京都	一〇	福岡	八
岩手	九	新潟	一三	大阪	六	佐賀	六
宮城	一二	富山	三	兵庫	八	長崎	三
秋田	一〇	石川	三	和歌山	三	熊本	一六
山形	一〇	福井	五	鳥取	九	大分	三
福島	八	山梨	七	岡山	八	宮崎	一
茨城	一七	長野	二一	廣島	六	鹿兒島	二
栃木	二二	岐阜	三	山口	八	朝鮮	一
群馬	一六	靜岡	四二	德島	二	ﾀｲ國	×一
埼玉	一〇	愛知	五	香川	二		
千葉	一八	三重	七	愛媛	四	計	五二八×一

七　貿易別科生徒數

昭和十四年七月一日現在

計	五一

八　貿易別科入學志願者並入學者累年比較表

募集年次	種別	入學志願者			入學者		
		中學	商業	計	中學	商業	計
昭和四年度		二〇五	三五	二四〇	三五	四	三九
昭和五年度		七二	二六	九八	二九	一一	四〇
昭和六年度		三七	六	四三	二二	五	二七
昭和七年度		三四	七	四一	二三	五	二八
昭和八年度		五〇	七	五七	二九	四	三三
昭和九年度		八三	一四	九七	二九	六	三五
昭和十年度		一一九	一三	一三二	二九	一	三〇
昭和十一年度		一五〇	二五	一七五	三三	七	四〇
昭和十二年度		一六四	五〇	二一四	三三	一八	五一

昭和十三年度	八四	三三	一一七	四九
昭和十四年度	八〇	三七	一一七	五一

九 貿易科生徒原籍調

昭和十四年七月一日現在

原籍	生徒數	原籍	生徒數	原籍	生徒數	原籍	生徒數
青森	一	群馬	一	岐阜	一	島根	一
宮城	二	東京	七	靜岡	四	岡山	一
山形	一	神奈川	一一	愛知	二	佐賀	一
福島	二	石川	—	滋賀	一	熊本	一
茨城	二	山梨	一	京都	一		
栃木	三	長野	三	兵庫	三	計	五一

昭和十四年七月現在

一〇 土地及建物表

(一) 土地表

敷地	坪數	所在
學校	一四、五一四	横濱市中區清水ケ丘
寄宿舍	一、四四八	同所
生徒監官舍	二六五	同所
傭外國人數師官舍	一二七五	同所
傭外國人教師官舍	二四八	同所
合計	一六、六〇二	市磯子區磯子町字間坂

(二) 建物表

名稱	構造	棟數	坪數	價格
本館教室及事務室	鐵筋コンクリート三階建	一	一、八三一	四二九、三八四
生徒寄宿舍	木造平家建	一	九六	一一、七七二
生徒集會所	同	一	六六	一〇、四〇〇
宿直室小使室	同	一	二四	三、七一四

門衛所	同	一	八〇〇	一、六九六、一六〇
供待所	同	一	一五〇〇	二、六二〇、〇〇〇
雨天体操場	鐵骨木造平家建	一	一二六〇〇	三二、一六三、一三〇
柔劍道場	木造平家建	一	九六〇〇	一二、八四四、五六〇
弓道場	木造亞鉛葺平家建	一	一五七五〇	五一〇、〇〇〇
生徒脫衣室	木造平家建	二	二七〇〇	五三〇、〇〇〇
銃器室	同	一	二八〇〇	二、九五九、四四〇
藥品庫	鐵筋コンクリート平家建	二	五〇〇	一、八四三、一八〇
物置	木造平家建	三	七九〇〇	五、九四九、七二〇
倉庫	同	一	四五〇〇	六、〇二五、四五〇
貿易別科倉庫	同	一	一〇〇〇	七九七、〇〇〇
暖房機關室	鐵筋コンクリート平家建	一	二八〇〇	六、九九〇、〇〇〇
塵芥燒却爐上屋	木造平家建	一	三〇〇	二五一、六九〇
消防器具置場	同	一	三〇〇	三六八、五三〇

便所	同	三	二八〇〇	六、四三二、九七〇
渡廊下	同	一	二七〇〇	二、九五七、六八〇
寄宿舍	本舍 木造二階建	二	二七六〇〇	三七、三四〇、〇〇〇
	舍監室及小使室 同	一	二五〇〇	六、五一五、〇〇〇
	食堂賄所及浴室 木造平家建	一	一二〇〇〇	一六、八九〇、〇〇〇
	病室 同	一	一五〇〇	二、八〇〇、〇〇〇
	機關室 同	一	五五〇〇	六五五、〇〇〇
	便所 同	三	一五五〇〇	三、六二七、四三〇
	物置 同	一	一八〇〇	二、三二五、〇〇〇
	洗面所及渡廊下 同	一	三七〇〇	五、〇七四、四八〇
官舍		七	三〇〇、〇五〇	四六、八八六、八〇〇
工作物		八〇	一二二、九〇八、五四〇	
樹木其他雜工事費				六、九〇四、三五〇
合計				七九二、一三六、八〇〇

一一 職員及傭人表

昭和十四年七月一日現在

種別／官職	校長	教授	生徒主事	助教授	書記	生徒主事補	講師	傭外國人教師	外國人講師	囑託教師	武道將校	配屬將校	雇員	技手	守衛	給仕	定夫	小使	計
定員	一	二〇	一	六	六	一													三五
現員	一	一八	一	五	四		六	二	二	四	三	二	一〇	一	二	六	二	一〇	七九

一二 圖書及雜誌冊數

昭和十四年七月一日現在

圖書	冊數	雜誌	種類
和漢書	一二、五八七冊	雜誌	四八種
洋書	八、八三七冊	雜誌	四六種
		其他定期刊行物	二三冊
計	二一、四二四冊	計	一一七種

一三 商品標本及機械類表

昭和十四年七月一日現在

種別	數量	價格
商品標本	四、五二〇	一〇、三七〇圓
機械器具	二、二六九	二七、九九三圓

關係法令

○關係法令

一　文部省直轄諸學校官制（抄）（明治二十六年八月勅令第八十六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京女子高等師範學校
盛岡高等農林學校
東京高等蠶絲學校
三重高等農林學校
宮崎高等農林學校
長崎高等商業學校
名古屋高等商業學校
彦根高等商業學校
高松高等商業學校
第二高等學校
第五高等學校
第八高等學校
山口高等學校
奈良女子高等師範學校
鹿兒島高等農林學校
京都高等蠶絲學校
宇都宮高等農林學校
千葉高等園藝學校
山口高等商業學校
福島高等商業學校
和歌山高等商業學校
高岡高等商業學校
第三高等學校
第六高等學校
新潟高等學校
松山高等學校
東京農業教育專門學校
上田蠶絲專門學校
鳥取高等農林學校
岐阜高等農林學校
東京高等農林學校
小樽高等商業學校
大分高等商業學校
横濱高等商業學校
第一高等學校
第四高等學校
第七高等學校造士館
松本高等學校
水戸高等學校

山形高等學校　佐賀高等學校
松江高等學校　東京高等學校
浦和高等學校　福岡高等學校
高知高等學校　姫路高等學校
富山藥學專門學校　熊本藥學專門學校
名古屋高等工業學校　熊本高等工業學校
桐生高等工業學校　横濱高等工業學校
金澤高等工業學校　仙臺高等工業學校
東京高等工藝學校　神戸高等工業學校
德島高等工業學校　長岡高等工業學校
山梨高等工業學校　秋田鑛山專門學校
盛岡高等工業學校　多賀高等工業學校
宇部高等工業學校　新居濱高等工業學校
東京高等商船學校　神戸高等商船學校
東京外國語學校　大阪外國語學校
東京美術學校　東京音樂學校
東京聾啞學校

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　生徒主事　助教授　書記　生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ受クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二　文部省直轄諸學校職員定員令抄　（三）

（明治三十五年勅令第九十九號）

	校長	教授	教諭	生徒主事	助教授	助教諭	訓導	保姆	助手	書記	生徒主事補
橫濱高等商業學校	一人	二十人		一人	六人					六人	一人

（昭和八年十二月勅令第三百九十五號ヲ以テ改正）

三　專門學校令（抄）（明治三十六年三月勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ヲ專門學校トス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

第五條　專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規程ニ依ルヘシ

專門學校ノ入學資格ハ中學校（中略）ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者ト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ（下略）

第六條　前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第七條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第八條　專門學校ニ於テハ豫科研究及別科ヲ置クコトヲ得

官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム（下略）

四　實業學校令（抄）（明治三十二年二月勅令第二十九號）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

五　文部省直轄諸學校長職務規程（大正二年六月文部省訓令）

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ得テ高等官ヲシテ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條　左ノ事故ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一　教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二　規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三　俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四　教官以下ノ內國各地出張ニ關スルコト

第五　教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六　講師ノ解嘱及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七　經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八　三日以內ノ臨時休業ヲ爲スコト
第四條　前條ニ揭ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

六　官吏服務紀律（明治二十年七月勅令第三十九號）

第一條　凡ソ官吏ハ　天皇陛下及　天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其職務ヲ盡スヘシ
第二條　官吏ハ其職務ニ付本屬長官ノ命令ヲ遵守スヘシ但シ其ノ命令ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得
第三條　官吏ハ職務ノ內外ヲ問ハス廉恥ヲ重シ貪汚ノ所爲アルヘカラス官吏ハ職務ノ內外ヲ問ハス威權ヲ濫用セス謹愼懇切ナルコトヲ務ムヘシ
第四條　官吏ハ已ノ職務ニ關スルト又ハ他ノ官吏ヨリ聞知シタルトヲ問ハス官ノ機密ヲ漏洩スルコトヲ禁ス裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ本屬長官ノ許可ヲ得タル件ニ限リ供述スルコトヲ得
第五條　官吏ハ私ニ職務上未發ノ文章ヲ關係人ニ漏示スルコトヲ禁ス
第六條　官吏ハ本屬長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス
第七條　官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス
第八條　官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀又ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トヲ問ハス總テ他人ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
官吏ハ外國ノ君主又ハ政府ヨリ授與セントスル所ノ勳章榮賜俸給並贈遺ヲ受クルニハ

第九條　天皇陛下ノ裁可ヲ要ス
左ニ揭ケタル者ト直接ニ關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ其饗燕ヲ受クルコトヲ得ス
一、官廳ノ工事ヲ請負フ者
一、官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者
一、官廳ノ補助金ヲ受クル起業者
一、官廳ノ用品ヲ調達スル者
一、官廳ノ諸般ノ契約ヲ結フ者
第十條　凡ソ上官タル者ハ職務ノ內外ヲ問ハス所屬官吏ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
第十一條　官吏竝ニ其家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接トヲ問ハス商業ヲ營ムコトヲ得ス
第十二條　官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス
第十三條　官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス
第十四條　浪費シテ產ヲ破リ其分ニ應セサル負債ヲ爲ス者ハ過失ノ一タルヘシ
第十五條　官吏ハ私立郵船會社又ハ私立鐵道會社ヨリ無賃乘船無賃乘車切符ヲ受クルコトヲ得ス
第十六條　凡ソ局長所長其他一部ノ長ハ各所屬官吏ヲ監督シ其過失若シ懲戒處分ヲ行フノ區域ノ內ニ在ラサル者ハ之ヲ訓告スルコトヲ務ムヘシ若シ懲戒處分ヲ要スルト認ムルトキハ事情ヲ具ヘテ之ヲ本屬長官ニ稟告スヘシ其ノ情ヲ知リ隱蔽シテ稟告セサル者亦過失タルコトヲ免レス
第十七條　本紀律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ス

七　官廳執務時間（抄）

（大正十三年六月閣令第六號改正）

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ左ノ通トス

四月一日ヨリ七月二十日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄

午前八時ヨリ午十二時迄

九月一日ヨリ十月三十一日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

十一月一日ヨリ三月三十一日迄

午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

事務ノ狀況ニ依リ必要アルトキハ執務時間外ト雖執務スヘキモノトス

本屬長官ハ所屬職員ニ對シ七月二十一日ヨリ八月三十一日迄ノ間ニ於テ事務ノ繁閑ヲ計リ二十日以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得但シ事務ノ都合ニ依リ當該期間內ニ於テ休暇ヲ與フルコトヲ得サル場合ニ於テハ他ノ期間ニ於テ之ヲ與フルコトヲ妨ケス

附　錄

○横濱高等商業學校學友會會則

第一條　本會ハ橫濱高等商業學校學友會ト稱ス

第二條　本會ハ本校ノ敎養ト相俟ツテ會員ノ智德ヲ磨キ體育ヲ勵ミ相互ノ親睦ヲ厚ウシ以テ堅實ナル校風ヲ作興スルコトヲ目的トス

第三條　本會ハ本校職員生徒及會長ノ推薦シタル者ヲ以テ組織ス

第四條　本會ヲ分チテ左ノ三種トス

一、特別會員　本校職員

二、通常會員　本校生徒

三、名譽會員　會長ノ推薦シタル者

第五條　本會ニ左ノ部ヲ置ク

總務部　學報部　語學部　講演部　音樂部　庭球部

野球部　競技部　水泳部　蹴球部　籠球部

排球部　卓球部　劍道部　柔道部　ラグビー部

弓道部　体操部

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一名

副會長　一名

部長　各部一名

副部長　若干名

理事　二名

附錄

幹　事　總務部四名（第三、第二學年各二名）其他ノ各部一名
各部十名、總務部ヲ除ク（本科各學年三名、貿易別科一名）
委　員　各學級一名以上
評議員

第七條　會長ニハ本校校長ヲ推戴ス
副會長、部長、副部長、理事ハ特別會員中ヨリ之ヲ委嘱ス
委員ハ本科各學年並貿易別科ニ於テ通常會員中ヨリ互選シタル者ニ就キ會長之ヲ任命ス
幹事ハ各部委員ニ於テ推薦シタル者ニ就キ會長之ヲ任命ス但シ總務部幹事ハ前項ニ依ル
委員、幹事ハ他ノ部ノ委員幹事ヲ兼ヌルコトヲ得ス
評議員ハ各學級ニ於テ通常會員中ヨリ互選シタル者ニ就キ會長之ヲ任命ス
評議員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第八條　會長ハ本會ヲ總理ス
副會長ハ會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理ス
部長ハ其ノ部ヲ管理ス
副部長ハ部長ヲ補佐シ部務ヲ管理ス
理事ハ總務部ニ屬シ本會ノ庶務會計ノ事務ヲ處理ス
幹事ハ部長及理事ヲ補佐シ部務ヲ處理ス
委員ハ幹事ヲ補佐ス
評議員ハ本會ノ重要事項ノ審議ニ參與シ必要ニ應シ各部ノ會計物品ヲ檢査スルコトヲ得

第九條　副會長以下ノ役員ノ任期ハ一箇年トシ毎年四月ニ始ル
凡テ役員ハ再任スルコトヲ妨ケス

役員中ニ缺員ヲ生シタルトキハ第七條ニ依リ補缺ス

第十條　補缺役員ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス
總會ハ特別會員及通常會員ヲ以テ組織シ本會ニ關スル重要事項ヲ決議ス

第十一條　總會ハ會長之ヲ招集ス
役員會ヲ分チテ部長會、評議員會等ノ二種トス
部長會ハ會長、副會長、部長、副部長、理事ヲ以テ組織シ會長ヲ議長トシ評議員會ニ於テ協議シタル事項
其ノ他重要ナル事項ヲ決議ス
評議員會ハ副會長、評議員ヲ以テ組織シ副會長ヲ議長トシ總務部ヨリ提出シタル議案ニ就キ決議ス
但シ總務部役員ハ之ニ出席ス

第十二條　議長ハ必要ト認ムルトキハ他ノ會員ヲ列席セシメ其ノ意見ヲ徴スルコトヲ得
役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス
緊急必要ナル事項ニシテ役員會ヲ經ルノ暇ナキトキハ會長ノ指揮ニ依リ總務部長之ヲ處理スルコトヲ得
但シ遲滯ナク當該役員會ニ報告スヘシ

第十三條　役員會ハ當該役員總數ノ三分ノ二以上ノ出席アラサレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

第十四條　凡テ會議ハ多數決ニ依ル可否同數ノトキハ議長之ヲ決ス　但シ會則ノ改正、臨時會費ノ徴收ニ關シテハ出席者ノ三分ノ二以上贊同ヲ要ス

第十五條　凡テ議決事項ハ會長ノ認可ヲ經テ施行ス

第十六條　本會ノ會計年度ハ學年度ニ依ル

第十七條　總務部ハ各部ノ作成シタル經費豫定案ヲ編成シ之ヲ評議員會ニ附議スヘシ
但シ豫定ノ編成ニ就テハ各部幹事之ニ參與ス

第十八條　本會ノ經費ハ會費及入會金ヲ以テ支辨ス
特別會員ハ毎年相當ノ金額ヲ醵出ス
通常會員ノ會費ハ年額拾壹圓トシ四月及九月ニ各四圓、一月ニ參圓ヲ授業料ト同時ニ納付スヘシ　但シ特別ノ場合ニハ臨時會費ヲ徵收スルコトアルヘシ
入會金ハ本科生徒金五圓貿易別科生徒ハ金貳圓トシ入學ノ初メニ納付セシム

第十九條　本會ハ寄附金及入會金ヲ以テ本會ノ基金トスルコトヲ得
凡テ各部ノ經費ヲ支出セントスルトキハ所定用紙ニ要件ヲ記入シ幹事署名ノ上部長ノ承認ヲ得テ之ヲ理事ニ提出スヘシ

第二十條　總務部長ハ毎年四月末日マテニ前年度收支決算書ヲ作成シ會長ノ認可ヲ受ケテ之ヲ公表スヘシ

第廿一條　會則ノ改正、年中行事、臨時會費ノ徵收其他本會ノ重要事項ニ關シテハ總務部ニ於テ立案シ之ヲ評議員會ニ附議スヘシ

第廿二條　各部ノ部則ヲ定メ會長認ノ可ヲ受クヘシ
各部ニ於テハ其ノ部ノ記錄簿物品監守簿ヲ備フヘシ

第廿三條　他校若ハ團體ト對抗シ又ハ聯合シテ運動若ハ競技ヲ爲サントスルトキハ會長ノ承認ヲ受クヘシ

第廿四條　本會則ハ大正十三年四月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

○橫濱高等商業學校消費組合規則

第一章　總則

第一條　本組合ハ橫濱高等商業學校消費組合ト稱ス

第二條　本組合員共益ヲ目的トス

第三條　本組合ハ事務所ヲ橫濱高等商業學校内ニ置ク

第四條　組合ハ橫濱高等商業學校職員並ニ生徒ヲ以テ構成ス

第五條　本組合ノ組織ハ有限責任トス

第六條　本組合ノ財産ハ組合員ノ總有トス

第七條　本組合規則ハ組合員總數ノ過半數ノ同意アル時ニ限リ之ヲ變更スルコトヲ得

第二章　機關

第八條　本組員ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長　一名
理事長　一名
理事　十二名
監事　五名

第九條　組合長ハ職員ノ組合員中ヨリ校長之ヲ選任ス
理事長ハ職員ノ組合員中ヨリ組合長之ヲ選任ス
理事ハ職員組合員ヨリ二名生徒組合員ヨリ各級ニ付一名宛之ヲ互選ス
監事ハ職員組合員ヨリ二名其他ハ生徒組合員各學年ニ付一名之ヲ互選ス

第十條　組合長ハ組合事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス
理事長ハ組合長ヲ補佐シ組合ノ事務ヲ管掌ス
理事ハ事務ノ執行ニ當ルモノトス
監事ハ理事ノ職務ヲ監督シ會計ヲ監査ス

第十一條　役員ノ任期ハ一ケ年トス　但シ重任ヲ妨ケス補缺トシテ新任シタル前項役員ノ任期ハ前任者ノ任期ノ殘期間トス

生徒役員ノ選擧ハ毎年四月之ヲ行ヒ第一學年及貿易別科新入生ニ限リ五月ニ行フ

第十二條　役員ハ名譽職トス但シ役員ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スル事ヲ得ス

第十三條　理事長及理事ハ理事會ヲ構成シ一般事業方針ヲ決定ス

理事會ハ毎月一回定例會議ヲ開ク

第十四條　組合總會ハ通常總會ト臨時總會ノ二種トス

第三章　事業ノ執行

第十五條　本組合ハ其ノ目的ニ從ヒ左ノ事業ヲ行フ

一　書籍雜誌新聞文房具運動具切手葉書煙草其他學用品一切ノ販賣

二　古書籍ノ交換仲介印刷取次

三　食堂ノ管理

四　洋服帽子靴及日用品ノ指定商人ノ監督

五　保健福利施設

六　其ノ他理事會ニテ必要ト認メタル事項

第十六條　本組合ハ其ノ事業ヲ執行スルタメ理事ノ擔任事務ヲ左ノ如ク分ツ

一　仕入係

二　販賣係

三　會計係

四　監督係

五　庶務係

第十七條　本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始リ其年十二月三十一日ヲ以テ終ル

第十八條　本組合ノ事業執行ニ就テハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第四章　出資及計算

第十九條　本組合ノ基金トシテ組合員ノ加入ニ際シ金參圓宛ヲ出資セシム　但貿易別科生徒組合員ハ金壹圓宛トス

組合員退職卒業又ハ退學ニ依ル脫退ノ際其請求ニ應シテ元金ヲ返還ス

第二十條　本組合ハ毎年六月及十二月ノ二回決算ヲ行ヒ橫濱高商學報ニ公告ス

第廿一條　本組合ハ原價主義ニ基キ純利益ハ當分配當セスシテ原則トシテ積立金トス

組合員ノ記當ニ代ヲテ學友會ヘ寄附スル必要アル場合ハ組合員ノ平等ナル利用ヲ目的トス

第五章　解散

第廿二條　本組合ハ組合員ノ過半數ノ承諾アルニアラサレハ解散ノ決議チナスコトヲ得ス

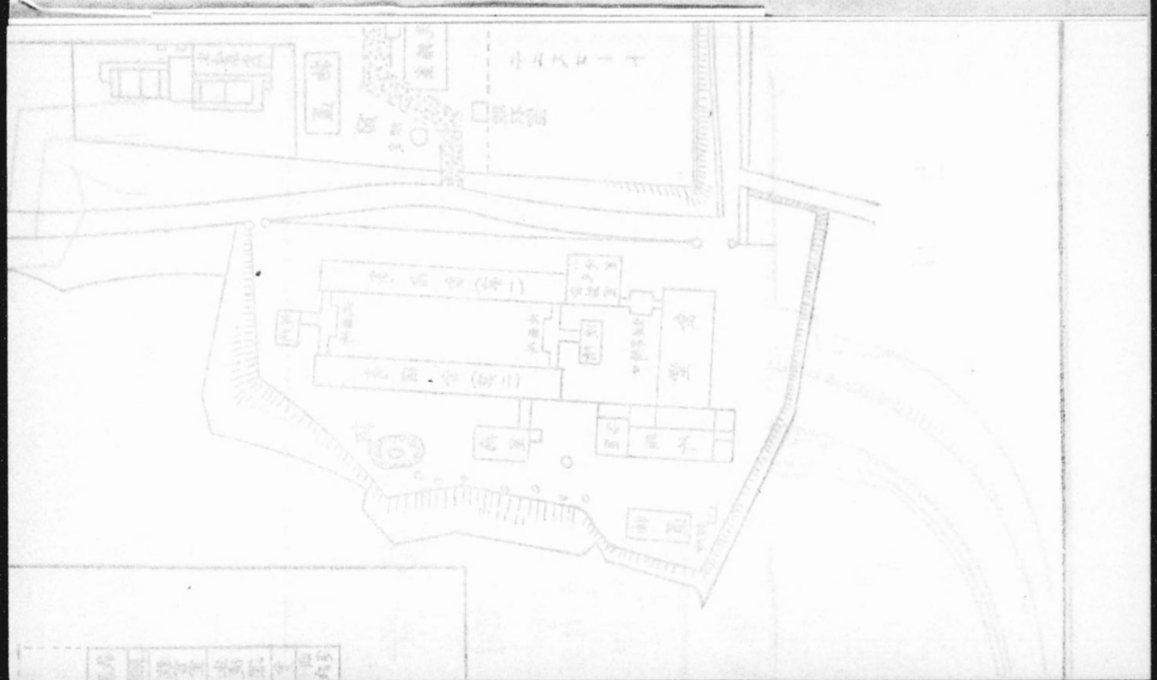
第廿三條　本組合ノ解散シタル時ニ於ケル殘餘財產ハ組合員ノ意志ニ從ヒ淸算人之ヲ處分ス

第廿四條　本組合ノ解散シタル時ハ監事其ノ淸算人トナルモノトス

附則

第廿五條　本組合規則ハ昭和六年七月八日ヨリ之ヲ施行ス

橫濱高等商業學校一覽　終



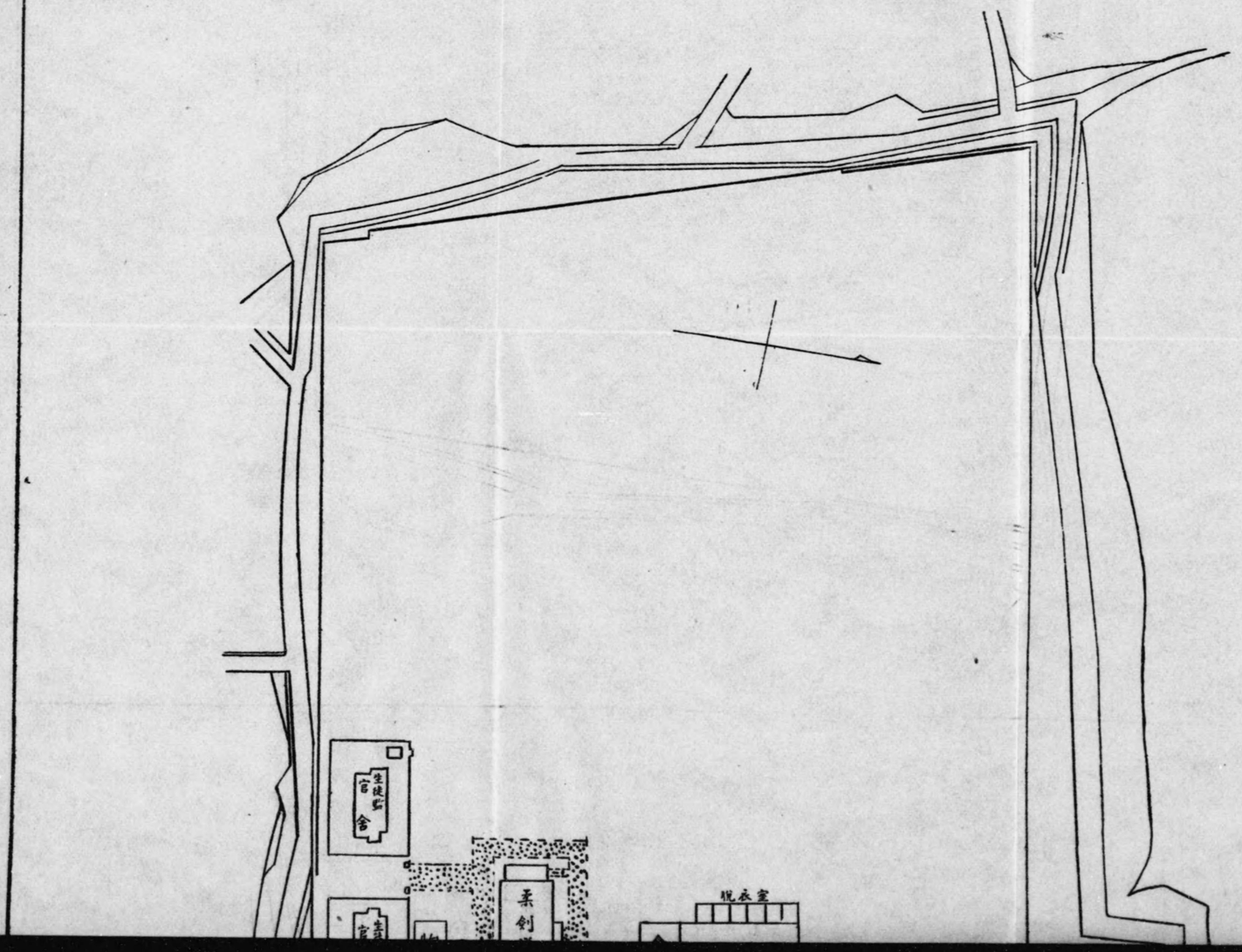
（昭和十四年九月）

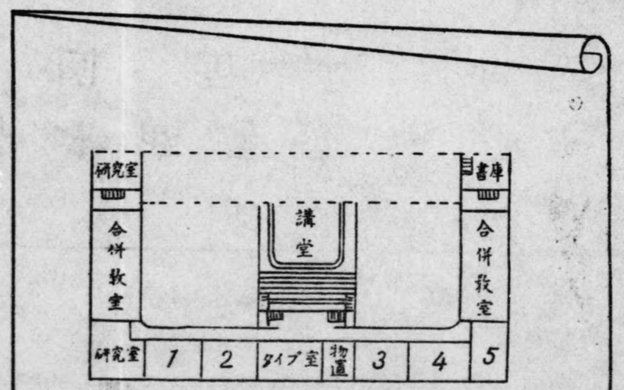
橫濱高等商業學校
平面圖

敷地
本校……一万四千九百六坪八八七
寄宿舍……一千四百四十八坪

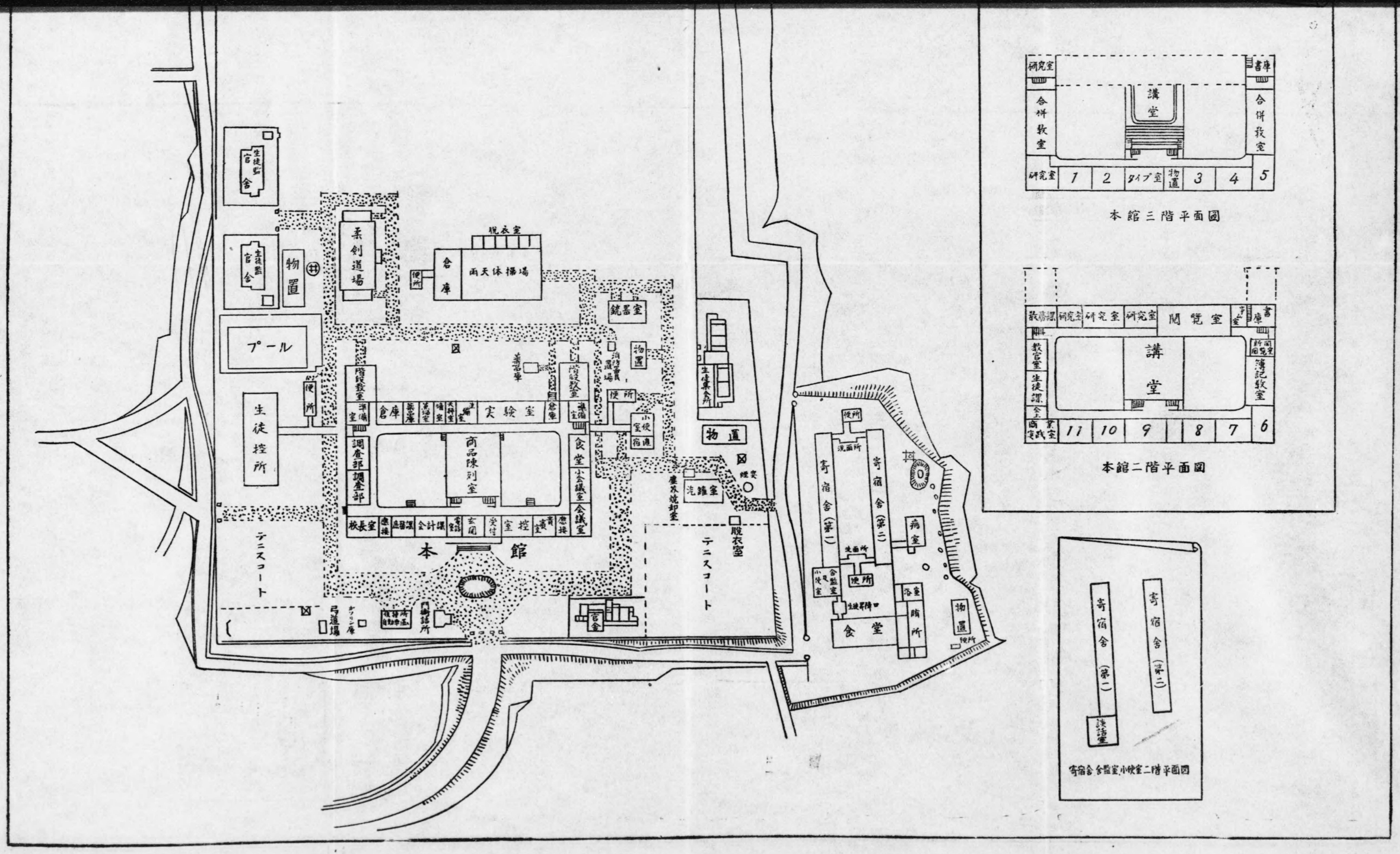
凡例
消火栓 ⊠
道路 ▨

曲尺 1/1200





本館三階平面圖



本館三階平面圖

本館二階平面圖

寄宿舎（第一）寄宿舎（第二）小使室監舎小使室二階平面圖